

資料

系列別主要劇場

劇場名	席数	仕様	劇場名	席数	仕様
伝統演劇系列					
国立文楽劇場	731～753	【中】	サンシャイン劇場	832	【中】
国立能楽堂	627	【中】	シアターコクーン	747	【中】
国立劇場おきなわ	578～632	【中】	PARCO劇場	636	【中】
歌舞伎座	1,808	【大】	天王洲銀河劇場	746	【中】
大劇場演劇系列			東京グローブ座	595～713	【中】
新橋演舞場	1,428	【大】	スペース・ゼロ	575	【中】
明治座	1,368	【大】	シアター・ドラマシティ	898	【中】
THEATER MILANO-Za	907	【大】	現代演劇系列Ⅲ		
御園座	1,299	【大】	紀伊國屋ホール	418	【小】
京都南座	1,086	【大】	紀伊國屋サザンシアター	468	【小】
大阪松竹座	1,090	【大】	博品館劇場	381	【小】
大阪新歌舞伎座	1,453～1,529	【大】	俳優座劇場	300	【小】
梅田芸術劇場 メインホール	1,905	【大】	両国シアターX	172～300	【小】
博多座	1,392～1,474	【大】	本多劇場	386	【小】
現代演劇系列Ⅰ(国公立系)			ザ・スズナリ	200	【小】
新国立劇場(中)	1,010～1,038	【大】	下北沢駅前劇場	200	【小】
新国立劇場(小)	416～468	【小】	OFF・OFFシアター	100	【小】
東京芸術劇場 プレイハウス	834	【中】	下北沢「劇」小劇場	130	【小】
東京芸術劇場 シアターイースト	286	【小】	シアター・モリエール	186	【小】
東京芸術劇場 シアターウエスト	259	【小】	シアター・サンモール	294	【小】
東京建物Brillia HALL	1,300	【大】	こまばアゴラ劇場	60～130	【小】
世田谷パブリックシアター	600	【中】	吉祥寺シアター	189	【小】
シアターラム	240	【小】	THEATRE E9 KYOTO	89	【小】
彩の国さいたま芸術劇場(大)	776	【中】	近鉄アート館	322	【小】
彩の国さいたま芸術劇場(小)	346	【小】	ミュージカル演劇系列		
ピッコシアター(大)	396	【小】	TBS赤坂ACTシアター	1,324	【大】
兵庫県立芸術文化センター(大)	2,001	【大】	日生劇場	1,330	【大】
兵庫県立芸術文化センター(中)	800	【中】	帝国劇場	1,826	【大】
あうるすぽっと	301	【小】	東急シアターオーブ	1,972	【大】
座・高門寺1	238	【小】	宝塚大劇場	2,550	【大】
座・高門寺2	256～298	【小】	東京宝塚劇場	2,065	【大】
神奈川芸術劇場 ホール	1,300	【大】	宝塚バウホール	526	【中】
まつもと市民芸術館(主)	1,800	【大】	四季劇場「春」	約1,500	【大】
穂の国とよはし芸術劇場	778	【中】	四季劇場「秋」	約1,200	【大】
新潟市民芸術文化会館	868	【中】	電通四季劇場「海」	約1,200	【大】
ロームシアター(メイン)	2,003	【大】	有明四季劇場	約1,200	【大】
北九州芸術劇場(大)	1,269	【大】	自由劇場	約500	【中】
現代演劇系列Ⅱ			大阪四季劇場	約1,200	【大】
京都芸術劇場 春秋座	833～950	【中】	チャンネルシティ劇場	1,144	【大】
シアタークリエ	611	【中】	名古屋四季劇場	約1,200	【大】
三越劇場	543	【中】	東1丁目劇場施設	994	【大】

上の内、大劇場は900席以上、中劇場は899～500席、小劇場は499席以下という基準で規定した。各流能楽堂、新国立劇場(大)、東京芸術劇場(大)、オーチャードホール、日本青年館は除いた。

※(公社)日本演劇興行協会所属劇場：歌舞伎座 新橋演舞場 明治座 御園座 南座 松竹座
新歌舞伎座 梅田芸術劇場 博多座 シアタークリエ サンシャイン劇場 帝国劇場

※中劇場協議会所属劇場：三越劇場 サンシャイン劇場 シアターコクーン 天王洲銀河劇場
紀伊國屋ホール 紀伊國屋サザンシアター 博品館劇場 俳優座劇場 両国シアターX
本多劇場 シアターサンモール

令和6年 演劇賞 関係各賞受賞者

※2024年(令和6年)2月初旬頃～2025年(令和7年)2月初旬頃に発表されたものを記載

※演劇関係者のみ記載、順不同・敬称略

【重要無形文化財の指定及び保持者の認定】

◇重要無形文化財の指定及び保持者の認定(各個認定)＝常磐津一佐太夫(常磐津浄瑠璃)

◇重要無形文化財の保持者の団体の構成員の追加認定(総合認定)＝荻江節保存会会員(荻江節保存会員：荻江津弥)

【令和6年度 文化勲章】

ちばてつや(マンガ家)

【令和6年度 文化功労者】

吉田和生(人形浄瑠璃文楽人形遣い)、草笛光子(俳優)、藤村実穂子(メゾソプラノ歌手)、渡辺保(演劇評論家)

【令和6年 春の叙勲・褒章】

◇旭日小綬章＝加藤健一(俳優)、大坪喜美雄(能楽師シテ方宝生流)

◇旭日双光章＝日吉小暎(長唄三味線演奏家)、竹本越孝(義太夫節演奏家)、高良和子(沖繩伝統舞踊家)

◇旭日単光章＝山本美佐子(琉球舞踊玉城流「門の会」アルゼンチン支部代表)

◇紫綬褒章＝花柳寿楽(日本舞踊家)、原田美枝子(俳優)、段田安則(俳優)、竹本葵太夫(歌舞伎竹本太夫)、野村峰山(尺八演奏家)、竹本千歳太夫(人形浄瑠璃文楽太夫)

【令和6年度 秋の叙勲・褒章】

◇旭日重光章＝森下洋子(バレエダンサー)

◇旭日中綬章＝梅若実桜雪(能楽師シテ方観世流)、つげ義春(漫画家)、ジョン・ノイマイヤー(元ハンブルグ・バレエ団芸術監督兼主席振付家)

◇旭日小綬章＝田中和彦(元南海放送(株)社長)、藤澤民雄(元(株)テレビ大分社長)

◇旭日双光章＝清元美寿太夫(清元節太夫)、藤舎呂船(長唄鳴物演奏家)、種田道一(能楽師シテ方金剛流)、瀬名波孝子(琉球歌劇俳優)

◇旭日単光章＝新門定雄(元琉球古典音楽野村流音楽協会壱国支部長)

◇黄綬褒章＝金井勇一郎(歌舞伎美術家)、宮田肇(宮田メーク代表)

◇紫綬褒章＝妻屋秀和(声楽家)

【第35回高松宮殿下記念世界文化賞】

～演劇・映像部門～

アン・リー(李安：映画監督)

【令和5年度(第74回)芸術選奨】

～演劇部門～

◇文部科学大臣賞＝片岡愛之助(歌舞伎俳優：「夏祭浪花鑑」ほかの成果)、山西惇(俳優：「エンジェルス・イン・アメリカ」ほかの成果)

◇文部科学新人賞＝生田みゆき(演出家：「占領の囚人たち」ほかの成果)、中村勘九郎(歌舞伎俳優：「大江山酒呑童子」ほかの成果)

～映画部門～

◇文部科学大臣賞＝岩井俊二(映画監督：「キリエのうた」の成果)、佐藤浩市(俳優：「春に散る」「愛にイナズマ」ほかの成果)

◇文部科学新人賞＝池松壮亮(俳優：「せかいのおきく」「白鍵と黒鍵の間に」ほかの成果)、鶴岡慧子(映画監督：「バカ塗りの娘」の成果)

～放送部門～

◇文部科学大臣賞＝野木亜紀子(脚本家：「フェンス」の成果)、山崎裕裕(プロデューサー：「閉じ込められた女性たち～孤立出産とグレーゾーン～」ほかの成果)

◇文部科学新人賞＝石原大史(ディレクター：「“冤罪”の深層～警視庁公安部で何が～」ほかの成果)、長田育恵(脚本家・劇作家：「らんまん」の成果)

～芸術振興部門～

◇文部科学大臣賞＝荒井洋文(民間文化施設「犀の角」代表・舞台芸術プロデューサー・制作者：文化施設「犀の角」における活動の成果)

◇文部科学新人賞＝川崎陽子(KYOTO EXPERIMENT共同ディレクター：「KYOTO EXPERIMENT京都国際舞台芸術祭2023」の成果)

【令和6年度文化庁長官表彰】

◇特別表彰＝稲葉豊(一般社団法人日本音楽出版社協会会長)、株式会社一力亭、辻信太郎(株式会社サンリオ創業者 名誉会長)、東儀秀樹(雅楽師 雅楽演奏家)、林家木久扇(落語家)、中園ミホ(脚本家)

◇長官表彰＝安藤裕之(一般社団法人日本劇場技術者連盟顧問)、石川和子(日本アニメーション株式会社代表取締役社長)、伊藤順康(三味線製作修理技術者)、雷門

助六(落語家)、上地尚子(琉球箏曲演奏家)、宇座嘉憲(組踊・琉球舞踊音楽太鼓演奏家)、江口裕之(株式会社藤浪アートセンター顧問)、海老沢孝裕(歌舞伎衣裳製作修理技術保存会会長)、大澤薫(有限会社大庭照明研究所代表取締役)、大瀧勝弘(邦楽器製作技術保存会理事長)、観世恭秀(能シテ方)、北村明子(シス・カンパニー代表取締役)、cinema bird実行委員会(移動映画館活動)、千達也(劇団群馬中芸監査役)、只野信也(元共同組合日本映画・テレビ編集協会理事長)、法村牧緒(一般社団法人法村友井パレエ団代表理事)、堀井雄二(ゲーム作家)、二代目猿若清方(公益社団法人日本舞踊協会顧問)、松本高麗五郎(歌舞伎俳優)、山本広志(一般社団法人日本音響協会理事)

【令和6年度地域文化功労者表彰】

玉井浩祐(能楽師)、紀平昌伸(映画看板職人)、竹内志朗(舞台装置家)

【文化関係者文部科学大臣表彰】

佐渡裕(指揮者)

【令和6年度児童福祉文化賞】

～舞台芸術部門～

「とどろヶ淵のメッケ」有限会社人形劇団京芸

～特別部門～

石坂慎二(長年にわたり児童青少年演劇を通じて児童福祉文化の向上・普及に努め、児童の健全育成に貢献してきた活動)

～児童福祉文化賞推薦作品～

映画「チョコレートな人々」東海テレビ

【令和5年度日本芸術院賞】

～第三部(音楽・演劇・舞踊)～

◇恩賜賞・日本芸術院賞＝福王茂十郎(能楽)

◇日本芸術院賞＝杵屋勝四郎(長唄)

【第43回(令和5年度)国立劇場文楽賞】

◇大賞＝該当者なし

◇優秀賞＝豊竹呂勢太夫、豊澤富助、吉田玉助、豊竹芳穂太夫、吉田簀紫郎

◇特別賞＝豊竹咲太夫

【令和5年度 文楽協会賞】

竹本小住太夫(太夫の部)、鶴澤清公(三味線の部)、桐竹勘次郎(人形の部)

【第46回松尾芸能賞】

◇大賞＝松平健(演劇)

◇優秀賞＝天童よしみ(歌謡)、川瀬露秋(邦楽)、中

村獅童(演劇)、尾上紫(舞踊)

◇新人賞＝林佑樹(演劇)

◇特別賞＝堅田喜三代(邦楽)

◇功労賞＝大村崑(演劇)

【令和6年度 第44回伝統文化ポーラ賞】

鶴澤久(観世流能楽シテ方)

【第45回観世寿夫記念法政大学能楽賞】

岡久広(シテ方観世流)、亀井広忠氏(大鼓方葛野流)

【第33回催花賞】

佐々木洋次(佐々木能衣裳代表取締役)

【第7回JTS山本邦山記念賞】

織田紘二(元国立劇場理事)

【第49回菊田一夫演劇賞】

◇大賞＝「ラグタイム」上演関係者一同(「ラグタイム」の高い舞台成果に対して)

◇演劇賞＝柿澤勇人(「スクールオブロック」のデューイ・フィン役、「オデッサ」の青年役の演技に対して)、宮澤エマ(「ラビット・ホール」のベッカ役、「オデッサ」の警部役の演技に対して)、三浦宏規(「のだめカンタービレ」の千秋真一役、「赤と黒」のジュリアン・ソレル役、「千と千尋の神隠し」のハク役の演技に対して)、ウォーリー木下(「チャーリーとチョコレート工場」町田くんの世界」の演出の成果に対して)

◇特別賞＝前田美波里(永年のミュージカルの舞台における功績に対して)

【第59回紀伊屋演劇賞】

◇団体賞＝新宿梁山泊(「おちよこの傘持つメリー・ポピンズ」「ジャガーの眼」の優れた舞台成果に対して)

◇個人賞＝岩崎加根子(劇団俳優座特別公演 戦争とは…「被爆樹巡礼」「犬やねこが消えた」における語り手 14、劇団俳優座公演「慟哭のリア」における室重セイの演技に対して)、緒方晋(劇団チョコレートケーキ公演「白き山」「つきかげ」における斎藤茂吉の演技に対して)、横山拓也(iaku公演「流れんな」の作・演出、パルコプロデュース公演「ワタシたちはモノガタリ」の作に対して)、岡本主人(東京芸術劇場企画製作「La Mère 母」「Le Fils 息子」におけるニコラの演技に対して)、那須凜(劇団青年座公演「ケエツプロウよー伊藤野枝ただいま帰省中」におけるノエ、KAAT神奈川芸術劇場企画製作「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」におけるみずき/クロスの演技に対して)

【第31回読売演劇大賞】

◇大賞＝藤田俊太郎(「ラビット・ホール」「ラグタイム」の演出)

【第32回読売演劇大賞】

◇最優秀作品賞＝新宿梁山泊「おちょこの傘持つメリー・ポピンズ」

◇最優秀男優賞＝木場勝己(「リア王の悲劇」「天保十二年のシェイクスピア」の演技)

◇最優秀女優賞＝岩崎加根子(「慟哭のリア」の演技)

◇最優秀演出家賞＝前川知大(「奇ッ怪 小泉八雲から聞いた話」)

◇最優秀スタッフ賞＝渥美博(「キラー・ジョー」の殺陣、「ロミオとジュリエット」のアクション)

◇杉村春子賞＝新原泰佑(「インヘリタンスー継承ー」「球体の球体」の演技)

◇芸術栄誉賞＝株式会社俳優座劇場

◇選考委員特別賞＝ホリプロ「カムフロムアウェイ」

【第66回毎日芸術賞】

◇毎日芸術賞＝市村正親(ミュージカル「スウィーニー・トッド」「モーツァルト！」での演技)

◇特別賞＝野沢雅子(テレビアニメ「ドラゴンボールDAIMA」での主人公・孫悟空の声など長年の功績)

◇ユニクロ賞＝山中瑠子(映画監督、映画「ナミビアの砂漠」)

【第75回(2023年度)日本放送協会 放送文化賞】

江川悦子(特殊メイク・スーパーバイザー)、川平朝清(元沖繩放送協会会長)、草刈正雄(俳優)、谷川俊太郎(詩人)

【メセナアワード2024】

◇優秀賞＝公益財団法人ニッセイ文化振興財団/日本生命保険相互会社(子どもと舞台芸術との出会いの場をつくり続けるニッセイ名作シリーズ)

【第1回 日本みどりのゆび舞台芸術賞】

◇大賞＝該当なし

◇HOPE賞＝ぱぷりか、演劇カンパニー ムニ、劇団不労社

◇選考委員賞＝人形劇団むすび座、空晴、stamp/トリコ・A、タテヨコ企画

【第25回テアトロ演劇賞】

◇特別賞＝辻由美子(東京演劇集団 風:「なぜ ヘカベ」の演技成果に対して)

【第36回テアトロ新人戯曲賞】

該当作なし

【第12回ハヤカワ「悲劇喜劇」賞】

イクウメ「奇ッ怪 小泉八雲から聞いた話」

【第72回菊池寛賞】

上橋菜穂子(作家・文化人類学者)、山崎貴と白組(映画監督、VFX視覚効果)、大石静(脚本家)、ちばてつや(漫画家)

【第53回令和6年度大谷竹次郎賞】

該当作品なし

【第13回岩谷時子賞】

◇岩谷時子賞＝大竹しのぶ(俳優)

◇奨励賞＝海宝直人(俳優)

◇特別賞＝クミコ(歌手)

【第16回伊丹十三賞】

のん(俳優・アーティスト)

【第68回岸田國士戯曲賞】

池田亮「ハートランド」

【「日本の劇」戯曲賞2024】

◇最優秀賞＝該当なし

◇佳作＝七坂稲「海ではないから」、よしだあきひろ「Dive」

【第30回劇作家協会新人戯曲賞】

斜田章大「4047(ヨンゼロヨンナナ)」

【第28回鶴屋南北戯曲賞】

古川健「白き山」「つきかげ」

【第31回OMS戯曲賞】

◇大賞＝山岡徳貴子「そして羽音、ひとつ」

◇佳作＝私道かび「てばなれ」

【第10回希望の大地の戯曲賞「北海道戯曲賞」】

◇大賞＝七坂稲「迷惑な客」

◇優秀賞＝鈴木アツト「犬と独裁者」

【第9回せんだい短編戯曲賞】

◇大賞＝「桃を朝にガブリ」三橋亮太、「第三者視点」山村菜月

【第11回九州戯曲賞】

◇大賞＝「かばす咲く」日下渚

【第17回小田島雄志・翻訳戯曲賞】

三輪玲子(デアア・ローアー作「ヤマトさんはまだいる」の翻訳に対して)、木村典子(ハン・ジェウン台本・歌詞「ファンレター」の翻訳に対して)、手代木麻里(ジョー・シン普森原作・デイヴィット・グレッグ作「Touching the Void タッチング・ザ・ヴォイド～虚空に触れて～」の翻訳に対して)、文学座「アンドーラ 十二場からなる戯曲」、東宝株式会社「ファンレター」

【第30回ニッセイ・バックステージ賞】

◇**第30回ニッセイ・バックステージ賞**＝石坂慎二(児童演劇統括団体の運営)、櫻井忍(ステージグリーンコーディネーター)

◇**第30回記念特別表彰「奨励賞」**＝新井智子(かつら製作)、牧純子(舞台美術・背景製作)、山本周平(舞台美術製作)

【第2回伊藤薫朝記念賞】

◇**本賞**＝西原梨恵(「夜叉が池」の衣裳)
◇**新人賞**＝小倉菜穂(「ダディ」/管理人/THE CARETAKER)の美術)
◇**奨励賞**＝竹内良亮(泊まれる演劇「雨と花束」の美術)
◇**特別賞**＝株式会社俳優座劇場、宮本博司(一般社団法人わらび座の大道具)

【第43回日本照明家協会賞】

～舞台部門～

◇**文部科学大臣賞・大賞**＝勝柴次朗(NISSAY OPE RA2023「メディア」)

◇**優秀賞**＝佐藤啓(「シェイクスピア・ダブルビル」/マクベス)、辻谷佳弘(星野源GEN HOSHINO「Reassembly 2023」)、渡邊雄太(音楽座ミュージカル「シャボン玉とんだ宇宙までとんだ」)、古川博(極上ナゴヤカブキ「SAZEN-魔剣の章-」)

◇**新人賞**＝小林愛子(タカハ劇団「ヒトラーを画家にする話」)、杉本奈月(ルサンチカ「殺意(ストリップショウ)」、黒田雄一郎(和太鼓UNIT壱打2023年公演)

◇**選考委員特別賞**＝藤井逸平(「チャーリーとチョコレート工場」)

◇**奨励賞**＝大西達也(オリジナルミュージカル「卑弥呼」)、鎌田淳(仙台オペラ協会「ドン・ジョバンニ」)、五十嵐正夫(小林紀子バレエシアター「くるみ割り人形」)、横原由祐(劇団民藝「カストリ・エレジー」)、花植厚美(「曾津わか町流流譚」)、廣瀬大(しまね県民オペラ「ラ・ボエーム」)、古賀英雄(「市民権舞台の月」公演「くるみ割り人形」)

【第8回園田・加納賞】

清水麻理子(「ダブル・トラブル」/「エドモン」/「オイディプス王」/「エブリ・プリリアント・シング」音楽劇「ピーター

とオオカミ」)

【第52回日本新劇製作者協会賞】

株式会社俳優座劇場 劇場部

【第29回AICT演劇評論賞】

小田中章浩「戦争と劇場 第一次世界大戦とフランス演劇」(水声社)、關智子「逸脱と侵犯 サラ・ケインのドラマトウルギー」(水声社)

【第36回池袋演劇祭賞】

◇**大賞**＝劇団バルスキッチン「商店街グランドリオン」

◇**優秀賞**＝劇団えのぐ「琥珀色に酔い夢を見る」、Red Frame Factory赤粋工場「新人カロルの燃料工場」

◇**豊島区长賞**＝こわつぱちゃん家「都合」

◇**舞台芸術振興会賞**＝ラビット番長「白魔来るーハクマキター」

◇**みらい館大明賞**＝劇団東俳「タイムリミットは夏の終わり」

◇**豊島区町会連合会会長賞**＝ブルー・ビー&コバルトピア「舞台ナビゲーション」

◇**豊島区観光協会賞**＝菅野臣太朗演劇倶楽部「番外公演 質作・オセロー」

◇**豊島新聞社賞**＝神威少女パンク。「通り魔の季節ー季節外れ編ー」

◇**としまテレビ賞**＝Pカンパニー「あの瞳に透かされる」

◇**三浦大郎記念賞**＝劇団東京トライアングル「螢の結び」

◇**舞台芸術学院奨励賞**＝芝原れいち(劇団イン・ノート)、風凜(橙dai-dai)

【GREENFESTA2024】

◇**GREENFESTA賞**＝劇団銅鑼「ふしぎな木の実の料理法～こそあどの森の物語～」

◇**優秀賞**＝ファーストピック「野に咲く花なら」、演劇集団nohup「サイボーグ会社員美々美」

【2023年度 浅草九劇賞】

◇**九劇賞**＝マグマ∞「南四局は終わらない」

◇**観客賞**＝GRIZO STAGE「ハザマDD～ハザマ the Dimensional Detective～」

【第41回浅草芸能大賞】

◇**新人賞**＝市川園子(歌舞伎俳優)

【第14回せんがわ劇場演劇コンクール】

- ◇**グランプリ**＝バストリオ「セザンヌによろしく！」
- ◇**オーディエンス賞**＝バストリオ「セザンヌによろしく！」
- ◇**俳優賞**＝バストリオ出演者全員
- ◇**劇作家賞**＝中村大地(屋根裏ハイツ「未来が立ってる」)
- ◇**演出家賞**＝今野裕一郎(バストリオ「セザンヌによろしく！」)

【CoRich舞台芸術アワード！2024】

- 1位＝Aga-risk Entertainment 「なかなか失われな
い30年」
- 2位＝あやめ十八番「雑種 小夜の月」
- 3位＝モダンスイマーズ「雨とベンツと国道と私」
- 4位＝ラビット番長「白魔来るーハクマキタルー」
- 5位＝プテラノドン「青春にはまだはやい」
- 6位＝Peachboys「ピーチボーイズ～新性器エヴァ
んと下痢男～」
- 7位＝20歳の国「長い正月」、牡丹茶房「柏原照観展」
- 9位＝劇団フルタ丸「口車ダブルス」
- 10位＝やみ・あがりシアター「フィクショナル香港
IBM」

(10位以下省略)

【第2回カンゲキ大賞】

劇団アレン座(Allen suwaru)「いい人間の教科書。」

【かながわパフォーミングアーツアワード2024】

- ◇**グランプリ**＝神田初音ファレル「懺肉祭～希求夜
想曲Ver.～」
- ◇**MVP賞**＝三橋亮太(譜面絵画「ホームライナー新
津々浦1号」作・演出)
- ◇**オーディエンス賞**＝老若男女未来学園「一度に全
部は無理だとしても」

【関西演劇祭2024】

- ◇**MVO(Most Valuable Opus)**＝エンニュー
- ◇**ベスト脚本賞**＝長谷川優貴(エンニュー)
- ◇**ベスト演出賞**＝福井しゅんや(fukui劇)
- ◇**ベストアクター賞**＝小林アスマ(劇団さいおう
ば)、大和ほなみ(fukui劇)
- ◇**審査員特別賞**＝桜さかみ(劇団☆kocho)
- ◇**観客賞**＝つばみ大革命

【第2回関西えんげき大賞】

- ◇**最優秀作品賞**＝マリヤの賛歌を上演する会「マリ
ヤの賛歌ー石の叫び」
- ◇**観客投票ベストワン賞**＝劇団不労社「MUMBLE
ーモグモグ・モゴモゴー」

- ◇**優秀作品賞**＝エイチエムピー・シアターカンパ
ニー「リチャード三世ー馬とホモサケル」、大阪大学
中之島芸術センター・大阪大学大学院人文学研究
科・大阪大学総合学術博物館「中之島デリバティブ
II」、株式会社リコモーション「素浪人ワルツ
2023」、空晴「の、つづくところ」、劇団不労社「MUMB
LEーモグモグ・モゴモゴー」、THE ROB CARLT
ON「Meilleure Soiree」、清流劇場「セチューアン」の善
人」、突撃金魚「小さいエヨルフ」、ニットキャップシ
アター「よりそう人」、マリヤの賛歌を上演する会
「マリヤの賛歌ー石の叫び」

【第26回関西現代演劇俳優賞】

- ◇**大賞**＝金子順子(コスミックシアター)、高安美帆
(エイチエムピー・シアターカンパニー)、原竹志(兵庫
県立ピッコロ劇団)
- ◇**奨励賞**＝荷車ケンシロウ(劇団不労社)

**【2023年度関西俳優協議会新人育成事業
最優秀新人賞】**

山根翔大(劇団五期会)、未花子(関西芸術座)

【第22回盛岡市民演劇賞】

- ◇**大賞**＝架空の劇団「スケッチブックー供養絵をめ
ぐる物語ー」
- ◇**部門賞**

創作戯曲部門＝遠藤雄史(トラブルカフェシアター)、
角館信哉(ライナー・ノーツ)／**演出部門**＝大森健一
(劇団赤い風)／**舞台美術部門**＝工藤早織(演劇ユニッ
トせのび／海原の蛙ども)／**新人部門**＝渡邊愛実(劇団
ちゃねる)／**観客賞**＝該当なし

【令和6年度東京都名誉都民】

仲代達矢(俳優、無名塾主宰)、両川船遊(人形遣い、江戸
写し絵師、江戸糸あやつり人形結城座理事長)

【令和6年度(第73回)神奈川文化賞】

- ◇**神奈川文化賞**＝濱口竜介(映画監督・脚本家)、杵屋
響泉(長唄三味線演奏家)
- ◇**神奈川文化賞未来賞**＝古川琴音(俳優)

【第73回(令和6年度)横浜文化賞】

～文化・芸術部門～
藤竜也(俳優)

【令和6年度 北日本新聞文化賞】

- ◇**文化功労賞**＝剣幸

【坪内逍遙大賞(岐阜県美濃加茂市)】

野村萬齋(狂言師)

【第4回名古屋女性演劇賞】

木場絵理香(舞台衣裳)

【令和6年度 第40回芸術創造賞(名古屋市)】

八代将弥(劇作・演出・俳優)

【2023年度名古屋演劇ペンクラブ賞】

五篠園美(日本舞踊家)、中村勘九郎(歌舞伎俳優)、中村七之助(歌舞伎俳優)、西川千雅(日本舞踊家)、松本喜臣(劇団シアターウィークエンド代表)

【令和6年度京都市文化功労者】

十世片山九郎右衛門(能楽観世流シテ方)、水口一夫(劇作家・演出家)

【令和5年度 大阪文化祭賞】

～大阪文化祭賞～

「壇浦兜軍記 阿古屋琴責の段」出演者一同(初春文楽公演「壇浦兜軍記 阿古屋琴責の段」の成果)、態変(「私たちはアフリカからやってきた」の舞台の成果)

～奨励賞～

大槻裕一(大槻文蔵裕一の会「道成寺」の成果)、山村若葵紀(新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会「鐘ヶ岬」の成果)、京山幸太(十三浪曲寄席「パンク侍、斬られて候三本勝負」の口演の成果)、THE ROB CARLTON(「Meilleure Soiree」の舞台の成果)

【令和5年度大阪府憲法記念日知事表彰】

春野恵子(浪曲師)、増田久美子(俳優)、松田正弘(浄りシアター館長)、松本昇三(演出家)

【令和6年度「咲くやこの花賞」】

～演劇・舞踊部門～

翼和希(歌劇)

【第59回大阪府市民表彰】

～文化功労部門～

有栖川有栖(小説家)、杵屋勝之弥(長唄唄方)、内藤裕敬(南河内万歳一座)、宮川彬良(作曲家、舞台音楽家)

【2024年度神戸市文化賞】

◇神戸市文化賞=森山未來(俳優、ダンサー)

【第3回Anthem Awards(米国)】

～Education, Art & Culture部門～

◇ブロンズ賞=「狂言 野村万蔵家300年の歴史」

【ローレンス・オリヴィエ賞2024】

(授賞式：現地時間2024年4月14日)

～演劇部門～

◇最優秀作品賞=「Dear England」

◇最優秀リバイバル作品賞=「Vanya」

◇最優秀主演男優賞=Mark Gatiss「The Motive And The Cue」

◇最優秀主演女優賞=Sarah Snook「The Picture Of Dorian Gray」

◇最優秀助演男優賞=Will Close「Dear England」

◇最優秀助演女優賞=Haydn Gwynne「When Winston Went To War With The Wireless」

～ミュージカル部門～

◇最優秀作品賞=「Operation Mincemeat」

◇最優秀リバイバル作品賞=「Sunset Boulevard」

◇最優秀主演男優賞=Tom Francis「Sunset Boulevard」

◇最優秀主演女優賞=Nicole Scherzinger「Sunset Boulevard」

◇最優秀助演男優賞=Jak Malone「Operation Mincemeat」

◇最優秀助演女優賞=Amy Trigg「The Little Big Things」

～共通部門～

◇最優秀演出賞=Jamie Lloyd「Sunset Boulevard」

◇最優秀セットデザイン賞=Miriam Buether for Set Design & 59 Productions for Video Design「Stranger Things: The First Shadow」

◇最優秀照明デザイン賞=Jack Knowles「Sunset Boulevard」

◇最優秀振付賞=Arlene Phillips with James Cousins「Guys & Dolls」

◇最優秀衣装デザイン賞=Marg Horwell「The Picture Of Dorian Gray」

◇最優秀音響デザイン賞=Adam Fisher「Sunset Boulevard」

～その他～

◇BEST NEW ENTERTAINMENT OR COMEDY PLAY=「Stranger Things: The First Shadow」

◇BEST FAMILY SHOW=「Dinosaur World Live by Derek Bond」

◇OUTSTANDING MUSICAL CONTRIBUTION=Alan Williams for Musical Supervision & Musical Direction

◇Outstanding Achievement in an Affiliate Theatre=「Sleepova」

◇BEST NEW OPERA Production=「Innocence」by Royal Opera

- ◇**Outstanding Achievement OPERA**=Antonio Pappano for his role as Music Director
- ◇**BEST NEW DANCE Production**=「La Ruta」by Gabriela Carrizo, part of Nederlands Dans Theater - NDT 1
- ◇**Outstanding Achievement DANCE**=Isabella Coracy for her performance in NINA: By Whatver Means, part of Cassa Pacho's Ballet Black: Pioneers

【第77回トニー賞】

(授賞式：現地時間2024年6月16日)

～ミュージカル部門～

- ◇**最優秀作品賞**=「アウトサイダー」
- ◇**最優秀リバイバル作品賞**=「メリリー・ウィー・ロール・アロング」
- ◇**最優秀主演男優賞**=ジョナサン・グロフ「メリリー・ウィー・ロール・アロング」
- ◇**最優秀主演女優賞**=マリア・ジョイ・ムーン「ヘルズ・キッチン」
- ◇**最優秀助演男優賞**=ダニエル・ラドクリフ「メリリー・ウィー・ロール・アロング」
- ◇**最優秀助演女優賞**=キーシャ・ルイス「ヘルズ・キッチン」
- ◇**最優秀演出賞**=ダンヤ・テイモア「アウトサイダー」
- ◇**最優秀脚本賞**=シェイナ・タウブ「サフス」
- ◇**最優秀装置デザイン賞**=トム・スカット「キャバレー」
- ◇**最優秀衣装デザイン賞**=リンダ・チョー「グレート・ギャツビー」
- ◇**最優秀照明デザイン賞**=ブライアン・マックデヴィット&ハナ・S・キム「アウトサイダー」
- ◇**最優秀音響デザイン賞**=コディ・スペンサー「アウトサイダー」

～演劇部門～

- ◇**最優秀演劇作品賞**=「ステレオフォニック」
- ◇**最優秀リバイバル作品賞**=「アプロプリエイト」
- ◇**最優秀主演男優賞**=ジェレミー・ストロング「民衆の敵」
- ◇**最優秀主演女優賞**=サラ・ポールソン「アプロプリエイト」
- ◇**最優秀助演男優賞**=ウィル・ブルル「ステレオフォニック」
- ◇**最優秀助演女優賞**=カラ・ヤング「バーリー・ヴィクトリアス：ア・ノン・コンフェデレート・ロンプ・スルー・ザ・コットン・パッチ」
- ◇**最優秀演出賞**=ダニエル・オーキン「ステレオフォニック」

- ◇**最優秀装置デザイン賞**=デヴィッド・ジン「ステレオフォニック」
- ◇**最優秀衣装デザイン賞**=ディディ・アイーテ「ジャジャズ・アフリカン・ヘア・ブレイディング」
- ◇**最優秀照明デザイン賞**=ジェーン・コックス「アプロプリエイト」
- ◇**最優秀音響デザイン賞**=ライアン・ルメリー「ステレオフォニック」

～ミュージカル・演劇 共通部門～

- ◇**最優秀オリジナル楽曲賞**=「サフス」(作詞作曲：シェイナ・タウブ)
- ◇**最優秀振付賞**=ジャスティン・ベック「イリノイズ」
- ◇**最優秀オーケストラ編曲賞**=ジョナサン・チューニック「メリリー・ウィー・ロール・アロング」
- ～事前発表 受賞者～
- ◇**功労賞**=ジャック・オブライエン、ジョージ・C・ウルフ
- ◇**特別賞**=アレックス・エデルマン、エイブ・ジェイコブ、ニキヤ・マティス
- ◇**地方劇場賞**=ウィルマ・シアター
- ◇**イザベル・スティーヴンソン賞**=ビリー・ポーター
- ◇**名誉賞**=ウエンダル・K・ハリントン、コリーン・ジェニングス=ローゲンサック、ジュディス・O・ルービン、劇作家組合財団、フリードマン・ヘルス・センター
- ◇**演劇教育活動賞**=シージェイ・フィリップ

【第96回アカデミー賞】

(授賞式：現地時間2024年3月10日)

- ◇**作品賞**=「オッペンハイマー」
- ◇**監督賞**=クリストファー・ノーラン「オッペンハイマー」
- ◇**主演男優賞**=キリアン・マーフィ「オッペンハイマー」
- ◇**主演女優賞**=エマ・ストーン「衰れなるものたち」
- ◇**助演男優賞**=ロバート・ダウニー・ジュニア「オッペンハイマー」
- ◇**助演女優賞**=ヴァイン・ジョイ・ランドルフ「ホールドオーバーズ」
- ◇**国際長編映画賞**=「関心領域」(製作国：イギリス)
- ◇**脚本賞**=ジュスティーンヌ・トリエ、アルチュール・アラリ「落下の解剖学」
- ◇**脚色賞**=コード・ジェファソン「アメリカン・フィクション」
- ◇**撮影賞**=ホイテ・バン・ホイテマ「オッペンハイマー」

- ◇**編集賞**＝ジェニファー・レイム「オープンハイマー」
- ◇**美術賞**＝「哀れなるものたち」
- ◇**衣装デザイン賞**＝「哀れなるものたち」
- ◇**メイクアップ・ヘアスタイリング賞**＝「哀れなるものたち」
- ◇**作曲賞**＝ルドウィグ・ゴランソン「オープンハイマー」
- ◇**歌曲賞**＝“What Was I Made For?”「バービー」
- ◇**音響賞**＝「関心領域」
- ◇**視覚効果賞**＝「ゴジラ-1.0」
- ◇**長編アニメ映画賞**＝「君たちはどう生きるか」
- ◇**長編ドキュメンタリー賞**＝「実録 マリウボリの20日間」
- ◇**短編ドキュメンタリー賞**＝「ラスト・リペア・ショップ」
- ◇**短編アニメ映画賞**＝「ウォー・イズ・オーヴァー！ インスパイアード・バイ・ザ・ミュージック・オブ・ジョン・アンド・ヨーコ」
- ◇**短編実写映画賞**＝「ヘンリー・シュガーのワンダフルな物語」

【第47回日本アカデミー賞】

(授賞式：2024年3月8日)

- ◇**最優秀作品賞**＝「ゴジラ-1.0」(製作：東宝株式会社)
- ◇**最優秀アニメーション作品賞**＝「君たちはどう生きるか」(製作：スタジオジブリ)
- ◇**最優秀監督賞**＝ヴィム・ヴェンダース「PERFECT DAYS」
- ◇**最優秀脚本賞**＝山崎貴「ゴジラ-1.0」
- ◇**最優秀主演男優賞**＝役所広司「PERFECT DAYS」
- ◇**最優秀主演女優賞**＝安藤サクラ「怪物」
- ◇**最優秀助演男優賞**＝磯村勇斗「月」
- ◇**最優秀助演女優賞**＝安藤サクラ「ゴジラ-1.0」
- ◇**最優秀撮影賞**＝柴崎幸三「ゴジラ-1.0」
- ◇**最優秀照明賞**＝上田なりゆき「ゴジラ-1.0」
- ◇**最優秀音楽賞**＝上原ひろみ「BLUE GIANT」
- ◇**最優秀美術賞**＝上條安里「ゴジラ-1.0」
- ◇**最優秀録音賞**＝竹内久史「ゴジラ-1.0」
- ◇**最優秀編集賞**＝宮島竜治「ゴジラ-1.0」
- ◇**最優秀外国作品賞**＝「ミッション：インポッシブル/デッドレコニング PART ONE」
- ◇**新人俳優賞**＝アイナ・ジ・エンド「キリエのうた」、桜田ひより「交換ウソ日記」、原菜乃華「ミステリと言う勿れ」、福原遥「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」、市川染五郎「レジェンド&パタフライ」、黒川想矢「怪物」、高橋文哉「交換ウソ日記」、柗木陽太「怪物」
- ◇**協会特別賞**＝大村弘二(美粧・床山)、空閑由美子

(キャストینگ)、百末昭幸(ステインベック編集機の販売・保守・点検・修理)、村瀬継蔵(特殊美術造型)

- ◇**会長功労賞**＝井川徳道(美術)、上田正治(撮影監督)、小林旭(俳優)、酒井賢(美術)、東陽一(監督)、矢部一男(照明)
- ◇**会長特別賞**＝坂本龍一(音楽：3月28日没 享年71)、阿部秀司(プロデューサー：12月11日没 享年74)
- ◇**第47回特別賞**＝シネバザール、東京現像所
- ◇**話題賞**＝「キリエのうた」(作品部門)、山田裕貴(俳優部門)

【2024年日本民間放送連盟賞】

～番組部門・テレビドラマ種目～

- ◇**最優秀賞**＝関西テレビ放送「春になったら」
- ◇**優秀賞**＝TBSテレビ「VIVANT」、日本テレビ放送網「最高の教師 1年後、私は生徒に■された」、WOWOW「連続ドラマW 湊かなえ『落日』」、東海テレビ放送「おっさんのパンツがなんだっていいじゃないか!」、琉球放送「琉球歴史ドラマ『阿麻和利 THE LAST HERO』」

【第32回橋田賞】

- ◇**橋田賞**＝ドラマ「ブラッシュアップライフ」(日本テレビ)、ドラマ「ひとりぼっち一人と人をつなぐ愛の物語」(TBS)、連続テレビ小説「らんまん」(NHK)、相葉雅紀(俳優・歌手・タレント)、神木隆之介(俳優)、北川景子(俳優)、バカリズム(お笑い芸人・脚本家)
- ◇**橋田賞新人賞**＝浜辺美波(俳優)、趣里(俳優)
- ◇**橋田賞特別賞**＝井上順(タレント・歌手・俳優)
- ◇**野村昭子賞**＝大方斐紗子(俳優)

【第33回日本映画批評家大賞】

- ◇**脚本賞**＝上田誠「リバー、流れないでよ」
- ◇**ゴールデン・グローリー賞(水野晴郎賞)**＝木野花「バカ塗の娘」

令和6年 劇壇時事

2024年1月～12月

【1月】

●1日午後4時過ぎ、石川県能登地方を中心とする最大震度7を記録する地震が発生した。近県の新潟、富山、福井も最大震度6強の揺れや津波が到達した。気象庁は「令和6年度能登半島地震」と命名した。また震度6強の激しい揺れに見舞われた石川県七尾市にある能登演劇堂も建物や舞台設備に大きな被害が出たほか、辺の道路も地割れし、水道などのインフラにも被害があることから、当面の間休館することを発表した。

●第81回ゴールデン・グローブ賞の授賞式が8日(日本時間)行われ、スタジオジブリの宮崎駿監督作品『君たちはどう生きるか』がアニメーション作品賞を受賞した。日本作品の同部門受賞は初めて。映画部門作品賞は『オッペンハイマー』が受賞した。

●東京・松竹大谷図書館で11日、資料紹介「今月の芝居から」が始まった。歌舞伎座などで上演中の演目にちなんだ図書やプログラム、関連資料が読めるもので、年間を通して不定期で随時開催される。初回となる1月は歌舞伎座で上演中の『荒川十太夫』『息子』、三越劇場で上演中の『東京物語』に関する資料が紹介された。24日まで。

●2012年に亡くなった十八世中村勘三郎の十三回忌追善の偲ぶ会が13日、東京・ホテルオークラで行われた。

●企画展「寺山修司没後40年記念 ジャパン・アヴァンギャルドポスター見本市」が13日、東京・Bunkamura Gallery8/で始まった。演劇実験室◎天井桟敷や劇団状況劇場などアンガラ演劇の公演ポスターを軸に、同時代のポスターやチラシなどを展示。宇野亞喜良、金子國義、横尾忠則らの作品が並んだ。28日まで。

●第75回プライムタイム・エミー賞の授賞式が現地時間15日に行われ、エルトン・ジョンが『エルトン・ジョン・ライヴ：Farewell from Dodger Stadium』のEGゼクティブ・プロデューサー兼パフォーマーとしてバラエティ特別番組賞(ライブ)を受賞した。同氏は映画『ライオン・キング』の楽曲などでグラミー賞を5回受賞、同じく『ライオン・キング』と『トケットマン』でアカデミー賞の歌曲賞を2回受賞、そしてミュージカル『アイダ』でトニー賞を受賞している。今回のエミー賞の授賞でテレビ界、音楽界、映画界、演劇界の賞をすべて制覇する通称：EGOT (Emmy, Grammy, Oscar, Tony) を達成

した。

●第170回芥川賞・直木賞の選考会が17日、都内で開かれ、芥川賞を九段理江『東京都同情塔』、直木賞を河崎秋子『ともぐい』、万城目学『八月の御所グラウンド』が受賞した。

●京都・南座で20日、「マクロスFと△合わせ 京都南座歌舞伎ノ宴」が始まった。人気SFアニメ「マクロス」シリーズの人気キャラクターが歌舞伎の代表的な演目の登場人物の扮装をしたコラボレーションイラストが登場。普段は客席からしか見ることができない舞台上や、劇場ロビーなどをフォトスポットとし、双方の世界観を楽しめる内容となった。2月18日まで。

●OSK日本歌劇団は23日、劇団トップスター・楊琳と娘役トップスター・舞美りらの退団が決定したことを発表した。退団公演は4月・大阪松竹座『レビュー春のおどり』、7月・南座『レビュー in Kyoto』、8月・新橋演舞場『レビュー夏のおどり』。

●2023年に死去した歌舞伎俳優・市川猿翁と、弟・段四郎の合同の「澤潟屋 送る会」が28日、都内のホテルで開かれた。

●小学館は29日、フランスで開催されている欧州最大規模の漫画の祭典「第51回アングレーム国際漫画祭」で、『ポーの一族』『トーマの心臓』などで知られる萩尾望都が特別栄誉賞を受賞したと発表した。

●横浜能楽堂が大規模改修工事に伴い1月から休館した。2026年6月再開の予定。休館中は市内に仮拠点「OTABISHO 横浜能楽堂」を設置し、能・狂言の上映写真や装束、道具など展示する。

【2月】

●十八世中村勘三郎十三回忌追善「猿若祭二月大歌舞伎」の初日に先駆け、東京・歌舞伎座で2日、中村勘九郎、田中傳左衛門による開幕を告げる「一番太鼓の儀」が執り行われた。

●ミュージカル映画『カラーバブル』が9日、日本公開された。1985年公開のステイヴン・スピルバーグ監督の同名映画を、ブロードウェイでミュージカル化したものを再び映画としてリメイクしたもの。主人公・セリーはブロードウェイ・ミュージカル版で同役を演じたファンティジア・バリノーが務めた。

●川端康成や三島由紀夫、池波正太郎など名だたる文豪が愛した東京・山の上ホテルが12日の営業を

最後に休業した。建物の老朽化が理由。

●博多座は13日、開場25周年を記念して同座初の年鑑パスポートと回数券を発売することを発表した。対象期間の公演を何度でも観ることができるなどの特典が付いた「プレミアム年間パスポート」は250万円で限定2名、対象期間のチケット20枚分の回数券が付いた「プレミアム回数券」は25万円限定10名にそれぞれ販売された。

●Bunkamuraが15日、文化芸術をバーチャル空間で楽しめる、新しい鑑賞体験の拠点となる「Bunkamuraメタバース」を開設した。NTT ArtTechnologyとDNP大日本印刷との共同開発によるもので、第一弾企画としてBunkamuraが開催してきたオペラ公演を振り返る35周年企画ポスター展「Bunkamuraオペラの軌跡～これまで、そしてこれから～」を開催した。

●アニメ界のアカデミー賞と呼ばれる「第51回アニメ賞」の発表・授賞式が17日、米・ロサンゼルスで開かれ、宮崎駿監督「君たちはどう生きるか」がストーリーボード賞、キャラクターアニメーション賞を受賞した。長編作品賞は『スパイダーマン アクロス・ザ・スパイダース』が受賞した。

●こども歌舞伎スクール寺子屋「令和五年度終了発表会並びに成果発表会」が18日、歌舞伎座ギャラリー木挽町ホールで開催された。澤村國矢、中村蝶紫などがOBが助演として出演。『菅原伝授手習鑑 寺子屋』などが披露された。

●早稲田小劇場どらま館で28日、「どらま館制作部週間『おいでよ どらま館』」が始まった。これは2023年度に行ってきた様々な企画の総まとめとして実施するもの。ワークショップのほか、維新派『透視図』『アマハラ』の上映会も行われた。3月4日まで。

●新劇場「TEMPO HARBOR THEATER」が29日、「大阪文化館・天保山」内に開館した。客席数は442席、音楽や演劇、講演、ワークショップなど様々な公演を予定。29日のオープニング記念セレモニーでは、和楽器演奏やダンスなどの「OSAKA NIGHT FUSION」が上演された。

【3月】

●施設の老朽化により2022年10月より大規模な改修工事のため休館していた彩の国さいたま芸術劇場が1日、リニューアルオープンした。

●小説『国宝』が映画化され、吉沢亮が主演を務めることが5日発表された。同作は第69回芸術選奨文部科学大臣賞、第14回中央公論文芸賞をダブル受賞した吉田修一の代表作。高度成長期、任侠の家に生まれながらも歌舞伎役者の家に引き取られた主人公が、激動の人生の中で希代の女形歌舞伎俳優として

の才能を開花させていく物語。監督は李相日、2025年東宝系列で公開。

●新国立劇場は13日、十倉雅和会長の再任が決まったことを発表した。また2026/2027シーズンからの芸術監督について、オペラ部門・大野和士の再任が決定、演劇部門には上村聡史が次期芸術監督予定者として芸術参与に就任することも発表された。

●東京・浅草公会堂で16日、「スターの手型」顕彰式が行われ、中村雀右衛門(五代目)の手型が設置された。

●国立文楽劇場は27日、人形浄瑠璃文楽の研修生制度の選考に3人が合格し、4月から2年ぶりに新規開講すると発表した。昨年は応募期限を延長したりなどしたが、1972年に制度が出来て以来、初めて開講には至らなかった。

●ナショナル・シアター・ライブ(NTLive)『フランケンシュタイン』トーク付き特別上映が29日、東京・TOHOシネマズ日本橋で開催された。これは同館開業10周年を記念したもの。トークショーには映画評論家・渡辺祥子が登壇、ジョニー・リー・ミラーが怪物、ベネディクト・カンバーバッチが博士を演じるバージョンが上映された。

●宝塚音楽学校で27日、第112期生の合格発表があった。今年は480人が受験して40人が合格、競争率は12倍と昨年の15.3倍を下回った。

●兵庫・加古川市に多くの舞台芸術を呼び込み、過去には会員3000人超だった「加古川おやこ劇場」が30日、発足から50年の歴史に幕を下ろした。

【4月】

●兵庫県立ピッコロ劇団が1日、創立30周年を迎えた。

●COCOON PRODUCTION「コクーン アクターズスタジオ」が1日、開講式を迎えた。松尾スズキを主任とし、指導を担当するのは杉原邦生、ノゾエ征爾など。

●調布市せんがわ劇場で1日、演出家・小笠原響が芸術監督に就任した。

●静岡県立清水南高等学校芸術家に1日、「演劇専攻」が新設された。高等学校の通常事業のほか、身体表現や演劇概論などSPAC静岡県舞台芸術センターと連携授業が行われる。

●愛知県芸術劇場で1日、同館エグゼクティブプロデューサーを務めた唐津絵理が芸術監督に就任した。

●5年ぶりの開催となった「第37回四国こんぴら歌舞伎大芝居」の開幕を前に4日、松本幸四郎ら出演俳優たちによる「お練り」が行われた。

●漫画『キャプテン翼』(作者=高橋陽一)シリーズの漫画掲載が4日発売の「キャプテン翼マガジン

vol.20」で終了、1981年より続いたシリーズ連載が43年の歴史に幕を下ろした。

●国立文楽劇場で5日、十一代目豊竹若太夫襲名前夜祭が行われた。4月文楽公演の豊竹呂大夫改め十一代目豊竹若太夫襲名披露狂言『和田合戦女舞鶴 市若初陣の段』についての作品解説や座談会が行われた。6日に初日を迎えた襲名披露興行ではロビーに「襲名飾り」が登場。天井まで届く設えで、大きな「まねぎ」やご祝儀袋がずらりと並び、華やかな雰囲気盛り上げた。飾りは5月文楽公演(東京:シアター1010)にも登場した。また9日からは写真展『紋を受け継ぐ十一代目 豊竹若太夫』が大阪のギャラリー・ソラリスで開催された。21日まで。

●国立文楽劇場で6日に初日を迎えた4月文楽公演で幕見席が販売された。料金は500～2500円。

●岐阜県の地芝居小屋「五毛座」で12日、令和5年から行われてきた大規模改修が完了し記念式典が行われた。式典後にはこけら落とし公演として、中村勘九郎・七之助による春暁歌舞伎特別公演2024が行われた。

●カンヌ国際映画祭は17日、スタジオジブリに名誉パルムドールを授与することを発表した。同賞の団体への授与は初めてのこと。

●米・タイム誌は17日、「世界で最も影響力のある100人」を発表、日本から宮崎駿などが選ばれた。

●大阪・道頓堀ZAZAが5月6日に閉館することを19日発表した。併せて浪速区・新世界に新世界ZAZAと名称を変更して移転することも発表した。

●Kinki Kids堂本光一が作・構成・演出、23年半にわたり単独主演を務める『Endless SHOCK』の22日1時の公演で、国内ミュージカル単独主演記録2000回を達成した。

●ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー『となりのトトロ』が2025年3月8日から英・ジリアン・リン・シアターで無期限ロングラン上演されることが24日発表された。

●東京芸術劇場が25日、2026年3月31日をもって野田秀樹芸術監督が退任し、2026年4月1日付で新芸術監督として岡田利規(舞台芸術部門:演劇カンパニー「チェルフィッシュ」主宰)と山田和樹(音楽部門)が就任することを発表した。

●早稲田大学演劇博物館の2024年春季企画展『生誕100年 越路吹雪衣装展』が25日に始まった。舞台衣装やアクセサリ、ポスターなどから軌跡をたどると共にスタイルへのこだわりを紹介。8月4日まで。

【5月】

●北海道・札幌市に11日、「ジョブキタ北八劇場」が開業した。客席数226席で演劇を中心に上演し、札幌

から若手演劇人を輩出する拠点になることを目指す。

●東宝株式会社は15日、株式会社明治座と複数年並びに複数月に亘る貸館契約を締結したことを発表した。これは帝国劇場が2025年2月より一時休館するため。

●東映株式会社は15日、東京・銀座の本社ビル「東映会館」を2025年夏以降に営業を終了し、再開発すると発表した。本社は25年夏を目前に「京橋エドグラン」内に移転、直営映画館「丸の内TOEI」も同時期に営業を終了、再開発施設は2029年完成を目指すとした。これにより同社の映画興行事業はグループ会社のティ・ジョイが運営するシネマ・コンプレックスのみとなる。

●演劇鑑賞団体「別府市民劇場」が20周年を迎え、25日に大分市公会堂で記念シンポジウムが開かれた。

●宝塚歌劇団花組トップスター・柚香光が26日、東京宝塚劇場で、退団公演『ミュージカル アルカンシェル〜パリに架かる虹〜』の千秋楽を終え、15年間の宝塚人生に別れを告げた。トップ娘役・星風まどかも同時退団した。

●松竹株式会社は27日、尾上菊之助が2025年5月に八代目尾上菊五郎を襲名することを発表した。同時に菊之助の長男・丑之助が六代目菊之助を襲名、当代の尾上菊五郎は引き続き七代目尾上菊五郎を名乗ることも発表された。同じ大名跡が同時期に2人存在するのは歌舞伎400年の歴史で初めてのこと。

●東京・シアターHのオープンイベントが28日開催された。同劇場は大井競馬場第3駐車場跡地に誕生する定員747名の新劇場で、2.5次元ミュージカルを中心に上演される。

【6月】

●英国・ロンドンのロイヤルコート劇場は6日、7月4日に行われるイギリス総選挙当日の公演をすべて中止にすることを発表した。同劇場は公式Xで「脚本家が自身を持って自分たちの意思を表現できる場を提供する劇場として、皆さんにも同様に7月4日の投票に参加し、声を届けてほしいと願っている」と出演者、スタッフをはじめとする劇場関係者と観客に、政治への市民参加の重要性を説いていた。

●早稲田大学演劇博物館の特別展『文豪×演劇—エンパクコレクションにみる近代文学と演劇の世界』が7日始まった。演劇博物館創設者である坪内逍遙をはじめとした文豪たちと演劇に関する資料を展示。また文豪転生シュミレーションゲーム『文豪とアルケミスト』とのタイアップ企画も行われた。8月4日まで。

●越路吹雪の生誕100周年を記念したCDボックス

『越路吹雪avec日生劇場 1965～1969』が12日発売された。1965年から1980年の足掛け16年に渡る伝説の「日生劇場リサイタル」から全盛期とも呼ばれる歌唱力を示した60年代のリサイタル5作を収めた。

●アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル&アジア 2024」(SSFF&ASIA 2024)が17日閉幕し、森崎ウィンが監督を務めたミュージカル映画『せん』(脚本：上田一豪 主演：中尾ミエ)が、グランプリとなるジョージ・ルーカス アワードを受賞した。同作はライブアクション部門ジャパンカテゴリ優秀賞、東京都知事賞も受賞した。

●「ペルサイユのばら La Selection—衣装デザイン図録&Blu-ray—」が28日、宝塚クリエイティブアーツより発売された。1974年月組の初演から2014年宙組オスカル編までの名場面をダイジェストに収めたBlu-rayと舞台衣装のデザイン画96点の図録がセットで販売された。

【7月】

●「堀尾幸雄 舞台美術の記憶Ⅱ—早—」が3日、東京芸術劇場アトリエイースト、アトリエウエストで始まった。昨年に続き開催される今回は、舞台構想時に制作されるデザインがや舞台美術模型が、堀尾自身の制作秘話と共に展示。同氏は1994年初演のNODA・MAP第1回公演『キル』からほとんどのNODA・MAP作品を手がけており、本展では携わった19演目が一挙に展示された。15日まで。

●宝塚歌劇団月組トップスター・月城かなとが、7日の東京宝塚劇場公演『Eternal Voice 消え残る想い』『Grande TAKARAZUKA 110!』千秋楽をもって退団した。

●「轟悠(藏人)展—とき放つ トリコロールの愛のすがた—」が10日、東京・日本橋高島屋S.C.美術画廊で始まった。轟が退団後に美術作家・藏人としてデビューして行われる初の個展。新作ボーリングアート約60点が展示・販売された。15日まで。

●第171回芥川賞・直木賞の選考会が17日行われ、芥川賞に朝比奈秋『サンショウウオの四十九日』、松永K三蔵『バリ山行』、直木賞に一穂ミチ『ツミデミック』が選ばれた。

●東日本電信電話株式会社(NTT東日本)と西日本電信電話株式会社(NTT西日本)は19日、電話帳(タウンページ)と番号案内(104番)のサービスを2026年3月31日で終了することを発表した。

●新宿花園神社境内で野外劇の上演を続けてきた「椿組」が、23日千秋楽の舞台「かなかぬち」(7月10日開幕)をもって、39年間続けてきた野外劇に幕を下ろした。仮設テントが劣化し、新調するには多額の

費用が要ることや、座長の外波山文明の年齢や劇団員の今後などを考慮し、野外劇の継続は難しいと判断。外波山は「39年目、サンキューありがとう、で区切りを付けることにしました」と語っていた。

●パリ・オリンピックの開会式が26日に行われた。1924年以来100年ぶり3回目のパリ大会は、夏のオリンピックとして初めてスタジアムの外で開会式が行われ、選手団は市内を流れるセヌ川で大小様々な船のついでパレードを行った。聖火は気球のような形をした聖火台に点火され、空へ浮かび上がった。大会には200か国以上の国内オリンピック委員会(NOC)およびオリンピック難民選手団が参加。8月11日まで。

●日本舞踊家・西川箕乃助が29日をもって十一世西川扇藏を襲名した。同日、東京・下谷神社にて襲名神事が行われ、神殿にて奉納舞踊「七福神」が納められた。

【8月】

●8日午前4時43分ごろ、日向灘を震源とする宮崎県南部で最大震度6弱を観測する地震が発生した。それを受け気象庁は同日午後7時15分、南海トラフ地震が発生する可能性が平常時より高まっているとして「南海トラフ地震臨時情報[巨大地震注意]」を出した。臨時情報が出たのは制度が出来た2017年以来初めて。

●松竹株式会社は10日、歌舞伎座で当初予定していた「吉例顔見世大歌舞伎」の公演内容変更を発表した。11月に舞台機構整備の工事を実施するため。「十一月歌舞伎座特別公演 ようこそ歌舞伎座へ」を上演した。

●パリ・オリンピックの閉会式が12日行われた。日本は今大会で金20個、銀12個、銅13個の合わせて45個のメダルを獲得、金メダルの数とメダル総数共に海外で行われたオリンピックでは史上最多となった。次回は2028年の米・ロサンゼルス大会となる。

●「ネルケプランニング30th ANNIVERSARY特別展～ネルケと巡る2.5次元の世界！～」が16日、SHI BUYA TSUTAYAで始まった。舞台制作会社の同社の創立30周年を記念したもので、同社が2.5次元ミュージカルと歩んできた歴史をたどる展示イベント。9月1日まで。

●舞台『千と千尋の神隠し』(製作：東宝株式会社)のロンドン公演が現地時間8月24日に千秋楽を迎えた。ロンドンでも最大規模2300人収容の劇場ロンドン・コロシアムで4月30日からのプレビューを経て、5月7日に本公演が始まり、全135ステージ、延べ約30万人が観劇した。

●松竹株式会社は27日、2025年3月、9月、10月に歌

舞伎座で『仮名手本忠臣蔵』『菅原伝授手習鑑』『義経千本桜』を一挙上演することを発表した。2025年に同社が創業130年を迎える節目の年を記念したものの。歌舞伎座において、三大名作を一挙上演するのは、創業100周年にあたる1995年以来30年ぶり。

●愛媛県松山市にある小劇場「シアターねこ」で31日、最後の演劇公演が上演され閉館した。同シアターは2012年のオープン以来、地元劇団、県外の小劇場系劇団、コンテンポラリーダンス、落語などの公演のほか、自主事業として演劇ワークショップや情報発信など地域の舞台芸術拠点として活躍した。

【9月】

●OSK日本歌劇団の翼和希が2日付で新トップスターに就任した。8月の東京・新橋演舞場公演『レビュー 夏のおどり』をもって卒業した前トップスター・楊琳からバトンを受け継いだ。トップスターお披露目公演は、2025年6月の大阪・大阪松竹座公演『レビュー 春のおどり』と、同8月の新橋演舞場公演『レビュー 夏のおどり』となる。

●劇団不労社・西田悠哉の呼びかけにより今年スタートした西陽のプロジェクト第1弾となる関西若手戯曲集「篇西風」が7日に刊行された。西陽は関西の舞台芸術に関わる若手による運動体。2020年から2024年にかけての「コロナと歩んだ4年間 / 2020-2024」をテーマに、関西出身の若手劇作家による11編の戯曲が収められた。

●現代演劇の多くの俳優、劇作家、演出家を輩出してきた東京・池袋の舞台芸術学院が9日、2026年3月を以て、俳優教育活動を終了することを発表した。閉校後の跡地は劇団青年座が受け継ぐ予定。

●パリ・パラリンピックの閉会式が9日行われた。史上最多の168の国と地域、難民選手団から約4400人が参加し、日本は金14個、銀10個、銅17個の合わせて41個のメダルを獲得した。

●米・テレビ界で最高の栄誉とされる第76回エミー賞の授賞式が15日、米・ロサンゼルスで開かれ、真田広之主演のドラマ『SHOGUN 将軍』がドラマシリーズの作品賞に選ばれた。また主演とプロデューサーを務めた真田が日本人俳優として初めて主演男優賞を受賞するなど、エミー賞で史上最多の計18冠に輝いた。真田は「これまで時代劇を継承して支えてきてくださった全ての方々、そして監督や諸先生方に心より御礼申し上げます。あなた方から受け継いだ情熱と夢は海を渡り国境を越えました」とスピーチした。

●東京・王子小劇場は18日、2025年4月1日付で、運営事業を大阪・インディペンデントシアターを運営する有限会社ジャングルへ継承することを発表し

た。

●宝塚歌劇団の星組トップ娘役・舞空瞳が22日、東京宝塚劇場で退団公演『記憶にございません!』『Tia ra Azul—Destino—』の東京公演千秋楽を迎え、歌劇団に別れを告げた。

●本多グループが25日、2026年3月2日から駅前劇場とOFF・OFFシアターを休館することを発表した。これは入居しているビルの改修工事に伴うもの。期間は同年7月31日までとした。

●東京都は27日、東京文化会館を2026年5月から全館休館することを発表した。これは同館が1961年に開館して約60年が経過し、施設全体の経年劣化が進んでいることから全面的な設備機器更新等の大規模改修工事を行うため。期間は2028年度中とした。

●宝塚歌劇団の花組の永久輝せあと星空美咲の新トップコンビのお披露目公演となる三井住友VISAカード シアター ファンタジー・ホラロマン『エンジェリックライ』、レヴュー グロリア『Jubilee』が28日、兵庫・宝塚大劇場で開幕した。

【10月】

●産経新聞社は1日、夕刊紙「夕刊フジ」を2025年1月31日発行(2月1日付)をもって休刊することを発表した。デジタル端末の普及や購読機会の減少、原材料費の上昇などが理由。

●早稲田大学演劇博物館にて企画展『築地小劇場100年—新劇の20世紀—』が3日始まった。同劇場に関わる所蔵の新劇関連資料を一同に展示された。2025年1月19日まで。

●スウェーデン・アカデミーは10日、2024年ノーベル文学賞を韓国の女性作家ハン・ガン(韓江)に授与すると発表した。韓国人の同賞受賞は初、アジア人女性としても初となった。

●ノーベル平和賞の選考委員会は11日、2024年のノーベル平和賞に広島や長崎で被爆した人たちの全国組織「日本原水爆被害者団体協議会」を選んだと発表した。日本のノーベル平和賞受賞は1974年の佐藤栄作元総理大臣以来50年ぶり。

●展示『国立文楽劇場の40年』が12日、大阪・国立文楽劇場資料展示室で始まった。同劇場40周年を記念したもので、開業当時から現在に至るまでの記憶に残る名人や名舞台を写真などの資料で紹介した。11月24日まで。

●宝塚歌劇団雪組トップスター・彩風咲奈の退団公演「宝塚グランドロマン『ベルサイユのばら』—フェルゼン編—」が13日、東京宝塚劇場で千秋楽を迎えた。

●大谷図書館が18日、WEB上で竹本の床本を閲覧できるデジタルアーカイブを公開した。公開された

のは歌舞伎の舞台で実際に使用された、太夫が語る詞章と三味線方の譜が書かれた床本で、歌舞伎をより深く味わえる貴重な資料となった。

●シアター1010(足立区文化芸術劇場)が2024年11月1日より休館することが21日分かった。空調機器更新工事等に伴うもので2025年4月30日までの予定。

●放送批評懇談会が選ぶ「2024年9月度ギャラクシー賞月間賞」が21日に発表され、宮藤官九郎が脚本を手がけたフジテレビ『新宿野戦病院』とテレビ朝日『終わりに見た街』ほか4作品が選ばれた。宮藤は1月期のTBS『不適切にもほどがある!』、6月期のテレビ東京『季節のない街』に続く3クール連続の月間賞受賞となった。

●舞浜アンフィシアターで公演中の劇団四季のディズニーミュージカル『美女と野獣』が23日、舞浜上演2周年を迎えた。

●2022年11月の歌舞伎座から始まった「十三代目市川團十郎白猿襲名披露 八代目市川新之助初舞台」が26日、大阪松竹座で大千穂楽を迎えた。

●岩谷時子の自伝的エッセイ『愛と哀しみのルフラン』が29日、河出書房新社から発売された。

【11月】

●中日新聞社は5日、同社が発行するスポーツ紙「東京中日スポーツ」の印刷を2025年1月31日付で休止することを発表した。費用の上昇などが理由。同年2月1日から電子版に全面移行することも合わせて発表された。

●2014年11月に83歳でなくなった高倉健の出演作を集めた映画上映「没後10年高倉健特集 銀幕での再会」が7日、東京・丸の内TOEIで始まった。

●『パルコステージ8Kフェス』が8日から東京・PARCO劇場で始まった。これは8K高画質で収録されたパルコ・プロデュースの舞台作品を上映する企画。『笑の大学』『桜の園』『海をゆく者』『リア王』『オーランド』の5演目が上演された。14日まで。

●学校法人明治大学は15日、「山の上ホテル」の建物と土地を15日付で取得したことを発表した。2031年に創立150周年を迎える記念事業の一環として再整備を実施。現状の外観を維持したまま改修工事をした上でホテル機能を継続させるとともに、学生支援や社会連携の利用も検討していくとした。

●宝塚歌劇団月組新トップスター・鳳月杏と新トップ娘役・天紫珠李のお披露目公演『ゴールデン・リパティ』が『PHOENIX RISING - IN THE MOONLIGHT』が16日、兵庫・宝塚大劇場で開幕した。

●名古屋四季劇場で上演されていた劇団四季のミュージカル『パケモノの子』が17日、通算上演回数5000回を達成した。

●『疫病・戦争・災害の時代にーサミュエル・ベケット映画祭2024』が23日、京都芸術劇場春秋座で始まった。京都芸術大学舞台芸術研究センターと早稲田大学演劇博物館によるイベントで、ベケットの実験的短編映像の上映やトークイベントが行われた。春秋座で同日のほか12月7・8日、早稲田大学小野記念講堂で12月17日。

●舞浜アンフィシアターで上演中の劇団四季のディズニーミュージカル『美女と野獣』が24日、日本上演29周年を迎えた。総公演回数は6300回以上、総入場者数は624万人に上っている。

【12月】

●2024年「新語・流行語大賞」が2日発表され、年間大賞に、ドラマ『不適切にもほどがある!』(脚本・宮藤官九郎、主演・阿部サダヲ)のタイトルを略した「ふてほど」が選ばれた。トップテンに選ばれていたのは「ふてほど」のほか「裏金問題」「界限」「初老ジャパン」「新紙幣」「50-50」「Bling-Bang-Bang-Born」「ホワイト案件」「名言が残せなかった」「もうええでしよう」。

●国連教育科学文化機関(ユネスコ)の政府間委員会は4日、日本酒や焼酎、泡盛といった日本の「伝統的酒造り」を無形文化遺産に登録することを決めた。

●日本漢字能力検定協会は12日、2024年の世相を表す「今年の漢字」が「金」に決まったことを発表、京都・清水寺で揮毫された。「金」が選ばれるのは5回目。パリ・オリンピックの金メダルなどを表す「光の金(きん)」と、政治の裏金問題や金目当ての闇バイト強盗事件などの「影の金(かね)」の2つの面で注目が集まったとした。

●ドキュメンタリー映画『シアトリカル 唐十郎と劇団唐組の記録』が14日、東京・ポレポレ東中野で上映が始まった。2007年公開のドキュメンタリー映画で5月に死去した唐十郎を追悼し17年ぶりに再上映。28日まで。このほか神奈川や愛知、大阪、兵庫、大分などでも再上映された。

●劇団四季は25日、愛知県名古屋市長熱田区に新たな劇団四季専用劇場の建設が決定したことを発表した。これは現:名古屋四季劇場(中村区名駅南)の土地契約終了に伴うもの。着工は2025年3月、竣工は26年5月、グランドオープンは2026年夏を予定。これに伴い、現:名古屋四季劇場で25年10月19日に開幕予定のミュージカル『マンマ・ミーア!』は、26年2月23日に千秋楽を迎えることが決定し、この『マンマ・ミーア!』が、名古屋四季劇場での最終公演となる。

令和6年 雑誌掲載戯曲

2024年1月～12月

【テアトロ(カモミール社)】

1月号

- ◆「アイの希望」作=福井次郎

2月号

- ◆「笑劇・牧野富太郎伝」作=鈴木一功

3月号

- ◆「白き恋人たち」作=南出謙吾

4月号

- ◆「絶対に怒ってはいけない!？」作=橋原拓(第36回テアトロ新人戯曲賞最終審査作品)

- ◆「石枕」作=福井次郎

5月号

- ◆「当番の娘」作=大森句子(第36回テアトロ新人戯曲賞最終候補作品)

- ◆「雲のきざしはしー長崎の耳なしクリストスー」作=本田徹

6月号

- ◆「寺山修司と十六人の女」作=福井次郎

7月号

- ◆「新・復活2024」作=原田一樹

8月号

- ◆「文明開化 四ツ谷怪談」作=福田善之 協力=井村昂

9月号

- ◆「山野邊 禮」作=相澤嘉久治

10月号

- ◆「あかつき 椎名鱗三作『永遠なる序章』より プロ

- ローグとエビローグのある第七章」作=大森句子

- ◆「混沌の街-ゴザ1950」作=江原吉博

11月号

- ◆「ファンタスティック劇場 その1 (窓には白い櫻が映えて)「女優」作=三條三輪

- ◆「かへり花」作=日向十三

12月号

- ◆「女優②」作=三條三輪

- ◆「渡辺えり版 星の王子様」作=渡辺えり

【悲劇喜劇(早川書房)】

1月号

- ◆「海をゆく者 The SEAFARER」作=コナー・マクファーソン 翻訳=小田島恒志

- ◆「THE BEAUTY QUEEN OF LEENANE」作=マーティン・マクドナー 翻訳=小川絵梨子

- ◆「季節はずれの雪」作=スティーブン・メトカルフ 翻訳=一川華

3月号

- ◆「う蝕」作=横山拓也

- ◆「東京トワイライト-強盗団と新しい家-」作=松田正隆

- ◆「スプーンフェイス・スタインバーグ」作=リー・ホール 翻訳=常田景子

- ◆「たわごと」作=桑原裕子

5月号

- ◆「閻魔の王宮」脚本=フランシス・ヤーチュー・カウイグ 翻訳=小田島恒志

- ◆「GOOD 善き人」作=C.Pテイラー 翻訳=浦辺千鶴

7月号

- ◆「ケエツプロウよー伊藤野枝ただいま帰省中」作=マキノノゾミ

- ◆「白き山」脚本=古川健

- ◆「夜の訪問者」作=J・B・ブリーストリィ 翻訳=内村直也 脚本=八木柗一郎

8月号

- ◆音楽劇「空中ブランコのりのキキ」原作=別役実 脚本=北川陽子 構成(・演出)=野上綱代

- ◆「飽きてから」原案=三浦直之 上坂あゆ美 脚本(・演出)=三浦直之

- ◆「彼方からのうた」作=サイモン・スティーヴンマーク・アイツェル 翻訳=高田陽子

- ◆「雨とベンツと国道と私」作(・演出)=蓬萊竜太

11月号

- ◆「スザンナー俳優三人のための一人芝居-」作=ヨン・フォッセ 翻訳=アンネ・ランデ・ペータス長島確

- ◆「ピロマン」作=マーティン・マクドナー 翻訳=小川絵梨子

- ◆「峠の我が家」作=岩松了

【演劇と教育(晩成書房 編集・日本演劇教育連盟)】

1+2月号

- ◆「いっしょにおどろ!」作=猪俣郁夫

- ◆「骨を蒔く」作=柳雅之

3+4月号

- ◆「ウソ発見器と宇宙人」作=高橋よしえ

- ◆「夏の思い出」作=高砂洋子

5+6月号

- ◆「なにぬね何なの七不思議!」作=構成=大沼篤

- ◆「花沢くんは絶不調」作=柏木陽

7+8月号

- ◆「SNOW BLACK ～白雪姫と7人の……!?～」作＝石川瞳
- ◆「昔むかしのお話」作＝森澄枝
- 9+10月号
- ◆「シンコペーション」作＝柏木陽
- ◆「チップス」作＝小川真由
- ◆「チャチャッと垂らせよ蜘蛛の糸」作＝田中ゑり子

- 11+12月号
- ◆「いつかこの場所で」作＝八木爽子
- ◆「ぼんぼこ」作＝真庭一郎

令和6年 演劇関係新刊書

令和6年(2024年)1月～12月の間に刊行された主な演劇関係新刊図書—演劇論、演劇評論、随筆、芸談、戯曲集—を収録した。

※書名、著者・編集者名、税込価格、出版社名の順に記載した。

《1月》

「演劇ノドラマの手法とソーシャルワーク教育 解放と脱構築のためのクリティカル・リフレクション (日本女子大学叢書)」 小山聡子(著)

4,620円 明石書店

「演劇と教育 2024年02月号」 990円 晩成書房

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年1月24日号」 2,299円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年2月7日号」 2,299円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「恋するお三輪 (見て聞いてまねて楽しむ歌舞伎絵本)」 中村壱太郎(著) 1,870円 くもん出版

「fact guide 2024 Season18 (TVガイドMOOK)」 1,300円 東京ニュース通信社

「宝塚イズム 48 特集ありがとう柚香光&星風まどか」 藪下哲司(編著) 1,760円 青弓社

「Stage fan Vol.34(2024) (メディアボーイMOOK)」 1,100円 メディアボーイ

「ステージナビ vol.88(2024) (NIKKO MOOK TVnaviプラス)」 1,100円 産経新聞出版

「つかこうへい正伝 2 1982-1987 知られざる日々」 長谷川康夫(著) 3,300円 大和書房

「えんぶ 2024年02月号」 600円 えんぶ

「黄金舞踏 俳優・山川浦路の青春 (潮文庫)」 大橋崇行(著) 1,100円1 潮出版社

「『情動』論への招待 感情と情動のフロンティア」 柿並良佑(編) 3,960円 勁草書房

「或る英国俳優の書棚」 野村悠里(著) 4,400円 水声社

「秘密の花園の向こうへ フランシス・ホジソン・バーネットの生涯」 アン・スウェイト(著) 4,180円 国書刊行会

「Four Plays of Minoru Betsuyaku 湯浅雅子の訳した別役実の戯曲」 Minoru Betsuyaku(著) 3,520円 社会評論社

「少女たちの〈居場所〉 資本の他者として」 関谷由美子(著) 3,520円 鳥影社

「テアトロ 2024年02月号」 1,300円 カモミール社

「宝塚GRAPH 2024年02月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ

「月城かなと写真集 Moonlit (タカラヅカMOOK)」 3,600円 宝塚クリエイティブアーツ

「歌劇 2024年01月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ

「いつも心にケセラセラ」 真矢ミキ(著) 2,090円 産業編集センター

「花組 BE SHINING!! (タカラヅカMOOK)」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ

「黒いダイヤ 戯曲」 支那海東(著) 2,970円 石風社

「戯曲 舞台『刀剣乱舞』虚伝燃ゆる本能寺 愛蔵版」 末満健一(著) 2,750円 講談社

「優秀新人戯曲集 2024」 日本劇作家協会(編集) 2,200円 ブロンズ新社

「パートタイマー・秋子」 永井愛(著) 1,870円 而立書房

「フォークナーの晩年様式 その展開と変容」 山本裕子(著) 3,300円 松籟社

「江戸に欠かせぬ創作ばなし 綺堂随筆 新装版

「河出文庫」 岡本綺堂(著) 990円 河出書房新社

「ヒビノカテ (まあいいか)」 大竹しのぶ(著) 1,760円 幻冬舎

「Sparkle vol.55(2024) (メディアボーイMOOK)」 1,980円 メディアボーイ

「blue THE Stage DREAM 有澤樟太郎、ゴールデン。(白夜ムック)」 2,100円 白夜書房

「みなさんのおかげです 木梨憲武自伝」 木梨憲武(著) 2,200円 小学館

「必殺シリーズ始末 最後の大事な」 高鳥都(著) 3,080円 立東舎

「BARFOOT! VOLUME341(2024FEBRUARY) SixTONES 坂垣李光人 川口春奈 高良健吾 末澤誠也 網啓永 橋本愛 畑芽育 堀田真由 美弥るりか 吉川愛」 ブラウンズブックス(編集) 1,210円 ブラウンズブックス

「窪塚洋介の人生攻略本」 窪塚洋介(著) 1,870円 NORTH VILLAGE

「自刻像」 伊勢谷友介(著) 1,870円 文藝春秋

「僕の流儀 What's Next?」 加藤雅也(著) 1,760円 彩図社

「舞文録 女優須磨子と島村抱月の真実」 涼江しげる(著) 4,950円 三省堂書店

「おかしゅうて、やがてかなしき 映画監督・岡本喜八と戦中派の肖像 (集英社新書 集英社新書ノンフィクション)」 前田啓介(著) 1,485円 集英社

「好色五人女 (光文社古典新訳文庫)」 井原西鶴(著) 946円 光文社

「柳宗悦の視線革命 もう一つの日本近代美術史と民芸の創造」 西岡文彦(著) 4,950円 東京大学出版会

「日本タレント名鑑 2024」 9,900円 VIPタイムズ社

「演劇/ドラマの手法とソーシャルワーク教育 解放と脱構築のためのクリティカル・リフレクション (日本女子大学叢書 26)」 小山聡子(著) 4,620円 明石書店

《2月》

「竹内統一郎集成 Volume4 引用ノ快」 竹内統一郎(著) 3,520円 松本工房

「ステージスクエア vol.67 『Endless SHOCK』 堂本光一×佐藤勝利×中山優馬×上田竜也×前田美波里×島田歌穂 (HINODE MOOK)」 日之出出版(著) 1,100円 日之出出版

「Stage fan Vol.35(2024) (メディアボーイMOOK)」

1,100円 メディアボーイ

「新訳テンペスト (角川文庫 Shakespeare Collection)」 シェイクスピア(著) 968円 KADO KAWA

「ステージナビ vol.89(2024) (NIKKO MOOK TVnaviプラス)」 1,100円 産経新聞出版

「歌舞伎評判記集成 第3期第7巻 自寛政三年至寛政七年」 役者評判記刊行会(編) 16,500円 和泉書院

「悲劇喜劇 2024年03月号」 1,500円 早川書房

「福田善之の世界」 井上理恵(編著) 3,850円 社会評論社

「歌舞伎音楽事始 音を聴く深く観る」 土田牧子(著) 2,970円 NHK出版

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年2月21日号」 2,299円 アシェット・コレクションズ・ジャパン

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年3月6日号」 2,499円 アシェット・コレクションズ・ジャパン

「江戸の戯作絵本 2 (ちくま学芸文庫)」 小池正胤(編) 1,980円 筑摩書房

「幕末の合巻 江戸文学の終焉と転生」 佐藤至子(著) 12,100円 岩波書店

「歌劇 2024年02月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ

「宝塚GRAPH 2024年03月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ

「ル・サンク 2024年02月号」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ

「月組 G.O.A.T (タカラヅカMOOK)」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ

「独裁者の学校 (岩波文庫)」 エーリヒ・ケストナー(著) 715円 岩波書店

「『論語』は不安の処方箋 (祥伝社黄金文庫)」 安田登(著) 990円 祥伝社

「73歳、ひとり楽しむ山歩き」 市毛良枝(著) 1,650円 KADOKAWA

「へそまがりな私の、ぐるぐるめぐる日常。」 菊池亜希子(著) 1,595円 宝島社

「ホントのコイズミさん NARRATIVE」 小泉今日子(編著) 1,650円 303BOOKS

「私は元気がありません」 長井短(著) 1,760円 朝日新聞出版

「CHEER Vol.42 松村北斗 (TJ MOOK)」 1,080円 宝島社

「早坂暁必殺シリーズ脚本集」 早坂暁(著) 3,300円 かや書房

「テアトロ 2024年03月号」 1,300円 カモミール社

「ギャラをいくらにする? クリエイター、アーティスト、フリーランスが読んでおきたい会計の授業」堀内雅生(著) 1,760円 秀和システム

「家畜追いの妻 オーストラリア演劇叢書 16」リア・バーセル(著) 佐和田敬司(訳) 2,200円 オセアニア出版社

《3月》

「エンターテインメント・ビジネス 産業構造と契約実務」安藤和宏(著) 3,080円 リットーミュージック

「クリエイティブジャンプ 世界を3ミリ面白くする仕事術」龍崎翔子(著) 1,760円 文藝春秋

「エッセンシャル・シアター 西洋演劇史入門」オスカー・G. ブロケット他(著) 香西史子(訳) 3,080円 春風社

「劇場のグラフィズム アングラ演劇から小劇場ブーム、現代まで」笹目浩之(著) 4,950円グラフィック社

「ビジネスに効く! 演劇アプローチ 組織の活力を取り戻す『共感』『身体』『即興』」広瀬彰(著) 須田真魚(著) 黒岩健一郎(著) 1,980円 同友館

「イギリス時々ヨーロッパ時日本 演劇と映画」狩野良規(著) 3,960円 国書刊行会

「演劇年鑑 2024」日本演劇協会(著) 4,400円小学館

「にほんのうた 音曲と楽器と芸能にまつわる邦楽通史」みの(著者) 2,750円 KADOKAWA

「イギリス時々ヨーロッパ時日本」狩野良規(著・文) 3,960円 国書刊行会

「歌舞伎 研究と批評 68 特集・歌舞伎と近現代演劇」歌舞伎学会(編) 2,563円 文学通信

「芝居唄 歌舞伎黒御簾音楽歌詞集成」郡司正勝(稿) 浅原恒男(編著) 49,500円 文化資源社

「戯曲 MANKAI STAGE 『A3!』 ACT2! 2023WINTER」亀田真二郎(脚本) MANKAI (STAGE 『A3!』製作委員会) 1,980円 ネルケプランニング

「ミュージカルスターズ vol.2」1,870円 東京ニュース通信社

「テアトロ 2024年4月号」1,300円 カモミール社

「歌劇 2024年3月号」750円 宝塚クリエイティブアーツ

「エル・サンク 2024年3月号」1,000円 宝塚クリエイティブアーツ

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年3月20日号」2,499円 アシエット・コレクション

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年4月3日号」

2,499円 アシエット・コレクションズ・ジャパン
「たんぱく質」 鈴屋法水(著) 3,520円 palmbooks

「REI YUZUKA MEMORIAL BOOK」 3,500円 宝塚クリエイティブアーツ

「シェイクスピアと日本語 言葉の交通」中谷森(著) 3,850円 春風社

「中国戯曲演劇研究」岩城秀夫(著) 11,000円 創文社

「万平BOKS1」北村想(著) 1,870円 松本工房

「風まかせ 声優・井上和彦の仕事と生き方」井上和彦(著) 1,980円 宝島社

「ミュージカル 2024年3-4月号」1,000円 ミュージカル出版社

「ミュージカルスターズ vol.2」1,870円 東京ニュース通信社

「Stagefan Vol.36 (メディアボーイMOOK)」1,200円 メディアボーイ

「阿部次郎ルネサンス」曾根原理(著) 4,730円ペリかん社

「風姿花伝研究」重田みち(著) 9,900円 臨川書店

「THE やんごとなき雑炊」中村倫也(著) 1,870円 KADOKAWA

「ミニシミテ」田中泯(著) 1,870円 講談社

「ショウケン 天才と狂気」大下英治(著) 1,188円 祥伝社

「私たちはシェイクスピアの同時代人」中村友紀(著) 3,960円 春風社

「えんぶ 2024年04月号」600円 えんぶ

「ステージナビ vol.90(2024) 岩本照×深澤辰哉×宮館涼太 伊野尾慧 岩崎大昇×那須雄登×金指一世 福田悠太×本高克樹 山下智久 赤楚衛二 京本大我 北山宏光 礼真琴/堂本光一 (NIKKO MOOK TV naviプラス)」1,100円 産経新聞出版

《4月》

「江戸川乱歩・三島由紀夫・中村真一郎 古今東西の演劇/映画と小説をまたぐエロスの物語 鈴木貞美の文芸論 3 ナラトロジーへ 2 知の新書 J10 Japan/literature L05」鈴木貞美(著) 1,430円 文化科学高等研究院出版局

「宝塚Stage Album 2023年(タカラヅカMOOK)」1,650円 宝塚クリエイティブアーツ

「宝塚おとめ 2024年度版 (タカラヅカMOOK)」1,650円 宝塚クリエイティブアーツ

「宝塚GRAPH 2014-2024 (タカラヅカMOOK)」

消忠之(撮影) 3,960円 宝塚クリエイティブアーツ

「T/S」 藤田貴大(著) 2,200円 筑摩書房

「『喜劇』の誕生」 日比野啓(著) 4,950円 白水社

「畑聖悟戯曲集 1」 畑聖悟(著) 2,420円 論創社

「ビジネスに効く! 演劇アプローチ」 広瀬彩(著) 1,980円 同友館

「増補版 言葉への戦術」 別役実(著) 3,300円 論創社

「エッセンシャル・シアター 西洋演劇史入門」 オスカー・G・ブロケット(著) 3,080円 春風社

「アーティスト・クリエイターの心の相談室」 手島将彦(著) 2,640円 福村出版

「新・舞台芸術史 劇場芸術の境界線から読み解く」 永井聡子(著) 3,850円 星雲社

「芥正彦責任編集 地下演劇 第7号」 芥正彦(著) 4,950円 スローガン

「シアターアーツ 68 2024春」 国際演劇評議会協会日本センター(著) 1,760円 晩成書房

「中国古典戯曲演劇論」 岡晴夫(著) 16,500円 勉誠社

「アートマネジメント研究 第24号」 日本アートマネジメント学会(著) 2,750円 美術出版社

「四代目市川左團次 その軌跡」 四代目市川 左團次(著) 2,970円 小学館

「尾上右近 華麗なる花道」 尾上右近(著) 2,200円 主婦の友社

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年4月17日号」 2,499円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年5月1日号」 2,499円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「宝塚GRAPH 2024年05月号」 750円(税込) 宝塚クリエイティブアーツ

「歌舞劇 2024年04月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ

「ル・サンク 2024年05月号」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ

「英語で読む シェイクスピア珠玉の15篇」 チャールズ・ラム(著) 3,300円(税込) IBCパブリッシング

「バーナード・ショー戯曲集 上」 バーナード・ショー(著) 4,950円 春風社

「バーナード・ショー戯曲集 下」 バーナード・ショー(著) 4,950円 春風社

「八乱舞野外祭彩時記 ミュージカル『刀剣乱舞』」 ミュージカル『刀剣乱舞』製作委員会(著) 3,801円 ネルケプランニング

「ステージスクエア vol.68」 日之出出版(著) 1,100円 マガジンハウス

「Sparkle Vol.56 (メディアボーイMOOK)」 1,980円 メディアボーイ

「Stagefan Vol.37 (メディアボーイMOOK)」 1,200円 メディアボーイ

「義太夫年表 昭和篇 第七巻」 国立文楽劇場義太夫年表昭和篇刊行委員会(著) 20,900円 和泉書院

「丹波哲郎 見事な生涯」 野村進(著) 2,420円 講談社

「インティマシー・コーディネーター」 西山ももこ(著) 1,980円 論創社

「マレーネ・ディートリヒ」 江森葉子(著) 1,870円 Gakken

「逃げて、逃げて、逃げてシエクスピア」 草生亜紀子(著) 1,980円 新潮社

「曾我廼家十吾 日本一のおぼあちゃん役者」 小島のぶ江(著) 1,870円 大盛堂書房

「悲劇喜劇 2024年05月号」 1,500円 早川書房

「テアトロ 2024年5月号」 1,300円 カモミール社

「fact guide Season19(2024) (TVガイドMOOK)」 1,300円 東京ニュース通信社

「ステージナビ vol.91(2024) A&I group 岩本照×深澤辰哉×宮舘涼太 永瀬廉 田中圭 松倉海斗×川島如恵留 宮近海斗 暁千星/堂本光一&佐藤勝利 (NIKKO MOOK TV naviプラス)」 1,100円 産経新聞出版

《5月》

「芸 秘伝伝授の世界」 西山松之助(著) 1,210円 講談社

「演技をはじめの人のためのハンドブック」 ジェレミー・クルーズ(著) 2,200円 フィルムアート社

「鈴木拡樹 舞台デビュー15周年メモリアルフォトブック 日々前進」 鈴木拡樹(著) 3,960円 KA DOKAWA

「あの空は青いか?」 福田善之(著) 2,750円 三一書房

「演劇と教育 2024年06月号」 990円 晩成書房

「三島由紀夫のエンターテインメント 1」 松本徹(著) 2,750円 鼎書房

「江戸服飾史談」 大槻如電(著) 1,320円 筑摩書房

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年5月15日号」 2,499円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年5月29日号」

号」 2,499円 アシェット・コレクションズ・ジャパン

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年6月12日

号」 2,499円 アシェット・コレクションズ・ジャパン

「礼真琴写真集 UNLIMITED」 4,000円 宝塚クリエティブーツ

「月城かなとメモリアルブック」 3,500円 宝塚クリエティブーツ

「歌劇 2024年05月号」 750円 宝塚クリエティブーツ

「宝塚GRAPH 2024年06月号」 750円 宝塚クリエティブーツ

「雪組 ALL BY MYSELF (タカラヅカMOOK)」 1,000円 宝塚クリエティブーツ

「声優白書」 懸樋流水(著) 1,650円 幻冬舎

「ミュージカル『モーツァルト!』の世界」 田嶋リサ(著) 3,080円 小島遊書房

「ミュージカル 2024年5-6月号」 1,000円 ミュージカル出版社

「ウィキッド 上」 グレゴリー・マグワイア(著) 1,100円 早川書房

「ウィキッド 下」 グレゴリー・マグワイア(著) 1,056円 早川書房

「ガイズ&ドールズ (新潮文庫)」 デイモン・ラニアン(著) 935円(税込) 新潮社

「中国時代劇・ドラマ&俳優名鑑」 1,760円(税込) 英和出版社

「えんぶ 2024年06月号」 600円 えんぶ

「日本文化論序説 知れば得する!日本の『芸能』と『物語』」 2,200円 稲田和浩(著) 彩流社

「笑いの正解 東京喜劇と伊東四朗」 笹山敬輔(著) 1,870円 文藝春秋

「演劇と教育 2024年 06月号」 990円 晩成書房

「日常という謎を生きる ウルフ、小津、三島における生と死の感触」 田尻芳樹(著) 4,730円 東京大学出版会

「テアトロ 2024年6月号」 1,300円 カモミール社

「ステージナビ vol.92(2024) (NIKKO MOOK TV naviプラス)」 1,100円 産経新聞出版

《6月》

「演劇は仕事になるのか? 演劇の経済的側面とその未来」 米屋尚子(著) 2,970円 アルファベータブックス

「現代演劇 23」 現代演劇研究会 2,750円 金星堂

「俳優になるには」 1,760円 山本健翔(著) ペリかん社

「俳優たちのテレビドラマ創世記」 2,860円 濱田研吾(著) 国書刊行会

「クバへ/クバから」 三野新(著) 3,960円 いぬのせなか座

「TEXT BY NO TEXT」 橘上(著) 3,300円 いぬのせなか座

「ある少女の物語 ガリーナ・ウラーノワの半生」 マグダリーナ シゾフ(著) 2,000円 展望社

「あの空は青いか? 私と芝居の雑文クロニクル」 福田善之(著) 佐々木治己(著) 2,750円 三一書房

「現代演劇 Vol.23 特集:トニー賞・ピューリツァー賞2」 現代演劇研究会(著) 2,750円 金星堂

「星組 BIG FISH (タカラヅカMOOK)」 1,000円 宝塚クリエティブーツ

「歌劇 2024年06月号」 750円 宝塚クリエティブーツ

「宝塚GRAPH 2024年07月号」 750円 宝塚クリエティブーツ

「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン ver.4 [2024]」 劇場等演出空間運用基準協議会(著) 1,650円 フリックスタジオ

「現代演劇 23」 現代演劇研究会(著) 2,750円 金星堂

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年6月26日

号」 2,499円 アシェット・コレクションズ・ジャパン

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年7月10日

号」 2,499円 アシェット・コレクションズ・ジャパン

「宝塚イヅム 49 特集:さよなら月城かなと&海乃美月」 藪下哲司(著) 1,760円 青弓社

「宝塚GRAPH 2024年07月号」 750円 宝塚クリエティブーツ

「歌劇 2024年06月号」 750円 宝塚クリエティブーツ

「空白の團十郎 十代目とその家族 (筑摩選書0282)」 中村雅之(著) 1,870円 筑摩書房

「人民による反乱の試みドイツの悲劇」 ギュンター・グラス(著) 2,200円 萌書房

「ミュージカルスターズ 3」 1,870円 東京ニュース通信社

「Stagefan Vol.38 (メディアボーイMOOK)」 1,200円 メディアボーイ

「新日本古典文学大系 56 梁塵秘抄 閑吟集 狂

「言歌謡」 小林芳規(著) 10,230円 岩波書店
 「新日本古典文学大系 58 狂言記」 橋本朝生(著) 12,100円 岩波書店
 「鈴木福 フォトエッセイ 笑う門には福来る」 鈴木福(著) 1,650円 主婦と生活社
 「岡宮来夢2nd写真集 『NEW YORK NARRATIVE ES』」 岡宮来夢(著) 3,500円 インディペンデントワークス
 「まげこぜ 東ちづるの挑戦」 SAP CHANO(著) 2,970円 マグノリア出版
 「Next Stars Vol.4」 1,980円 ジーオーティー
 「ステージナビ vol.93(2024) (NIKKO MOOK TV naviプラス)」 1,100円 産経新聞出版
 「テアトロ 2024年7月号」 1,300円 カモミール社
 「悲劇喜劇 2024年07月号」 1,500円 早川書房
 「act guide 2024 Season20 (TVガイドMOOK)」 1,300円 東京ニュース通信社
 「役者絵の図像学 錦絵八犬伝を読む」 岩田秀行(著) 小池章太郎(著) 5,500円 文学通信

《7月》

「劇作家 三島由紀夫」 柴田勝二(著) 2,640円 花書院
 「三島由紀夫 政治と革命」 河出書房新社編集部(著) 1,980円 河出書房新社
 「戯曲 したい時に結婚するわ」 グギ・ワ・ジオンゴ(著) 3,300円 三元社
 「宮本研対話コレクション」 宮本研(著) 4,950円 一葉社
 「演劇と教育 2024年08月号」 990円 晩成書房
 「口トルー作品集」 橋本能(著) 6,380円 中央大学出版部
 「平成物故人名録 II 文芸・学術・芸術・芸能・スポーツ篇」 日外アソシエーツ(著) 41,800円 日外アソシエーツ
 「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年7月24日号」 2,499円 アシエツト・コレクションズ・ジャパン
 「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年8月7日号」 2,499円 アシエツト・コレクションズ・ジャパン
 「歌劇 2024年 07月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ
 「宝塚GRAPH 2024年08月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ
 「ル・サンク 2024年07月号」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ
 「安部公房 消しゴムで書く (ミネルヴァ日本評伝

選)」 鳥羽耕史(著) 4,180円 ミネルヴァ書房
 「加藤周一自選集 1994～1998」 加藤周一(著) 鷲巢力(編) 6,930円
 「遠藤周作と劇団樹座の三十年」 宮辺尚(著) 2,420円 河出書房新社
 「ミュージカル 2024年7-8月号」 1,000円 ミュージカル出版社
 「芸人たちの芸能史」 永六輔(著) 1,210円 中央公論新社
 「対訳でたのしむ 花筐」 世阿弥(作) 西村聡(著) 770円 檜書店
 「対訳でたのしむ 殺生石」 竹本幹夫(著) 770円 檜書店
 「人形浄瑠璃の『近代』が始まったころ 観客からのアプローチ (人文学のフロンティア大阪公立大学人文選書 9)」 海老根剛(著) 2,420円 和泉書院
 「越中富山の浄瑠璃文化」 小杉善一郎(著) 保垣孝幸(著) 3,300円 1万年堂出版
 「Stage fan vol.39(2024) (メディアボーイMOOK)」 1,200円 メディアボーイ
 「演技の果て・その一年」 山川方夫(著) 880円 小学館
 「Sparkle vol.57(2024) (メディアボーイMOOK)」 1,980円 メディアボーイ
 「えんぶ 2024年08月号」 600円 えんぶ
 「ステージナビ vol.94(2024) (NIKKO MOOK TV naviプラス)」 1,100円 産経新聞出版
 「テアトロ 2024年8月号」 1,300円 カモミール社
 「演劇名鑑2025年度版 2024年7月テアトロ増刊」 3,500円 カモミール社
 「BEST STAGE 2024年9月号」 1,210円 音楽と人

《8月》

「虚構の文色／劇のありか 近代日本の小説と演劇をめぐって」 宮内淳子(著) 3,960円 翰林書房
 「千子村正蜻蛉切双騎出陣 ～万の華うつす鏡～彩時記 ミュージカル刀剣乱舞」 ミュージカル『刀剣乱舞』製作委員会(編) 3,300円 ネルケブランニング
 「朝と夕」 ヨン・フォッセ(著) 2,420円 国書刊行会
 「物語の生まれる場所へ」 木ノ下裕一(著) 2,530円 淡交社
 「竹内統一郎集成 コスモス狂 Volume V」 竹内統一郎(著) 2,970円 松本工房
 「歌舞伎で日本文化論 伝統的思考法『見立て』『やつ

し』『もどき』 田口章子(著) 2,640円 雄山閣
 「伝統芸能と民俗芸能のイコノグラフィー(図像学)」
 児玉絵里子(著) 1,980円 錦正社
 「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年8月21日号」 2,499円 アシェット・コレクションズ・ジャパン
 「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年9月4日号」 2,499円 アシェット・コレクションズ・ジャパン
 「ル・サンク 2024年08月号」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ
 「歌劇 2024年08月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ
 「宝塚GRAPH 2024年09月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ
 「花組 ドン・ジュアン(タカラヅカMOOK)」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ
 「彩風咲奈メモリアルブック」 3,500円 宝塚クリエイティブアーツ
 「TAKARAZUKA REVUE 2024」 2,500円 宝塚クリエイティブアーツ
 「英語で読むシェイクスピア四大悲劇 新版」 チャールズ・ラム(著) 2,200円 IBCパブリッシング
 「ネルヴァル伝」 クロード・ピショワ(著) 8,800円 水声社
 「ハムレット異説 ガートルードの恋」 池田節雄(著) 2,200円 彩流社
 「宮本研対話コレクション 芝居に正答はない、ただ問うのみ」 宮本研(著) 4,950円 一葉社
 「三谷幸喜 創作を語る(講談社文庫)」 三谷幸喜(著) 770円 講談社
 「Stage fan vol.40(2024) (メディアボーイMOOK)」 1,200円 メディアボーイ
 「悲劇喜劇 2024年09月号」 1,500円 早川書房
 「ステージナビ vol.95(2024) (NIKKO MOOK TV naviプラス)」 1,100円 産経新聞出版
 「blue THE Stage BEGIN (白夜ムック 734)」 2,100円 白夜書房
 「テアトロ 2024年9月号」 1,300円 カモミール社

〔9月〕

「グローバルな視点から考える欧米の世界と文化演劇・音楽・経営編」 武部好子(著) 安久津太一(著) 鈴木新(著) 2,200円 ふくろう出版
 「日韓史の真実に迫る演劇・文化 日韓記者・市民セミナーブックレット 17」 金守珍(著) 広戸聡(著) 宋富子(著) 990円 社会評論社
 「テアトロ 2024年10月号」 1,300円 カモミール

社
 「ヨン・フォッセ 1 名前/スザンナ/ぼくは風(ハヤカワ演劇文庫 53)」 ヨン・フォッセ(著) アンネ・ランデ・ペータス(訳) 長島健(訳) 2,420円 早川書房
 「えんぶ 2024年10月号」 600円 えんぶ
 「ステージナビ vol.96(2024) (NIKKO MOOK TV naviプラス)」 1,100円 産経新聞出版
 「act guide 2024 Season21 (TVガイドMOOK)」 1,300円 東京ニュース通信社
 「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年9月18日号」 2,499円 アシェット・コレクションズ・ジャパン
 「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年10月2日号」 2,499円 アシェット・コレクションズ・ジャパン
 「宝塚歌劇110年史 (タカラヅカMOOK)」 5,500円 宝塚クリエイティブアーツ
 「演劇と教育 2024年10月号」 990円 晩成書房
 「月組 琥珀色の雨にぬれて GrandeTAKARAZUKA 110! (タカラヅカMOOK)」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ
 「Sincerely my twinkling dreams 舞空瞳フォトブック (タカラヅカMOOK)」 寒者恵二郎(撮影) 浅田淳司(撮影) 2,200円 宝塚クリエイティブアーツ
 「歌劇 2024年09月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ
 「宝塚GRAPH 2024年10月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ
 「ル・サンク 2024年09月号」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ
 「文明開化四ツ谷怪談 福田善之戯曲集」 福田善之(著) 2,750円 三一書房
 「ミュージカル映画が《最高》であった頃」 喜志哲雄(著) 3,300円 国書刊行会
 「花もよ 能と狂言総合誌 第75号」 700円 花もよ編集室
 「Stage fan vol.41(2024) (メディアボーイMOOK)」 1,200円 メディアボーイ
 「新訳 ハムレット 増補改訂版」 シェイクスピア(著) 726円 KADOKAWA
 「柿澤勇人 1st写真集 untitled」 柿澤勇人(著) 3,080円 宝島社
 「世阿弥」 西野春雄(著) 3,850円 ミネルヴァ書房
 「中学校創作脚本集 2024」 中学校創作脚本集2024編集委員会(著) 3,080円 晩成書房
 「演劇と教育 2024年10月号」 990円 晩成書房

「児童・青少年演劇ジャーナル『げき』28」 児童・青少年演劇ジャーナル「げき」編集委員会(著) 1,760円 晩成書房

「日本の楽劇」 横道萬里雄(著) 16,500円 岩波書店

「花と茨 (新潮文庫)」 仁志耕一郎(著) 1,045円 新潮社

「セツァンの善人／三文オペラ」 ベルトルト・ブレヒト(著) 2,420円 東宣出版

「新日本古典文学大系 明治編8 河竹黙阿弥集」 原道生(著) 9,240円 岩波書店

「ミュージカル 2024年9-10月号」 1,000円 ミュージカル出版社

「2.5次元学入門」 須川亜紀子(著) 2,420円 青土社

「三谷幸喜 創作の謎」 三谷幸喜(著) 1,650円 講談社

「自叙伝 パトリック・スチュワート」 パトリック・スチュワート(著) 3,960円 竹書房

「14歳のためのシェイクスピア」 木村龍之介(著) 1,760円 大和書房

《10月》

「越境文化演劇」 ギュンター・ヘーグ(著) 平田栄一郎(監訳) 津崎正行(監訳) 石見舟他(訳) 3,850円 三元社

「(世界)としての窓 演劇、絵画、映画、そして建築 早稲田新書 022」 坂牛卓(著) 平瀬有人(著) 1,100円 早稲田大学出版部

「悲劇喜劇 2024年11月号」 1,500円 早川書房

「Sparkle vol.58(2024) (メディアボーイMOOK)」 1,980円 メディアボーイ

「ステージナビ vol.97(2024) (NIKKO MOOK TV naviプラス)」 1,100円 産経新聞出版

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年10月16日号」 2,499円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年10月30日号」 2,499円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年11月13日号」 2,499円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「アジア・パシフィックの劇場文化」 英米文化学会編 藤岡阿由未／監修 石塚倫子他著2,640円 朝日出版社

「ビギン・ザ・ビギン 日本ショウビジネス楽屋口」 和田誠著 2,640円 中央公論新社

「タカラヅカの解剖図鑑詳説日本史」 中本千晶(文) 牧彩子(イラスト) 藤田憲宏(監修) 1,980円 エクスナレッジ

「ミュージカルの解剖学」 長屋晃一(著) 2,860円 春秋社

「栄光の松竹歌劇団史 憧れの星座たちが歩んだ軌跡」 小針侑起(著) 2,750円 日本評論社

「the座 122号」 1,200円 こまつ座

「北村想と流山児祥が見た寺山修司の影法師・マクベスのソネット」 清水義和(著) 2,750円 文化書房博文社

「歌舞伎 研究と批評 69 歌舞伎学会誌」 2,563円 歌舞伎学会

「歌劇 2024年10月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ

「宝塚GRAPH 2024年11月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ

「ル・サンク 2024年11月号」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ

「ミュージカルの解剖学」 長屋晃一(著) 2,860円 春秋社

「Yes, Noh ニューヨークから34歳で能の世界に飛び込んだ女性能楽師のYESな半生」 関直美(著) 2,750円 KuLaScip

「殺生石 対訳でたのしむ」 竹本幹夫(著) 770円 檜書店

「テアトロ 2024年11月号」 1,300円 カモミール社

「STAGE SQUARE Extra '24 (HINODE MOOK 748)」 1,100円 日之出出版

「Stage fan vol.42(2024) (メディアボーイMOOK)」 1,200円 メディアボーイ

「ふかいことをおもしろく」 井上ひさし(著) 880円 PHP研究所

「物語要素事典」 神山重彦(著) 28,600円 国書刊行会

「能楽金剛流の歴史と四季の能」 金剛龍謹(著) 2,530円 淡交社

「アジア・パシフィックの劇場文化」 英米文化学会(著) 2,640円 朝日出版社

「歌舞伎 研究と批評 69 特集・古浄瑠璃とその周辺」 歌舞伎学会(著) 2,563円 文学通信

「日韓史の真実に迫る演劇・文化」 裊哲恩(著) 990円 社会評論社

「知っておきたい 歌舞伎 日本舞踊名曲一〇〇選」 松本幸四郎(著) 3,080円 淡交社

「世襲 政治・企業・歌舞伎」 中川右介(著) 1,540円 幻冬舎

「能・文楽・歌舞伎」 ドナルド・キーン(著) 1,496

円 講談社

「**知っておきたい 歌舞伎**」 瀧口雅仁(著) 2,200円 丸善出版

「**歌舞伎 芸と血筋の熱い裏側**」 喜熨斗勝(著) 1,100円 講談社

「**歌舞伎 家と血と藝**」 中川右介(著) 1,320円 講談社

「**三島由紀夫 憂国と情念**」 三島由紀夫研究会(著) 2,200円 並木書房

「**万平BOKS 2**」 北村想(著) 1,650円 万平BOKS

「**たべるノヲト。**」 松重豊(著) 1,760円 マガジンハウス

「**高倉健の図書係 名優をつくった12冊**」 谷充代(著) 1,034円 KADOKAWA

「**高倉健の愛した食卓**」 小田貴月(著) 3,300円 文藝春秋

「**新版 蔦屋重三郎 江戸芸術の演出者**」 松木寛(著) 1,210円 講談社

「**演劇と教育 2024年12月号**」 1,320円 晩成書房

「**テクネ Vol.46**」 968円 レック研究所

「**銀座で逢ったひと**」 関容子(著) 1,210円 中央公論新社

「**イチから知りたい 日本のすごい伝統文化 絵で見て楽しい! はじめての和のおどり**」 小林直弥(著) 1,980円 すばる舎

「**It's me, Ako!**」 Ako(著) 1,650円 幻冬舎

《11月》

「**中国の秘密結社と演劇**」 田仲一成(著) 6,600円 知泉書館

「**日本演劇史の分水嶺**」 西堂行人(著) 2,530円 論創社

「**平成演劇史事典**」 中村義裕(著) 22,000円 東京堂出版

「**歌舞伎特選DVDコレクション 2024年11月27日号**」 2,499円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「**歌舞伎特選DVDコレクション 2024年12月11日号**」 2,499円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「**えんぶ 2024年12月号**」 600円 えんぶ

「**ステージナビ 98 (NIKKO MOOK)**」 1,100円 産経新聞出版

「**テアトロ 2024年12月号**」 1,300円 カモミール社

「**朧の森に棲む鬼 2024年版 K.Nakashima Se lection Vol.43**」 中島かずき(著) 1,980円 論

創社

「**中国の秘密結社と演劇**」 田仲一成(著) 6,600円 知泉書館

「**唐十郎襲来!**」 樋口良澄(編集) 2,640円 河出書房新社

「**あなたはわたしに死を与えた トリカブト殺人事件 theater book 019**」 高橋いさを(著) 2,200円 論創社

「**うた芝居法師蓮生**」 清水一朗(著) 1,980円 三月書房

「**宝塚イズム 50 特集1さよなら彩風咲奈**」 薮下哲司(編著) 橋涼香(編著) 1,760円 青弓社

「**歌劇 2024年11月号**」 750円 宝塚クリエイティブアーツ

「**宝塚GRAPH 2024年12月号**」 750円 宝塚クリエイティブアーツ

「**ニーベルンゲン 戯曲 岩波文庫 32-420-5**」 ヘッベル(作) 香田芳樹(訳) 1,155円 岩波書店

「**野がも 近代古典劇翻訳(注釈付)シリーズ 005**」 ヘンリック・イブセン(著) 毛利三彌(訳) 1,760円 論創社

「**ピランデッロ戯曲集 3 どうしてそうなったのか 分らない/山の巨人たち**」 ルイジ・ピランデッロ(著) 斎藤泰弘(編訳) 4,400円 水声社

「**シェイクスピア五大悲劇原話集成**」 熊谷次紘(訳・解題) 7,700円 英宝社

「**浅草の灯よいつまでも 浅草芸能人物列伝**」 小針佑起(著) 2,420円 えにし書房

「**能楽金剛流の歴史と四季の能**」 金剛龍謹(著) 2,530円 淡交社

「**世阿弥の『花』を知る 能楽論と謡曲を通して**」 鈴木さやか(著) 6,050円 知泉書館

「**福田恆存の手紙**」 福田逸(著) 2,970円 文藝春秋

「**ある地方高校生の日記 一九五〇〜一九五三**」 秋浜悟史(著) 3,960円 松本工房

「**シェーンベルクと若きウィーン**」 テレーゼ・ムクセネーダー(著) 3,740円 アルテスパブリッシング

「**ヘテロトピア集**」 管啓次郎(著) 2,750円 コトニ社

「**あなたはわたしに死を与えた**」 2,200円 高橋いさを(著) 論創社

「**気候変動最前線にて**」 山家又祐(著) 1,760円 幻冬舎

「**戯曲の叢智カード**」 荒巻まりの(著) 4,180円 JMA・アソシエイツ

「**見てきたようによくわかる 蔦屋重三郎と江戸の風俗**」 日本史深掘り講座(著) 990円 青春出版

社

「ミュージカル 2024年11-12月号」 1,000円 ミュージカル出版社

「世阿弥の『花』を知る」 鈴木さやか(著) 6,050円 知泉書館

「小津安二郎発言クロニクル 1903~1963」 小津安二郎(著) 3,850円 三四郎書館

「浅草の灯よいつまでも」 小針侑起(著) 2,420円 えにし書房

「五木寛之傑作対談集 I」 五木寛之(著) 1,980円 平凡社

《12月》

「悲劇喜劇 2025年01月号」 1,500円 早川書房

「歌舞伎特選DVDコレクション 2024年12月25日号」 2,499円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「歌舞伎特選DVDコレクション 2025年1月8日号」 2,499円 アシエット・コレクションズ・ジャパン

「こんばんは、父さん」 永井愛(著) 1,760円 而立書房

「THE IMPERIAL THEATRE FROM 1966 TO 2025 AND THE BEYOND 帝国劇場アニバーサリーブックNEW HISTORY COMING」 東宝株式会社演劇部(監修) 5,990円 東宝株式会社演劇部

「忠臣蔵の四季」 古井戸秀夫(著) 4,290円 白水社

「シェイクスピアと宝塚」 竹村はるみ(著) 2,200円 大修館書店

「歌劇 2024年12月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ

「宝塚GRAPH 2025年1月号」 750円 宝塚クリエイティブアーツ

「雪組 愛の不時着(タカラヅカMOOK)」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ

「ル・サンク 024年12月号」 1,000円 宝塚クリエイティブアーツ

「浅利慶太が目指した日本のブロードウェイ 劇団四季創立70周年を超えて」 梅津齊(著) 1,980円 日之出出版

「能と狂言 22〈特集〉狂言 研究と実践の諸相」 2,200円 能楽学会

「カラダが20歳若返る! 和儀 医師もみとめた狂言トレーニング」 茂山千三郎(著) 1,540円 秀和システム

「能十番 新しい能の読み方」 いうせいこう(著) ジェイ・ルービン(著) 3,685円 新潮社

「花の景 梅若桜雪の名舞台へ 写真でいざなう能案内」 生原良幸(撮影) 4,950円 講談社

「ステージナビ vol.99(2024) (NIKKO MOOK TV naviプラス)」 1,100円 産経新聞出版

「Stage fan vol.43(2025) (メディアボーイMOOK)」 1,200円 メディアボーイ

「テアトロ 2025年01月号」 1,300円 カモミール社

「飢餓俳優 菅原文太伝 (新潮文庫 ま-37-2)」 松田美智子(著) 825円 新潮社

「舞台医学実践入門」 日本舞台医学会(著) 4,840円 新興医学出版社

「鈴木忠志の演劇 騙(かた)る身体と利賀(とが)の思想」 本橋哲也(著) 2,640円 月曜社

「萬平BOKS 3」 北村想(著) 1,870円 万平BOKS

「歴史人物ツアーガイド 江戸のメディア王 薦屋重三郎と時代を編んだ有名人140」 三猿舎(著) 1,980円 東京ニュース通信社

「グリルパルツアー戯曲選」 フランツ・グリルパルツアー(著) 4,400円 水声社

「芸能界を変える」 森崎めぐみ(著) 1,034円 岩波書店

「MIDNIGHT PIZZA CLUB 1st BLAZE LANGTANG VALLEY」 仲野太賀(著) 2,750円 講談社

「クリント・イーストウッド」 イアン・ネイスン(著) 3,300円 フィルムアート社

「淀川長治」 北村洋(著) 4,950円 名古屋大学出版会

「未完成」 西岡徳馬(著) 2,090円 幻冬舎

令和6年 演劇関係物故者一覧

※敬称略

【1月】

●**冠二郎** 演歌歌手。1月1日、心不全のため死去。79歳。1967年『命ひとつ』でデビュー。77年のドラマ『海峡物語』の挿入歌だった『旅の終わりに』をはじめ、『みれん酒』などがヒット。91年『酒場』でNHK紅白歌合戦に初出場した。

●**篠山紀信** 写真家。1月4日、老衰のため死去。83歳。日本大学芸術学部写真学科在学中から写真家として頭角を表し、広告制作会社などを経て1968年からフリーに。『週刊プレイボーイ』にヌード写真を発表、時の人物や現象の決定的瞬間を収める『激写』は流行語にもなった。70年に親交のあった三島由紀夫の自決直前の姿を撮影して話題に。また、91年に発売された宮沢りえのヌード写真集『Santa Fe』は社会現象を巻き起こすベストセラーになった。一方で坂東玉三郎を被写体にした写真集『女方玉三郎』で芸術選奨文部大臣新人賞を受賞。その後も中村勘三郎、市川團十郎などの舞台人のポートレートのほか、野田秀樹作品やNoismなどの演劇・ダンス作品のビジュアルや舞台写真を数多く撮影した。

●**久富淑子** バレエ指導者。1月4日、肺炎のため死去。90歳。札幌市などでバレエ教室を運営、世界的ダンサーの熊川哲也らを育てた。2021年文化庁長官表彰。

●**グリニス・ジョーンズ** 英・俳優。1月5日、死去。100歳。英国で人気を得た後、米国に活躍の場を広げた。1973年の映画『メリー・ポピンズ』でジュリー・アンドリュース演じる家庭教師を雇う母親役を演じた。また同年のブロードウェイ・ミュージカル『リトル・ナイト・ミュージック』でトニー賞ミュージカル主演女優賞とドラマ・デスク・アワードミュージカル主演女優賞を受賞した。

●**市川明** ドイツ演劇研究者。1月8日、死去。76歳。ブレヒト、ハイナ・ミュラーを中心とした現代ドイツ演劇の研究で多くの業績を残した。

●**和歌山静子** 絵本作家。1月8日、心不全のため死去。83歳。児童文学作家・寺村輝夫と「王

さま」シリーズなどを共作。『おおきなちいさいぞう』で講談社出版文化賞、『しろねこさん しろねこさん』で産経児童出版文化フジテレビ賞を受賞した。

●**谷川道子** 東京外国語大学名誉教授。1月9日、心不全のため死去。77歳。東京大学文学部ドイツ文学科を卒業、専門はドイツ演劇。著書に『聖母と娼婦を超えてーブレヒトと女たちの共生』『ドイツ現代演劇の構図』など。翻訳にブレヒト『三文オペラ』『アンティゴネ』、ハイナ・ミュラー『ハムレットマシーン シェイクスピア・ファクトリー』『指令 ある革命への追憶』、ヨッヘン・シュミット『ピナ・バウシュ 怖がらずに踊ってごらん』など。

●**小金沢昇司** 演歌歌手。1月11日、呼吸不全のため死去。65歳。北島三郎の付き人を経て88年『おまえががして』でデビュー。『ありがたう…感謝』などがヒットした。92年にCMに出演した際の愛称「歌手の小金沢くん」が同年の新語・流行語大賞の大衆部門銀賞を受賞した。

●**平野次郎** 元NHKキャスター、ジャーナリスト。1月12日、肺炎のため死去。83歳。1965年にNHKに入局。ワシントン特派員などを経て『海外ウィークリー』の進行やニュース番組のキャスターを担当。88年から『ニュース・トゥデー』のアンカーマンを務めた。

●**高橋春男** 漫画家。1月12日、死去。76歳。時事風刺漫画を得意とし、長島茂雄をモデルにした『いわゆるひとつのチョーさん主義』を週刊誌で長期連載した。

●**エスパイ伊東** 元お笑い芸人。1月16日、死去していたことがわかった。63歳。1990年代にボストンバックに入り込む芸で人気に。上半身裸に黒スパッツ姿をトレードマークに常人離れた芸で人気を博した。

●**正司歌江** 「かしまし娘」長女、俳優。1月19日、老衰のため死去。94歳。妹の照枝、花江と1956年に漫才トリオ「かしまし娘」を結成。「うちら陽気なかしまし娘〜」のテーマソングで知られ、流行歌や浪曲を取り入れた音曲漫才で人気を博した。

●**小山乃里子** フリーアナウンサー。1月20日、死去。82歳。1986年にラジオ関西に入社。「ノコさん」の愛称で親しまれ、フリーに転身した後、80年に始まった『ビバ!タカラジェンヌ』のパーソナリティーに。2023年3月までの43年間、宝塚歌劇団のスターらをゲストに迎え、インタビューや楽曲を交えながら素顔のタカラジェンヌの魅力を伝えた。

●**南部虎弾** コメディアン、パフォーマンス集団「電撃ネットワーク」リーダー。1月20日、脳卒中のため死去。72歳。お笑いグループ「ダチョウ倶楽部」の元リーダーで、脱退後の90年に「電撃ネットワーク」を結成。花火や爆竹を使った過激な芸で話題を集め、海外にも進出していた。

●**ノーマン・ジュイソン** 1月20日、死去。97歳。テレビドラマの監督を経て1962年に映画監督デビュー。人種差別や社会問題に切り込む作風で知られ、67年『夜の犬捜査線』はアカデミー賞作品賞、主演男優賞などを受賞。そのほか『シンシナティ・キッド』『屋根の上のヴァイオリン弾き』『月の輝く夜に』など数多くの作品を残した。

●**林家正楽** 寄席紙切り芸。1月21日、死去。76歳。1966年に二代目林家正楽に入門、2000年に三代目を襲名。客からの注文に応じて淡々とした語りと共に、はさみで紙を切り抜く卓越した芸で親しまれた。

●**江連卓** 脚本家。1月22日、感染性心内膜炎のため死去。82歳。『ヤヌスの鏡』など主にテレビドラマの脚本を手がけた。そのほか『不良少女とよばれて』『噂の刑事 トミーとマツ』、『仮面ライダー』シリーズなど。また、自らの劇団を立ち上げて作・演出も務めた。

●**菊池昭典** 脚本家。1月25日、大腸がんのため死去。76歳。新藤兼人監督らに師事し、助監督などを経て脚本家に。代表作にドキュメンタリー映画『オハイエ!』『長江』、テレビ『ドラえもん ヨーロッパ鉄道の旅』、『遙かなるダモイ収容所から来た手紙』など。

●**平良進** 俳優。1月27日、老衰のため死去。89歳。1934年宮古島に生まれ12歳で翁長小次郎一座に入団。その後、ときわ座、劇団潮などを経て妻・平良とみと劇団綾船を結成し座長に就任。沖縄芝居のみならず映画や現代劇の舞台

にも出演し、若手の育成にも尽力した。99年県指定無形文化財「琉球歌劇」保持者、2019年県文化功労者。

●**福地茂雄** 元東京芸術劇場館長。1月29日、脳出血のため死去。89歳。2007年11月～2015年3月まで東京芸術劇場の館長を務めた。

●**利根川裕** 作家。1月29日、下肢閉塞性動脈硬化症のため死去。96歳。『婦人公論』副編集長などを経て作家に。著書に『糸魚川心中』『B少年の弁明』『それぞれの方舟』『宴』『十一世市川團十郎』など。1980～1994年にはテレビ番組『トゥナイト』の司会も務めた。

●**芦原妃名子** 漫画家。1月29日、死亡しているのが見つかった。50歳。2005年『砂時計』で小学館漫画賞を受賞、同作は07年にドラマ化、08年に映画化された。代表作の一つ『セクシー田中さん』は累計発行部数100万部を突破、ドラマ化され人気を博していたが、芦原氏が「必ず漫画に忠実に」などの条件をつけたが、その条件が反故されていたと主張、ドラマ製作側と脚本を巡るトラブルを公表したばかりだった。

●**チタ・リベラ** 米・俳優。1月30日、死去。91歳。1957年のミュージカル『ウエスト・サイド・ストーリー』初演でアナタ役を務めて注目を集め、61年の映画版でも同役を演じて世界中にその名が広がった。以降は、『バイ・バイ・バーディー』、『シカゴ』(1975年初演、リバイバル・ツアー版、ロンドン公演)、ライザ・ミネリと豪華競演が話題となった『ザ・リンク』、監獄が舞台の異色作『蜘蛛女のキス』、自伝ミュージカル『チタ・リヴェラ/ザ・ダンサーズ・ライフ』、そして最後の主演作となった『ザ・ヴィジット』、また映画『スイート・チャリティ』など数多くのミュージカル作品で主演もしくは主役級の役を演じ、『ザ・リンク』『蜘蛛女のキス』でトニー賞とドラマデスク賞を受賞した。1970年代中盤からはワン・ウーマン・ショウに挑戦。来日公演も行われるなど、米国だけに留まらず、世界中のファンを魅了した。2009年米・大統領自由勲章。

●**豊竹咲太夫** 人形浄瑠璃文楽・太夫。1月31日、肺炎のため死去。79歳。父は八世竹本綱太夫。1953年に9歳で豊竹山城少掾に入門し、竹本綱子太夫を名乗る。66年に豊竹咲太夫に改名した。時代物から世話物まで幅広い芸域で卓

越した技量を発揮。チャリ場も軽妙に語って聞かせた。一方、坂東玉三郎と共演するなど、文楽の普及にも努めた。2009年、切語りに昇進。第一人者として後進の指導にも尽力した。19年重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定、21年文化功労者、23年日本芸術院会員。

●**春風亭小柳枝** 落語家。1月31日、老衰のため死去。88歳。1965年に四代目春風亭柳好に入門。その後、春風亭柳昇門下に移り、78年に真打ち昇進、九代目小柳枝を襲名。『井戸の茶碗』『二番煎じ』などの古典を得意とし、91年文化庁芸術祭賞、2013年同大賞を受賞。

●**童門冬二** 作家。1月、がんのため死去。96歳。都庁勤務を経て1979年から作家活動に専念。60年には『暗い川が手を叩く』が芥川賞候補に。代表作に『小説 上杉鷹山』『将の器 参謀の器』など。

【2月】

●**カール・ウェザース** 米・俳優。2月1日、死去。76歳。プロフットボールNFLの選手を経て76年の映画『ロッキー』で、シルベスター・スタローン演じるロッキー・バルボアが挑む世界チャンピオンのアポロ・グリードを演じて脚光を浴びた。その他、映画『プレデター』、ドラマ『マンダロイアン』など。

●**翁家小楽** 太神楽曲芸師。2月5日、死去。79歳。1952年に父・二代目翁家和楽に入門し58年に四代目小楽を襲名。和傘の上で毬などを回す太神楽の曲芸を寄席などで披露した。

●**小澤征爾** 指揮者。2月6日、心不全のため死去。88歳。桐朋学園短期大学卒業後に渡仏し、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。カラヤン、バーンスタインらの指導を受け、トロント交響楽団指揮者、サンフランシスコ交響楽団音楽監督などを歴任。1973年からボストン交響楽団の音楽監督を約30年間務めたほか、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団を始めとする欧州の名門楽団の客演を重ね、2002年から2010年までウィーン国立歌劇場音楽監督を務めるなど、名実ともに世界的指揮者の一人となった。国内ではサイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトなどを通じ、若手育成にも尽力した。2016年、松本でのライブ録音『ラヴェル 歌劇

「こどもと魔法』が米グラミー賞最優秀オペラ録音賞を受賞。2008年文化勲章。

●**山北由希夫** 作詞家。2月6日、腹部大動脈瘤破裂のため死去。92歳。バーブ佐竹のヒット曲『女心の唄』や春日八郎『花かげの恋』など多くの歌を手がけた。

●**鬼頭義命** 能楽観世流太鼓方。2月8日、肝不全のため死去。69歳。

●**谷真介** 児童文学作家。2月7日、老衰のため死去。88歳。主な作品に『台風の島に生きる』『ブルくんとダンブくん』など。『行事むかしむかし』全13巻で巖谷小波文芸賞受賞。

●**田端宗寿** 俳優。2月8日、がんのため死去。88歳。劇団管の会、劇団手織座を経て1969年に青年劇場に入団。主な出演作に『青春の砦』『真夏の夜の夢』など。『カラミティ・ジーン』『マスタークラス』などの外部出演のほか、映画『砂の器』『男はつらいよ 寅次郎心の旅路』、ドラマ『青春の門』などでも活躍した。

●**黒木彰一** プロデューサー。2月13日、死去。54歳。1994年にフジテレビに入社。バラエティー番組や音楽番組を担当、『笑っていいとも!』『SMAP×SMAP』などを担当した名物プロデューサーとして知られた。

●**小林正樹** 「内山田洋とクール・ファイブ」ベース。2月15日、老衰のため死去。81歳。1969年に『長崎は今日も雨だった』でメジャーデビュー。ポール・前川清らと共にオリジナルメンバーの一人だった。強面の風貌ながら、優しい口調と高い話声のギャップがユニークで、バラエティー番組などでも人気を集めた。

●**叶井俊太郎** 映画プロデューサー。2月16日、死去。56歳。仏映画『アメリ』を買い付け、ヒットさせたパイヤーとして知られる。また映画配給会社を設立し、作品の企画・プロデュースを手がけた。

●**山本陽子** 俳優。2月20日、急性心不全のため死去。81歳。高校卒業後、証券会社に勤務していた時に日活のプロデューサーの目に留まり、1963年に日活ニューフェースとして芸能界入り。ドラマ『白い滑走路』『黒革の手帖』、NHK連続テレビ小説『京、ふたり』、映画『華麗なる一族』『八つ墓村』など数多くの作品に主演や主要キャストとして出演。高い演技力で清純な女性から悪女まで幅広い役柄を演じた。舞台にも意

欲的に取り組み『放浪記』『細雪』などに出演。94年の主演舞台『おはん』で菊田一夫演劇賞を受賞した。

●**松尾羊一** 放送評論家。2月22日、大腸がんのため死去。94歳。文化放送を経て放送評論家に。90年代に共同通信配信の『放送時評』『放送コラム』を執筆。放送批評懇談会や放送人の会に参加し、2015年ギャラクシー賞志賀信夫賞を受賞した。著書に『テレビは何をしてきたか』『テレビ遊歩道』など。

●**仲宗根美樹** 歌手。2月24日、肺がんのため死去。79歳。1961年に歌手デビューし同年『川は流れる』が大ヒット。沖縄出身の両親を持ち、『奄美恋しや』『永良部百合の花』などの島唄や沖縄ソングを歌い、NHK紅白歌合戦に5回出場した。

●**前田昌明** 俳優。2月27日、虚血性心不全のため死去。91歳。テレビドラマ「ケンちゃん」シリーズなどに出演したほか、長年にわたり舞台を中心に活躍した。

【3月】

●**鳥山明** 漫画家。3月1日、急性硬膜下血腫のため死去。68歳。週刊少年ジャンプへの投稿を重ね1978年『ワンダーアイランド』でデビュー。その後連載を始めた『Dr.スランプ』がアニメ化もされ人気を博した。また84年に連載を開始した『DRAGON BALL』は累計2億部超となり、国内のみならず世界中で多くのファンを獲得。2013年仏・国際漫画祭で「40周年特別賞」を受賞した。

●**エドワード・ボンド** 英・劇作家。3月3日、死去。89歳。工場などに勤める傍ら戯曲を書き、1962年『教皇の結婚式』を発表。60年代からロイヤルコート劇場で衝撃的な社会劇を発表し続け、英国を代表する劇作家の一人に。主な作品に『リア』『戦争戯曲集・三部作』『男たちの中で』『救われて』など。

●**中嶋夏** 舞踏家、振付家。3月3日、髄膜炎のため死去。80歳。土方巽、大野一雄に師事し、1969年に独立して舞踏集団「霧笛舎」を設立。世界各国で公演やワークショップなどを通じて舞踏の振興に努めた。障害を持つ人と共に踊る「心と身体の学級」も主宰した。

●**TARAKO** 声優。3月4日、病気のため死

去。63歳。1981年『うる星やつら』幼稚園児役でデビュー、その後『めぞん一刻』『まじかる☆タルるートくん』など数多くの作品に出演。代表作となった『ちびまる子ちゃん』は90年の放送開始から34年にわたり「まる子」役を演じてきた。またバラエティ番組やCMのナレーションのほかシンガー・ソングライターとしても活躍。演劇集団「WAKU」を主宰し、演出を手がけたほか自ら出演もしていた。

●**浅井裕** 漫画家。3月6日、交通事故のため死去。漫画家・あさいもとゆきの妻で『星の数だけ抱きしめて』『きまぐれショートCUT』などの作品で知られる。近年は「浅井裕」名義で夫婦共同執筆をしていた。

●**林家小染** 落語家。3月9日、病気のため死去。61歳。1982年、四代目小染に入門。92年NHK新人演芸大賞、93年国立演芸場花形演芸大賞金賞を受賞、96年に五代目小染を襲名した。

●**いのまたむつみ** イラストレーター、デザイナー。3月10日、死去。1978年にアニメ制作会社に入社し84年からフリーに。小説『宇宙皇子』『風の大陸』などのイラスト、アニメ『幻夢戦記レダ』、人気ゲーム「テイルズ オブ」シリーズなどのキャラクターデザインを数多く手がけた。

●**久保昭男** イタリア文学者。3月12日、老衰のため死去。96歳。アルベルト・モラビアの小説なども数多く翻訳。ベストセラーとなったフランチェスコ・アルベロニ『他人をほめる人、けなす人』を翻訳した。

●**寺田農** 俳優。3月14日、肺がんのため死去。81歳。大学卒業後に文学座付属演劇研究所に入所、1961年『十日の菊』で初舞台。65年『恐山の女』で映画デビューし、68年『肉弾』で毎日映画コンクール男優主演賞を受賞。映画『セーラー服と機関銃』、NHK大河ドラマ『独眼竜正宗』など多彩なジャンルの映画やドラマの脇役として高い演技力を発揮した。またスタジオジブリ『天空の城ラピュタ』で悪役・ムスカ大佐を演じるなど声優やナレーターとしても活躍した。

●**長田奈麻** 俳優。3月14日、死去。56歳。1992年に劇団健康に参加、その後96年に劇団ナイロン100℃に入団。同団公演をはじめ劇団かもめんたる公演や明治座公演『歌妖曲～中川大志之丞変化～』、NHK連続テレビ小説『梅ちゃ

ん先生』、ドラマ「相棒」シリーズなどにも出演し、舞台やドラマ、CMなどで活躍した。

●**坂本長利** 俳優。3月20日、老衰のため死去。94歳。民俗学者・宮本常一が記した『土佐源氏』を一人芝居化し、50年以上演じた。またドラマ『Dr.コトー診療所』村長役なども演じ、存在感ある役者として活躍した。

●**天児牛大** 舞踏家。3月25日、心不全のため死去。74歳。舞踏集団「大駱駝艦」創設メンバーで1975年に山海塾を創設。80年に初の世界ツアーを行い、82年以降は仏・パリ市立劇場を拠点に創作を続けた。人間の本性に迫る作品群は世界でも高く評価された。2002年『遙か彼方からの一ひびき』が英ローレンス・オリビエ賞最優秀新作ダンス作品賞を受賞。97年からはオペラの演出も手がけ、仏・リヨン国立歌劇場の新作『三人姉妹』は高い評価を得た。2011年紫綬褒章、14年仏・芸術文化勲章コマンドール。

●**坂井音重** 能楽観世流シテ方。3月27日、突発性間質性肺炎のため死去。84歳。父は観世流シテ方・坂井音次郎。1942年に仕舞『老松』で初舞台を踏む。67年文化庁芸術祭奨励賞を受賞。国内だけでなく海外公演にも多数出演し、長年にわたる国際文化交流に寄与したとして2008年に外務大臣個人表彰・銀杯受章。10年には旭日双光章を受章、日露の友好関係の発展に寄与したとしてロシアよりロシア連邦友好勲章を授与された。

●**さとうわきこ** 絵本作家。3月28日、大動脈解離のため死去。89歳。「ばばあちゃん」シリーズは全19作となる人気シリーズになった。他に「せんたくかあちゃん」シリーズなど。

●**鈴木健二** 元NHKアナウンサー。3月29日、老衰のため死去。95歳。テレビ放送開始前年の1952年にNHKにアナウンサーとして入局。東海道新幹線の開通や、アポロ11号による人類初の月面着陸など歴史的な中継を担当した。また『こんにちは奥さん』『歴史への招待』などの教養バラエティー番組で人気を集め、『クイズ面白ゼミナール』は最高視聴率42.2%を記録。紅白歌合戦の司会も3回務め、NHKの顔として親しまれた。

●**山本弘** SF作家、ゲームデザイナー。3月29日、誤嚥性肺炎のため死去。68歳。1978年『スタンピード!』で第1回奇想天外SF新人賞佳作

を受賞し、88年『ラプラスの魔』で小説家デビュー。87年にはクリエイター集団「グループSNE」の一員として、PRG『ソード・ワールド』の立ち上げに参画、同作に基づく小説の執筆を手がけた。その他『神は沈黙せず』『アイの物語』『MM9』など。2011年『去年はいい年になるだろう』で第42回星雲賞(日本長編部門)、16年『多々良島ふたたび』で第47回星雲賞(日本短編部門)を受賞した。

●**ルイス・ゴセット・ジュニア** 米・俳優。3月29日、死去。87歳。10代の頃から舞台俳優として活躍し、その後映画やドラマなどに多数出演。1977年に黒人奴隷の苦難を描いた大ヒットドラマ『ルーツ』で注目を集め、83年の映画『愛と青春の旅立ち』で黒人初のアカデミー賞助演男優賞を受賞した。

●**加藤幸子** 作家。3月30日、心不全のため死去。87歳。叔父は劇作家・加藤道夫。1983年『夢の壁』で芥川賞を受賞。91年『尾崎翠の感覚世界』で芸術選奨文部大臣賞、2002年『長江』で毎日芸術賞を受賞した。

●**葉山陽代** 俳優。3月31日、急病のため死去。ク・ナウカ『サロメ』(演出=宮城聰)をきっかけにオーディションを受けて合格、2010年よりSPACに在籍し、『室内』『顕れ〜女神イニエの涙〜』『ガラスの動物園』『桜の園』『お艶の恋』など多くの作品で主要キャストを演じたほか、海外演出家の作品にも多数出演した。

【4月】

●**横内正昭** ワニブックス社長。4月2日、膵臓がんのため死去。73歳。出版社勤務を経て、1979年のワニブックス創業時に取締役に就任。86年社長に就き、お笑いコンビ「麒麟」田村裕の自伝『ホームレス中学生』などのヒット作を手がけた。

●**宗田理** 作家。4月8日、肺炎のため死去。95歳。シナリオライターや編集者を経て1979年の作家デビュー作『未知海域』が直木賞候補作に。その後、宮沢りえ主演で映画化などもされた『ぼくらの七日間戦争』をはじめとする「ぼくら」シリーズは、中高生を中心に圧倒的な人気を集め、累計販売部数は2000万部を超える大ヒットとなった。

●**曙太郎** 第64代横綱。4月11日、心不全のた

め死去。54歳。米ハワイ州出身、同郷の元関脇高見山が師匠だった東関部屋から1988年春場所所で初土俵。90年春場所新十両、同年秋場所所で新入幕。200キロを超える大きな体から繰り出す突き押しを武器に出世し、93年初場所後に64人目、史上初の外国出身力士の横綱に。後に横綱となった同期の貴乃花、若乃花らと相撲ブームを巻き起こした。優勝11度、横綱在位48場所。2001年初場所後に現役を引退。年寄・曙となり後進育成に尽力したほか、テレビなどでも活躍して人気を集めた。

●**村松康雄** 声優。4月11日、老衰のため死去。91歳。アニメ『フランダーズの犬』ハンス役や「機動戦士ガンダム」シリーズのレビル將軍役などを務めたほか、洋画や海外ドラマの吹替を数多く担った。

●**サン村田** イラストレーター、ジャズバイオリニスト。4月11日、急性硬膜下血腫のため死去。83歳。黒柳徹子の母・朝さんの著書『チョウちゃんの私は心の花咲かバアバ』のイラストなどを手がけた。

●**佐川満男** 俳優、歌手。4月12日、胆のう炎のため死去。84歳。1960年に佐川ミツオの名で『二人の並木径』でデビュー。『今は幸せかい』が大ヒットし、NHK紅白歌合戦に4度出場した。また俳優としてNHK連続テレビ小説『オードリー』『マッサン』『カムカムエヴリバディ』、「水戸黄門」シリーズなど多くのドラマで活躍した。

●**菱わか葉** 浪曲師。4月12日、呼吸不全のため死去。83歳。日本浪曲協会理事や参与を務めた。

●**エレノア・コッポラ** 米・映画監督。4月12日、死去。87歳。1963年にフランシス・コッポラ監督『ディメンシャ13』で美術助手を務め、同年に結婚。79年『地獄の黙示録』の制作現場を撮ったドキュメンタリー映画『ハート・オブ・ダークネス コッポラの黙示録』で監督を務めた。2016年『ボンジュール、アン』では監督のほか脚本も担った。

●**ロベルト・カヴァリ** 伊・ファッションデザイナー。4月12日、死去。83歳。自身の名を冠したブランドを1970年に設立、パリで最初のコレクションを発表。アニマル柄などをレーザーにプリントしたアイテムをアイコンに、エレガントなドレスなどで人気を集めた。

●**関貴昭** 俳優。4月15日、食道がんのため死去。54歳。1995年に円・演劇研究所に入所、97年に演劇集団円の会員に昇格。『あらしのよるに』『ハムレット』『シラノ・ド・ベルジュラック』『リチャード三世』などの劇団公演だけでなく外部公演にも多く出演した。

●**山本圭子** 声優。4月18日、敗血症のため死去。83歳。アニメ『サザエさん』花沢さん役、『天才バカボン』バカボン役、『ゲゲゲの鬼太郎』砂かけ婆役など多くのアニメで主役級の役を演じ、子供から大人まで親しまれた。その他、『ちびまる子ちゃん』山田笑太役、『ひみつのアッコちゃん』チカ子役など。

●**粟津則雄** 文芸評論家。4月19日、心筋梗塞のため死去。96歳。アルチュール・ランボアの詩や仏文学をはじめ美術や音楽など幅広い分野で評論活動を行った。1982年『正岡子規』で亀井勝一郎賞、2010年『粟津典雄著作集』で鮎川信夫賞特別賞を受賞した。93年紫綬褒章、99年勲三等瑞宝章、10年日本芸術院賞恩賜賞を受けた。草野新平記念文学館の館長も務めた。

●**木島俊介** 美術評論家。4月20日、死去。85歳。群馬県立近代美術館館長やBunkamuraザ・ミュージアムのプロデューサーなどを歴任。2014～23年までポーラ美術館の館長を務めた。

●**フジコ・ヘミング** ピアニスト。4月21日、膵臓がんのため死去。92歳。東京音楽学校(現：東京藝術大学)を卒業し、28歳でベルリンの音楽学校に留学。演奏家としてキャリアを積み、レナード・バーンスタインらに才能を認められ話題に。1999年、波乱の半生を追ったNHKのドキュメンタリー番組をきっかけに日本でも人気となり、代表曲であるリストの難曲『ラ・カンパネラ』を収録したアルバム『奇跡のカンパネラ』は200万枚を超える大ヒットとなった。

●**丘さとみ** 俳優。4月24日、心疾患のため死去。88歳。1955年に東映に入り『御存じ快傑黒頭巾 新選組追撃』で映画デビュー。時代劇を中心に片岡千恵蔵や中村錦之助、大川橋蔵らスターの相手役を務め「東映城のお姫さま」と呼ばれ人気を博した。

●**桂由美** デザイナー。4月26日、死去。94歳。大学卒業後にパリへ留学。シルクやレース

など様々な布地をウエディングドレスの素材として開発し、1964年に日本初のブライダル専門店をオープン、日本のブライダルファッションの第一人者として活躍した。81年にニューヨークのショーで発表したマーメイドラインに似たシルエットは「ユミライン」と呼ばれ人気を博し、代表作となった。また93年の復活祭のミサで当時のローマ教皇ヨハネ・パウロ二世が着た祭服をデザインしたことで知られる。2019年文化長官表彰。

●**今江冬子** 俳優。4月30日、死去。60歳。ケラーノ・サンドロヴィッチ率いる劇団健康の作品に出演し、ナイロン100℃の1993年の旗揚げ公演『予定外』から2002年『フローゼン・ビーチ』再演まで出演した。

●**ポール・オースター** 米・作家。4月30日、肺がんによる合併症のため死去。77歳。石油タンカーの乗務員を経て文学作品の翻訳などに従事。1985～86年に「ニューヨーク三部作」と称される『ガラスの街』『幽霊たち』『鍵のかかった部屋』を発表、米・現代文学の旗手として一躍注目を集めた。代表作に『ムーン・パレス』『偶然の音楽』『幻影の雪』など。95年の映画『スモーク』では脚本も手がけた。

【5月】

●**小山内美江子** 脚本家。5月2日、老衰のため死去。94歳。1951年から映画スクリプター（記録係）として携わった後、62年のNHK『残りの幸福』で脚本家デビュー。79年から始まった「3年B組金八先生」シリーズは、中学生の妊娠や構内暴力などの学校問題をリアルに描き、大きな話題となった。他の作品にNHK大河ドラマ『徳川家康』『翔ぶが如く』、連続テレビ小説『マアちゃん』など。

●**唐十郎** 劇作家。5月4日、急性硬膜下血腫により死去。84歳。明治大学文学部演劇科を卒業後、1963年に劇団・シチュエーションの会を旗揚げ（翌年に状況劇場に改名）。67年に東京・新宿の花園神社境内にて初の紅テント公演を行い、アンダーグラウンドカルチャーの旗手として人気を博し、演劇論「特権的肉体論」は後続に大きな影響を与えた。1989年に劇団唐組を旗揚げ。詩情に溢れるセリフで幻惑的な世界を紡ぐ、熱量の高い作品が支持された。1970年『少

女仮面』で岸田國士戯曲賞、83年の小説『佐川君からの手紙』で芥川賞、2003年には『泥人魚』で紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞演出家優秀賞、鶴屋南北戯曲賞、読売文学賞を受賞した。2021年文化功労者。

●**林英雄(イム ヨンウン)** 演出家、劇団サンウルリム代表。5月4日、死去。88歳。代表作『ゴドーを待ちながら』が1500回を超えるロングランを記録するなど演出作品は多数。日本でも青年劇場『カムサハムニダ』を演出。また私財を投じて建設したサンウルリム小劇場は「演劇学校」とも呼ばれ、数多くの韓国演劇人を輩出、「韓国演劇界の代父」とも称された。

●**バーナード・ヒル** 英・俳優。5月5日、死去。79歳。演劇を学んだ後、ドラマや映画で人気を博し、映画『ロード・オブ・ザ・リング』ではセオデン王役を務めた。

●**稲川素子** 芸能事務所社長。5月13日、心不全のため死去。90歳。1985年に芸能事務所を設立。ルビー・モレノら5000人以上の外国人タレントを世に送り出した。

●**アリス・マンロー** カナダ・作家。5月13日、死去。92歳。10代から短編小説を書き始め、1968年に出版した初の短編集がカナダでもっとも権威ある「総督文学賞」を受賞。以後、三度の総督文学賞、W・H・スミス賞、ベン・マラッド賞、全米批評家協会賞ほか多くの賞を受賞。主な作品に『イラクサ』『林檎の木の下で』『小説のように』『ディア・ライフ』『善き女の愛』『ジュリエット』など。「チェーホフの正統な後継者」「短篇小説の女王」とも賞され、2005年にはタイム誌の「世界でもっとも影響力のある100人」に選出。2013年にノーベル文学賞を受賞した。

●**キダ・タロー** 作曲家。5月14日、死去。93歳。大学中退後、キャバレーでピアノを弾きながら作曲を始め、「かに道楽」「出前一丁」「アサヒペン」など耳に残るCM曲を多数作曲、「浪花のモーツァルト」として親しまれた。また『プロポーズ大作戦』『2時のワイドショー』などテレビ番組のテーマ曲を手がけた。

●**林駒夫** 人形作家。5月15日、死去。87歳。能や宮中の装束などの歴史風俗や伝統芸能に取材し、優美な日本文化を表現した作品を多数制作。重要無形文化財「桐塑人形」の保持者として

2002年に認定。09年旭日小綬章。

●**中尾彬** 俳優。5月16日、心不全のため死去。81歳。武蔵野美術大学油絵学科在学中の1961年、日活ニューフェイスに合格。63年に劇団民藝に入団し、翌年の映画『月曜日のユカ』で本格的にデビュー。その後、『本陣殺人事件』、『極道の妻たち』、『暴れん坊将軍』シリーズ、ドラマ『GTO』など時代劇から現代劇まで、悪役や重厚な役柄を演じ存在感を發揮した。またバラエティー番組などにも多数出演し、独特のスタイル姿などで親しまれた。

●**井川徳道** 映画美術監督。5月16日、老衰のため死去。95歳。京都市立美術専門学校(現：京都市立芸術大学)を卒業し、東映京都撮影所で美術デザイナーとして活躍。映画『魔界転生』で1982年日本アカデミー賞最優秀美術賞を受賞した。

●**ダブニー・コールマン** 米・俳優。5月16日、死去。92歳。1976年にテレビドラマ『メアリー・ハートマン、メアリー・ハートマン』で人気を集める。主な出演作に映画『9時から5時まで』、『天国に行けないパパ』など。87年エミー賞。

●**梅津秀行** 声優。5月17日、間質性肺炎のため死去。68歳。アニメやゲーム、洋画の吹替などで活躍。映画『ハリウッドター』シリーズでロンの父親役を担当し人気を集めた。

●**増山江威子** 声優。5月20日、肺炎のため死去。88歳。「ルパン三世」シリーズで峰不二子を甘く艶のある声で演じて当たり役に。その他『キューティーハニー』如月ハニー、『一休さん』母親とナレーション、『天才バカボン』ママなどで親しまれた。

●**真島茂樹** 振付師、ダンサー。5月22日、虚血性心不全のため死去。77歳。高校卒業後、1972年に日劇ダンシングチームに入団しトップダンサーとして活躍。チーム解散後はダンス講師や『ラ・カージュ・オ・フォール』『王様と私』『屋根の上のヴァイオリン弾き』など数多くのミュージカル等に出演するなどして活躍。2004年に振付を担当した松平健の『マツケンサンバII』がヒットして人気となった。

●**モーガン・スパーロック** 米・ドキュメンタリー監督。5月23日、がんの合併症のため死去。53歳。米ファストフード大手で提供される食

品のみを食べ続け、身体の変化をデータとともに記録した映画『スーパーサイズ・ミー』が大ヒットした。

●**リチャード・シャーマン** 米・作曲家。5月25日、死去。95歳。兄のロバートと共に楽曲制作をし、ディズニー映画『メリーポピンズ』やディズニーランドのアトラクション「イツ・ア・スモールワールド」の楽曲を手がけた。『メリーポピンズ』では米アカデミー賞作曲賞、劇中歌『チム・チム・チェリー』で歌曲賞を受賞した。

●**ニキータ山下** 歌手、ロシア語通訳。5月26日、急性骨髄性白血病のため死去。86歳。ロシア歌謡などのコーラスグループ「ロイヤルナイツ」のテナーとバリトンを担当。NHK『ロシア語会話』などにも出演。訳書にマイヤ・プリセツカヤ自伝『闘う白鳥』など。

●**今くるよ** 漫才師。5月27日、膵がんのため死去。76歳。1970年に今喜多代に入門。今いくよとコンビを組み「今いくよ・くるよ」として73年に初舞台を踏んだ。細身のいくよと対照的なくるよが、互いの容姿やファッションをネタに繰り広げる話芸で人気を博した。

●**嶋野彰** アニメーション作家。5月30日、死去。70歳。アニメーション制作大手「スタジオぴえろ」で多くの作品を手がけ「びえろD.A.R.」の設立に携わり初代室長を務めたのちに2004年「アキラスタジオ」を設立。「妖怪ウォッチ」「しまじろうのわお!」「遊☆戯☆王」シリーズなどの演出を数多く手がけた。また『クレヨンしんちゃん』では絵コンテを初回放送の1992年から担当していた。

【6月】

●**野崎俊夫** 研音グループ創業者。6月1日、老衰のため死去。88歳。1979年に研音グループを創業。俳優の唐沢寿明、山口智子、天海祐希、菅野美穂、反町隆史ら実力派俳優を世に送り出した。

●**大潮** 大相撲元小結。6月1日、死去。76歳。1962年初場所時津風部屋から初土俵。69年九州場所新十両、71年秋場所新入幕、78年初場所で東小結に昇進。通算出場1891回は史上最多記録、歴代4位の通算964勝を挙げた。三賞は敢闘賞1回、技能賞1回。引退後は92年4月に

時津風部屋から独立して式秀部屋を創設した。

●**門倉有希** 歌手。6月6日、乳がんのため死去。50歳。1994年に『陽…カモメ』でデビュー、96年NHK新人歌謡コンテストで『女の漁歌』でグランプリを受賞、その年のNHK紅白歌合戦にも出場した。98年にリリースした『ノラ』は現在もカラオケランキング上位をキープするなどロングランヒットとなっている。

●**榎文彦** 建築家。6月6日、老衰のため死去。95歳。丹下健三に師事。代表作に、代官山ヒルサイドテラス、東京体育館、幕張メッセなど。2013年文化功労者、15年日本芸術院会員。

●**ささやなえこ** 漫画家。小細胞肺がんのため死去。74歳。1970年にデビューし、コメディやミステリーなど幅広い作品を発表。夫婦生活をコミカルに描いた『おかめはちもく』で日本漫画家協会賞優秀賞を受賞した。

●**久我美子** 俳優。6月9日、誤嚥性肺炎のため死去。93歳。女学校に通っていた1946年に第1期東宝ニューフェースに合格し、47年に映画『四つの恋の物語』でデビュー。気品のある演技で木下恵介監督『女の園』や小津安二郎監督『彼岸花』など日本を代表する監督の作品に数多く出演した。1950年公開『また逢う日まで』のガラス越しのキスシーンは、日本の映画史に残る名場面として知られている。

●**フランソワーズ・アルディ** 仏・歌手。6月11日死去。80歳。1962年に『男の子と女の子』で人気を博し、60年代ポップ文化のアイコンとも評された。2023年には米誌ローリングストーンが発表した「史上最も偉大な歌手200人」にフランスから唯一選ばれていた。

●**ルース・スタイルス・ガネット** 米・作家。6月11日、死去。100歳。1948年に『エルマーのぼうけん』を刊行、日本では続編2作と合わせて翻訳本が刊行され、シリーズ累計発行部数は約780万部に。人形劇やアニメーション映画にもなった。

●**桂ざこば** 上方落語家。6月12日、ぜんそくのため死去。76歳。1963年に桂米朝に入門し、88年に二代目桂ざこばを襲名。代表的なネタは『崇徳院』『らくだ』『蜆売り』など表情豊かな語り口で人気を集めた。またリポーターなど多くのテレビ番組でも活躍した。92年と2003年に「上方お笑い大賞」大賞、2016年芸術選奨文部科

学大臣賞(大衆芸能部門)を受賞した。

●**佐々木昭一郎** 元NHKディレクター。6月14日、肺炎のため死去。88歳。1960年にNHKに入局。演技の初心者などを起用した70年『マザー』でモンテカルロ・テレビ祭の最高賞を受賞。80年『四季・ユートピアノ』などドキュメンタリーとフィクションが混じり合う演出と私的な映像表現など、数々の斬新なテレビドラマを手がけ、文化庁芸術祭大賞など国内外の賞を多数受賞した。

●**白石かずこ** 詩人。6月14日、心不全のため死去。93歳。早稲田大学在学中の1951年に詩集『卵のふる街』でデビュー。性を率直に表現したり、ジャズ演奏と共に朗読したりと、自由奔放な作風や活動で国際的に活躍した。『切れるものたちをして』で読売文学賞、高見順賞を受賞。98年紫綬褒章。

●**斎藤栄** 作家。6月15日、老衰のため死去。91歳。横浜市役所に勤務しながら執筆活動を始め、1963年『機密』で宝石中篇賞、66年『殺人の棋譜』で江戸川乱歩賞を受賞。「タロット日美子&二階堂警視」「江戸川警部」シリーズなどのベストセラーを手がけた。

●**山田昌** 俳優、劇団劇座代表。6月16日、肝細胞がんのため死去。94歳。1949年にNHK名古屋放送劇団に入団し、85年に「劇座」を結成、同年、附属俳優養成所の「名古屋劇塾」の設立にも参加した。「名古屋弁を話せる俳優」としてテレビドラマで活躍。NHK連続テレビ小説『おしん』『はね駒』『君の名は』など多くの作品に出演した。

●**アヌーク・エーメ** 仏・俳優。6月18日、死去。92歳。1947年に銀幕デビュー。映画『火の接吻』『モンパルナスの灯』などに出演、フェデリコ・フェリーニ監督『甘い生活』『8 1/2』などで名声を確立。66年にはクロード・ルルーシュ監督『男と女』のヒロイン・アンヌ役を演じ、米アカデミー主演女優賞にノミネートされたほか、同作は第19回カンヌ国際映画祭グランプリ、米アカデミー外国語映画賞などを受賞し、世界的に大ヒットした。80年『Salto nel vuoto (原題)』でカンヌ国際映画祭の女優賞を受賞、名実ともにフランスを代表する女優の一人として、2002年セザール賞名誉賞、バルン国際映画祭金熊名誉賞も受賞した。

●**三輪勝恵** 声優。6月19日、急性肺塞栓のため死去。80歳。アニメ『パーマン』パーマン1号、『ウッドベッカー』ウッドベッカー、『新・怪物くん』ヒロシ、『あさりちゃん』浜野あさり、『カリメロ』カリメロ、『スヌーピー&チャーリー・ブラウン』ルーシー・ヴァンベルトなど、多くのアニメで主役・主役級の役どころを演じて人気を集めた。

●**ドナルド・サザーランド** カナダ・俳優。6月20日、死去。88歳。人気コメディアー『M★A★S★H』を始め、『普通の人々』『ハンガー・ゲーム』など数々のドラマや映画に出演し、多彩な役柄を演じ人気を集めた。2017年に米アカデミー賞名誉賞を受賞したほか、エミー賞やゴールデングローブ賞なども受賞した。

●**松野太紀** 声優。6月26日、右大脳出血のため死去。56歳。アニメ『金田一少年の事件簿』主役・金田一で知られるほか、『遊戯王デュエルモンスターズGX』万丈目準、『犬夜叉』鋼牙、『スポンジ・ボブ』スポンジ・ボブなど、多くの作品で主役級の役を演じた。

●**マキノ正幸** 沖縄アクターズスクール創設者。6月28日、敗血症性ショックのため死去。83歳。祖父は「日本映画の父」とも称されるマキノ省三、父は映画監督・マキノ雅弘、母は女優・轟夕起子という芸能一家に生まれ、1983年に沖縄アクターズスクールを開校。安室奈美恵、MAX、DA PUMP、知念里奈、SPEED、三浦大知ら多くのスターを輩出し、90年代J-POPの一時代を築いた。

●**押阪忍** エス・オー・プロモーション会長。6月29日、死去。89歳。1958年のテレビ朝日アナウンサー第1期生で、64年の東京オリンピックでは女子バレー金メダル「東洋の魔女」の実況を担当した。65年に民放テレビのフリーアナウンサー第1号となり話題を呼ぶ。その後、フリーアナウンサーやリポーターのマネジメントなどを行う「エス・オー・プロモーション」創業者となったほか、SOプロトクアカデミーの塾長として放送界に多くの人材を輩出した。

●**梁石日** 作家。6月29日、老衰のため死去。87歳。在日2世として生まれ、タクシー運転手の経験を元に書いた『狂躁曲』でデビュー。同作は崔洋一監督により『月はどっちに出ている』として映画化されて大ヒットした。94年『夜を賭

けて』で直木賞候補に、98年『血と骨』で山本周五郎賞を受賞。同作は崔洋一監督、ビートたけし主演で映画化もされた。

●**佐藤耕司** 能楽宝生流シテ方。6月30日、心不全のため死去。94歳。1963年に素謡『小袖曾我』母で初舞台、70年『小督』で初シテを務めた。

【7月】

●**浜畑賢吉** 俳優。7月2日、前立腺がんのため死去。81歳。劇団俳優座の養成所を経て1966年に劇団四季に入団。ミュージカル『コーラスライン』では79年の初演以来、演出家・ザック役を800回以上演じたほか、『アプローズ』『CATS』『ヴェニス商人』など劇団の代表作に多数出演。またテレビでも活躍し、主演を務めた学園ドラマ『進め！青春』の新人教師役で人気を集めた。94年の退団後も多くの舞台に出演したほか、大阪芸術大学の教授なども務めた。

●**赤塚真人** 俳優。7月4日、食道がんのため死去。73歳。1967年に銀幕デビューし、映画『幸せの黄色いハンカチ』、「男はつらいよ」水戸黄門「暴れん坊将軍」「鬼平犯科帳」「科捜研の女」「相棒」シリーズなど多くの映画やドラマに出演。2002年に劇団TA2を旗揚げ、2007年からは劇団裏長屋マンシヨonzに改名して座長として活動していた。

●**ジョン・ランドー** 米・プロデューサー。7月5日、死去。63歳。大学で映画を学び80年代からプロデューサーとして活動を始め、『ホーム・アローン』『ダイ・ハード2』などの製作に携わった。またジェームズ・キャメロン監督と組み『タイタニック』や『アバター』シリーズ2作品などの大ヒット映画を生み出した。

●**大瀬うたじ** 芸人。7月6日、脳幹出血のため死去。76歳。1971年にお笑いコンビ「大瀬ゆめじ・うたじ」を結成。2013年のコンビ解散後はピン芸人として活動していた。

●**国本晴美** 浪曲師。7月6日、肝硬変のため死去。86歳。1948年に東家楽遊に入門。2015年に亡くなった国本武春は長男。

●**天野天街** 劇作家、演出家。7月7日、肺がんのため死去。64歳。1982年に少年王者館(当初「劇団少年王者」)を旗揚げし、愛知県名古屋市を拠点に活動。言葉遊びを多用したセリフと、ダンスや映像、音響を駆使した独特の世界観の

舞台で知られ、国内のみでなく海外でも公演を行い注目を集めた。また二人芝居『くだんの件』が2000年岸田國土戯曲賞候補となったほか、94年に初監督した短編映画『トワイライツ』は独・オーバーハウゼン国際短編映画祭とメルボルン国際映画祭でグランプリに輝いた。

●**正司照枝** 漫才トリオ「かしまし娘」次女、俳優。7月8日、急性心臓死のため死去。91歳。三味線とギターを使った音曲漫才「かしまし娘」として1956年から本格的に活動を開始。姉妹ならではの掛け合いが人気を呼び、66年第1回上方漫才大賞を受賞した。81年に活動を休止した後、俳優としてNHK連続テレビ小説『カーネーション』など多くのドラマや映画、松竹新喜劇などで活躍した。

●**山本順之** 能楽観世流シテ方。7月8日、肝細胞がんのため死去。85歳。重要無形文化財保持者〈総合認定〉。『媿捨』などの古典作品をはじめ、数多くの舞台に出演。1975年芸術選奨文部大臣新人賞。

●**中村靖日** 俳優。7月10日、急性心不全のため死去。51歳。学生時代の自主映画が市川準監督の目に留まり、1997年の映画『東京夜曲』に出演。2005年『運命じゃない人』で主演を務めたほか、NHK連続ドラマ小説『ごちそうさん』など数多くの映画やドラマに出演、独特の存在感を放つ演技で注目を集めた。

●**シェリー・デュバル** 米・俳優。7月11日、糖尿病の合併症のため死去。75歳。1977年の映画『三人の女』でカンヌ国際映画祭最優秀女優賞を受賞。1980年、スタンリー・キューブリック監督『シャイニング』で一躍有名になった。代表作に『アニー・ホール』『愛しのロクサーヌ』『ギャングラー』『ポパイ』など。

●**小原乃梨子** 声優。7月12日、死去。88歳。アニメ『ドラえもん』野比のび太役を1979年から26年間演じ、子供から大人まで広く親しまれた。その他『アルプスの少女ハイジ』ヤギ飼いのペーター、『未来少年コナン』コナン、『ヤッターマン』ドロンジョなど多くのアニメで主役級の役を演じた。またシャーリー・マクレーンやカトリーヌ・ドヌーブなどの洋画の吹替でも活躍。2007年第1回声優アワード功労賞を受賞。

●**ビル・ピオラ** 米・ビデオアーティスト。7月12日、アルツハイマー病合併症のため死去。

73歳。1972年に初のビデオ作品『野生の馬』を発表。80年に日米友好基金の奨学金を受けて日本に18か月間滞在し『はつゆめ』を制作。2005年、パリ・オペラ座で『トリスタンとイゾルデ』のための作品を発表するなど映像芸術の第一人者として知られた。2011年高松宮殿下記念世界文化賞。

●**シャナン・ドハーティ** 米・俳優。7月13日、死去。53歳。子どもの頃から俳優として活動し、80年代前半にテレビドラマ『大草原の小さな家』に出演。90年放送開始の人気テレビドラマ『ビバリーヒルズ高校白書』『ビバリーヒルズ青春白書』で主要な登場人物であるブレンダ役を演じて人気を博した。

●**矢玉四郎** 児童文学作家。7月14日、老衰のため死去。80歳。商業デザイナーを経て漫画家として独立し、週刊少年マガジンなどに掲載。その後に児童文学作家に転向し、1980年『はれときどきぶた』を発表。ロングセラーを記録する大ヒット作品となり、テレビアニメ化されたほか各国語に翻訳され、現代を代表する児童文学作品となった。

●**林英樹** 俳優。7月17日、誤嚥性肺炎のため死去。79歳。1966年に文学座附属演劇研究所に入所し、70年に座員に昇格。『ガラスの動物園』『グリークス』『最後の晩餐』『ペンテコスト』『ぬけがら』など文学座の舞台を中心に大柄な風貌を活かした役で活躍した。

●**河東けい** 俳優。7月17日、老衰のため死去。98歳。1957年、関西芸術座の創立に参加。代表作に『奇跡の人』『一人芝居 母』など。またNHK連続テレビ小説『芋たこなんきん』『ウエルかめ』などドラマにも多数出演した。

●**角寛次朗** 能楽観世流シテ方。7月19日、脳血管障害後遺症のため死去。85歳。重要無形文化財総合指定保持者。一般社団法人観世会監事。

●**勝村淳** 俳優、殺陣師。7月19日、死去。87歳。1957年に大映京都撮影所に入所し、勝新太郎に師事。俳優や殺陣師として多くの作品に関わり、勝新太郎主演の映画『座頭市』シリーズなどでスタントを務めた。またブルース・リーの主演映画『ドラゴン 怒りの鉄拳』に出演した時のエピソードから「ブルース・リーを投げ飛ばした男」としても知られた。

●**湯浅譲二** 現代音楽作曲家。7月21日、肺炎のため死去。94歳。大学在学中から武満徹らと交流し、1950年代に前衛芸術家グループ「実験工房」に参加。交響楽、室内楽、電子音楽など幅広い分野で音楽の新たな可能性を追求した。一方でテレビドラマ『木枯らし紋次郎』、映画『お葬式』、童謡『はしれちようとききゅう』の作曲も手がけた。97年紫綬褒章、99年日本芸術院賞・恩賜賞、2007年旭日小綬章。

●**ジョン・メイオール** 英・ミュージシャン。7月22日、死去。90歳。60年代前半に「ブルースブレイカーズ」結成。エリック・クラプトン、ミック・テイラーらが参加。2024年、「ロックの殿堂」入りを果たした。

●**片岡静香** 俳優。7月23日、死去。77歳。1980年に演劇集団円に参加。その後、舞台『検察側の証人』『リチャード三世』、NHK連続テレビ小説『おしん』など多くの舞台やテレビドラマで活躍した。

●**黒木仁** 演出家。7月25日、胆のう癌のため死去。70歳。1967年に文学座附属演劇研究所に入所、72年に座員に。舞台監督、演出助手として長年にわたり数多くの舞台に関わる。84年『衣裳』で初演出。2003年には文学座有志による自主企画公演『久保田万太郎の世界』を立ち上げ、久保田作品を演出し、ライフワークのように上演してきた。

●**園まり** 歌手。7月26日、急性心不全のため死去。80歳。童謡歌手を経て1962年『鍛冶屋のルンバ』でデビュー。同じ事務所の中尾ミエ、伊東ゆかりと「三人娘」として人気を集めた。『何も云わないで』『逢いたくて逢いたくて』『夢は夜ひらく』『愛は惜しみなく』などヒット曲は多数。また俳優としても映画やドラマ、舞台などで幅広く活躍した。

【8月】

●**桂米丸** 落語家。8月1日、老衰のため死去。99歳。1946年に古今亭今輔に入門し、49年に四代目桂米丸を襲名、真打ちとなった。新作落語を得意とし、テレビ番組の司会者としても人気を集めた。23年間にわたり落語芸術協会(旧：日本芸術協会)の会長を務め、後進を指導。92年紫綬褒章、98年旭日小綬章。

●**大崎善生** 作家。8月3日、死去。66歳。大学

卒業後に雑誌『将棋マガジン』の編集者として日本将棋連盟に勤務。天才棋士・村山聖の生涯を描いた『聖の青春』で作家デビュー。同作は新潮学芸賞を受賞し、映画化や漫画化もされた。

●**稲垣美穂子** 俳優。8月6日、老衰のため死去。86歳。日本女子大学在学中に日活にスカウトされ1957年の映画『孤独の人』でデビュー。61年から俳優座養成所で演技を学び、舞台やテレビで活躍。77年に劇団「目覚時計」を設立し代表を務め、家族で楽しめるミュージカルの全国公演に力を注いだ。

●**松岡正剛** 編集者、著述家。8月12日、肺炎のため死去。80歳。1971年に科学と芸術を融合する雑誌『遊』を創刊。87年に編集工学研究所を設立、情報や文化などの知的体系を横断的に結ぶ「編集工学」を提唱した。著書に『知の編集工学』など。

●**伊藤孝雄** 俳優。8月14日、多臓器不全のため死去。87歳。1963年に俳優座養成所を卒業後に劇団民藝俳優教室に入所。65年に劇団員に。67年『汚れた手』ユゴー役、『白い夜の宴』一郎役で、紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞した。

●**ジーナ・ローランズ** 米・俳優。8月14日、死去。94歳。テレビや舞台で活躍した後、1958年に映画デビュー、夫で俳優のジョン・カサベテス監督の作品に数多く主演。精神パランスを崩した女性を演じた74年『こわれゆく女』、マフィアに立ち向かう女性を熱演した80年『グローリア』で米アカデミー賞主演女優賞にノミネート、77年『オープニング・ナイト』でベルリン国際映画祭女優賞に輝いた。また息子のニック・カサベテス監督『きみに読む物語』でヒロインの晩年を演じ好評を得た。2015年、米アカデミー名誉賞を受賞。

●**下村青** 俳優。8月15日、死去。60歳。学生時代からバトントワリング選手として活躍し、世界選手権3位、83年全米オープンバトンで優勝した。1984年に劇団四季に入団。『コーラスライン』『キャッツ』『エビータ』『美女と野獣』『ハムレット』『ユタと不思議な仲間たち』『ジーザス・クライスト・スーパースター』など数々の舞台で主要な役を演じ、ミュージカル界屈指の個性派俳優との評価を得る。劇団四季以外にも『アニー』『スーパー歌舞伎Ⅱ ワンピース』など数多くの舞台に出演した。旧芸名は下村尊則。

●**弓恵子** 俳優。8月17日、呼吸不全のため死去。87歳。1955年の映画『赤いカンナの花咲けば』で「光丘ひろみ」の芸名でデビュー。その後改名し、多数の映画やテレビドラマ、舞台に出演。映画『明日から大人だ』『銀座のどら猫』『うっちゃり姫君』に主演、69～70年のテレビ時代劇『水戸黄門』第1部ではお蝶役でレギュラー出演した。

●**高石ともや** フォーク歌手。8月17日、膵がんのため死去。82歳。1966年『かごの鳥ブルース』でデビュー。社会の矛盾や不条理などを表現するメッセージングを確立した先駆者の一人でもあり、学生運動や労働運動の高まりとともに関西を中心に支持を拡大、68年『受験生ブルース』がヒットし、関西フォークの旗手とも呼ばれた。

●**アラン・ドロン** 仏・俳優。8月18日、死去。88歳。1957年にカンヌ国際映画祭を訪れた際にスカウトされ、同年『女が事件にからむ時』で映画デビュー。ルネ・クレマン監督『太陽がいっぱい』で友人を殺し財産を狙う青年役を好演し一躍脚光を浴びた。一時、米・ハリウッドに進出したものの、再びフランスに戻り、67年『冒険者たち』『サムライ』、70年にジャンポール・ベルモンドと共演した『ボルサリーノ』が大ヒット。仏映画界を代表する地位を確立した。日本でも人気を集め、71年『レッド・サン』では三船敏郎と共演した。2017年に81歳で引退を表明。2019年、カンヌ国際映画祭で長年の功績を称える名誉パルムドールを受賞した。

●**高橋克明** 俳優。8月19日、心筋梗塞のため死去。59歳。玉川大学卒業後、1988年文学座附属演劇研究所28期生として入所。93年に文学座座員に。文学座の舞台のほかNHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』、ドラマ『臨場』『相棒』シリーズなどにも出演した。

●**石川好** 作家。8月19日、急性心筋梗塞のため死去。77歳。1983年に『カリフォルニア・ストーリー』でデビュー。89年、自らの体験を基に米国のイチゴ農園での労働の日々を描いた『ストリベリー・ロード』で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した。またテレビの討論番組に出演するなど政治的言論活動も話題となった。

●**田中敦子** 声優。8月20日、病気のため死去。61歳。アニメ『攻殻機動隊』シリーズの草薙素

子役、「名探偵コナン」メアリー・世良役、「ジョジョの奇妙な冒険」リサリサ役、「呪術廻戦」花御役など多彩な役を演じた。またジェニファー・ロペス、ニコール・キッドマン、ジュリア・ロバーツなどの吹替を数多く担当。テレビ番組のナレーションでも活躍した。

●**宇龍鴻一郎** 作家。8月28日、心不全のため死去。90歳。東京大学大学院在学中の1962年、巨大なクジラと漁師の格闘を描いた『鯨神』で芥川賞を受賞。同作は映画化もされた。また70年代から官能小説も手がけたほか、嵯峨島昭・名義で『踊り子殺人事件』などミステリー小説も手がけた。

●**梶井隼** 元TBSプロデューサー。8月29日、死去。96歳。1966年放送の『ウルトラQ』『ウルトラマン』の制作に関わり、怪獣を登場させるシリーズの路線を確立した。

●**沼田爆** 俳優。8月末、死去。84歳。劇団四季を経て舞台やテレビ、映画などで活躍。出演作に舞台『マイフェアレディ』『姥ざかり』『暴れん坊将軍』、映画『真逆家族』『ゲゲゲの女房』、テレビ「鬼平犯科帳」シリーズ、『GTO』、連続テレビ小説『ファイト!』など。

【9月】

●**立松昭二** 俳優。9月1日、老衰のため死去。89歳。1960年に松竹音楽演技研究所を卒業後、劇団新派に入団し、初代水谷八重子に師事。72年幹部昇進。若き日には『お蝶夫人』ピンカートン、『十三夜』録之助などの二枚目の大役を務めた。その後も新派の舞台に数多く出演し、深みのある演技で舞台を支えた。

●**佐々木涼子** ノンフィクション作家。9月1日、悪性脳腫瘍のため死去。56歳。日本語教師を経てライターに転身。遺体や遺骨を運ぶ国際霊柩送還士の活動を描いた『エンジェルフライト』で2012年の開高健ノンフィクション賞を受賞。同作はドラマ化された。

●**ピーコ** ファッション評論家、タレント。9月3日、肺血症による多臓器不全のため死去。79歳。アパレル会社に勤務し、文化服装学院を経て衣裳デザイナーに。1975年に双子の弟・おすぎと「おすぎとピーコ」としてデビュー。バラエティー番組やラジオ番組に出演し、明るいキャラクターと歯に衣を着せぬコメントでお茶の

間に親しまれた。またシャンソン歌手としてライブを行うなど多彩な活動で人気を集めた。

●**岡田太郎** 元共同テレビ会長。9月3日、胆のうがんのため死去。94歳。文化放送を経て1958年にフジテレビに入社。ドラマ『日日の背信』『時代劇スペシャル』などの制作やプロデュースを担当。吉永小百合の主演映画『愛と死をみつめて』のドキュメンタリー番組や、主演ドラマ『また逢う日まで』を制作し、73年に結婚した。85年に番組制作会社の共同テレビ取締役に就任。社長、会長を歴任した。

●**御童カズヒコ** 漫画家。9月4日、食道がんのため死去。62歳。1981年から漫画雑誌に連載を始め、87年から児童誌『コミックボンボン』を主戦場に『にくつたらシエリフ』などを連載。代表作は『温泉ガッパドンパ』、2004年には『ウルトラ忍法帖シリーズ』で第28回講談社漫画賞児童部門を受賞した。

●**セルジオ・メンデス** ブラジル・歌手。9月5日、死去。83歳。幼少期に音楽学校でクラシックピアノを学んだが50年代にジャズに転向。その後、ボサノバのジャンルに進出し国内外で活躍。1966年にセルジオ・メンデス＆ブラジル'66名義で発表した『マッシュ・ケ・ナダ』が世界中でヒット。ボサノバ・ブームの立役者の一人、ブラジル音楽界の巨匠となった。

●**黒沢博** 歌手、俳優。9月6日、死去。75歳。1966年に「寺内タケシとバニーズ」のボーカルとしてデビュー。解散後に「ヒロシ&キーボー」を結成。82年に発表した『3年目の浮気』が約130万枚のミリオンヒットを記録。2017年には『30年目の本気』をリリース、18年に同名映画に初主演した。

●**川添象郎** 音楽プロデューサー。9月8日、死去。83歳。1969年にミュージカル『ヘアー』来日公演をプロデュース。70年代は音楽プロデューサーとしてYMOや荒井由美(松任谷由実)などのアーティストを世に送り出し、数々のヒット曲を生み出した。

●**篠原恵美** 声優。9月8日、死去。61歳。主な作品に『カードキャプターさくら クリアカード編』観月歌帆、『美少女戦士セーラームーン』木野まこと/セーラージュピターなど。

●**縫田暉子** 市川房子記念会元理事長。9月9日、老衰のため死去。102歳。終戦直前にNHK

に入局し、同局初の女性解説委員となった。東京都民生局長や国立婦人教育会館館長、国連女性の地位委員会日本代表などを歴任。男女共同参画社会の実現に尽力した。

●**ジェームズ・アール・ジョーンズ** 米・俳優。9月9日、死去。93歳。映画『博士の異常な愛情』『星の王子 ニューヨークへ行く』など数多くの映画やテレビドラマに出演、ブロードウェイの舞台でも活躍した。映画「スター・ウォーズ」シリーズのダース・ベイダー役で知られ、声優としてもディズニー映画『ライオン・キング』ムファサ役を演じた。エミー賞2回、トニー賞を特別功労賞を含め3回受賞。アカデミー名誉賞も贈られた。

●**アルベルト・フジモリ** ペルー元大統領。9月11日、死去。86歳。1990年に日系人では南米で初めて大統領に就任。公共工事による農村の貧困対策や経済の安定化に取り組んだが、その強引な政治手法は一部で独裁との批判も浴びた。2000年に側近の不正が発覚し、外遊先の日本から辞表を提出し実質的な亡命生活に。06年に日本からペルーに戻る途中のチリで拘束、ペルーへ身柄を引き渡され、市民虐殺事件に関与した罪で禁固25年が確定したが、23年に自由の身になっていた。

●**鹿島武臣** 「ボニージャックス」メンバー。9月12日、脳幹出血のため死去。90歳。早稲田大学グリーククラブ出身の男性4人でコーラスグループ「ボニージャックス」を結成し1958年にデビュー。バリトンを務め、「トラさん」の愛称で親しまれた。

●**敏いとう** 「敏いとうとハッピー&ブルー」リーダー。9月14日、死去。84歳。1969年に「敏いとう&ブルー・キャンドル』『誘惑』でデビュー。71年に「敏いとうとハッピー&ブルー」を結成、74年の『わたし祈ってます』をはじめ、『星降る街角』『よせばいいのに』などが大ヒットし「ムード歌謡の帝王」と呼ばれた。

●**白鳥あかね** スクリプター、脚本家。9月14日、肺がんのため死去。92歳。1955年から日活撮影所のスクリプター（記録係）として神代辰巳監督らの映画製作に携わった。72年以降は脚本を執筆。主な作品に映画『鍵 THE KEY』『脇役物語』など。著書に『スクリプターはストリッパーではありません』。

●**山崎一穎** 森鷗外記念館館長。9月14日、死去。85歳。森鷗外研究の第一人者として知られ、森鷗外記念館館長、日本近代文学館理事、跡見学園前理事長などを務めた。著書に『森鷗外・歴史文学研究』。

●**渋谷幸弘** アニメーション美術監督。9月15日、持病の悪化のため死去。63歳。1980年に石垣プロダクションに入社、『ルパン三世』『AKIRA』『名探偵コナン』『夏目友人帳』など人気アニメの美術を手がけた。

●**細江英公** 写真家。9月16日、左副腎腫瘍のため死去。91歳。東京写真短期大学(現：東京工芸大学)卒業後に写真家に。肉体美を捉えた作品を得意とし、三島由紀夫を被写体に耽美な世界観を表現した1963年の写真集『薔薇刑』で注目を集めた。2010年文化功労者。

●**荒木田裕子** 元バレーボール女子金メダリスト。9月18日までに死去したことがわかった。秋田・角館南高校(現：角館高校)卒業後に日立に入り、日本代表として74年世界選手権、77年ワールドカップで優勝、76年モントリオール・オリンピックで金メダルを獲得した。引退後は欧州で指導者に転じ、日本バレーボール協会の強化事業本部長、JOC日本オリンピック委員会理事、IOC国際オリンピック委員会プログラム委員などを歴任した。

●**福田和也** 文芸評論家。9月20日、急性呼吸不全のため死去。63歳。保守派の論客として知られた。1993年『日本の家郷』で三島由紀夫賞、2002年『知ひらくー石原莞爾と昭和の夢』で山本七平賞を受賞。テレビやラジオのコメンテーターとしても活躍した。

●**熊井明子** 作家、エッセイスト。9月21日、虚血性心不全のため死去。84歳。小説『シェイクスピアの香り』などの著作活動で山本安英賞を受賞。ポプリア研究家としても知られ、エッセー「私の部屋のポプリア」シリーズで人気を集めた。

●**唐沢俊一** コラムニスト。9月24日、虚血性心不全のため死去。66歳。サブカルチャーや大衆文化を論じたほか、漫画の原作や舞台演出などを手がけた。テレビ『トリビアの泉〜素晴らしきムダ知識〜』スーパーバイザーも務めた。

●**ジョン・アシュトン** 米・俳優。9月26日、死去。76歳。映画『ビバリーヒルズ・コップ』

『ビバリーヒルズ・コップ2』のジョン・タガート巡査部長役で脚光を浴びたほか、多くの映画や舞台などに出演した。

●**マギー・スミス** 英・俳優。9月27日、死去。89歳。舞台出演を経て映画デビュー。映画『ミス・プロディの青春』で米・アカデミー賞主演女優賞、映画『カルフォルニア・スイート』で同助演女優賞を受賞。映画『天使にラブソングを…』やテレビドラマ『ダウトン・アビー』への出演で日本でも広く知られた。英国を代表する女優の一人として、1990年に英王室からナイトの女性版「デイム」の称号が授与された。

●**クリス・クリストファーソン** 米・シンガーソングライター。9月28日、死去。88歳。代表曲に『ヘルプ・ミー・メイク・イット・スルー・ザ・ナイト』『ミー・アンド・ボビー・マギー』など。1976年の映画『スター誕生』でゴールデン・グローブ賞主演男優賞を受賞した。

●**大山のぶ代** 声優、俳優。9月29日、老衰のため死去。90歳。幼少期から個性的な声を持っていたという逸話がある。役者を目指し俳優座養成所に入所、1956年にNHKドラマ『この瞳』でデビューを果たした。57年『名犬ラッシー』の吹替で声優としてデビュー、1979年に『ドラえもん』で主人公・ドラえもんの声を担当。2005年に勇退するまで26年間演じ、日本を代表する声優となった。

●**ロン・エリー** 米・俳優。9月29日、死去。86歳。1960年代のテレビドラマ『ターザン』でターザン役を演じ人気を集めた。その後も主にテレビで俳優として活躍したほか、ミステリー小説も執筆した。

●**大江又三郎** 能楽観世流シテ方。9月30日、虚血性心疾患のため死去。80歳。7歳で初舞台を踏み、大学卒業後に二十五世観世宗家入門。京都を中心に演能活動を行い、能楽の発展や青少年への普及活動を精力的に行ったほか、大江能楽堂の維持運営を担っていた。

●**山藤章二** イラストレーター。9月30日、老衰のため死去。87歳。武蔵野美術学校(現：武蔵野美術大学)を卒業後、広告会社勤務を経てイラストレーターとして独立。『世相あぶり出し』での風刺漫画や、野坂昭如の連載小説『エロトピア』の挿絵で注目され、1970年講談社出版文化賞、71年文芸春秋漫画賞を受賞した。76年

から週刊朝日に連載した『山藤章二のブラック・アングル』は時の人の似顔絵や社会風刺を独自のタッチで描いて好評を博し、最終ページに掲載されたことから「週刊朝日を後ろから開かせる男」とも言われた。83年菊池寛賞、2004年紫綬褒章。

【10月】

●**村上達朗** ボイルドエッグ代表取締役。10月2日、肺がんのため死去。71歳。出版社に勤務後、1999年に著作権エージェント「ボイルドエッグ」の業務を開始。三浦しをん、万城目学ら人気作家をデビューさせた。文学新人賞も創設し、受賞作を刊行する出版社を入札で選ぶ仕組みも取り入れた。

●**ミシェル・ブラン** 仏・俳優。10月4日、死去。72歳。1978年に大ヒットしたパトリス・ルコント監督『レ・ブロンゼ 日焼けした連中』に出演、86年『タキシード』でカンヌ国際映画祭男優賞を受賞したほか、89年『仕立て屋の恋』で人間嫌いの男が初めて人を好きになっていく姿を好演した。

●**服部幸徳** 料理研究家、料理評論家。10月5日、死去。78歳。1977年に調理師や栄養士を育成する「服部栄養専門学校」校長に就任。後進の育成のほか、農林水産省の食育推進会議の委員も務め、2005年食育基本法の成立にも尽力した。一方でテレビ番組『料理の鉄人』に出演し人気を集めた。15年に仏料理を日本に普及させたとして仏政府からレジオン・ドヌール勲章シュバリエを受けた。20年旭日小綬章。

●**白井佳夫** 映画評論家。10月5日、虚血性心疾患のため死去。92歳。大学卒業後にキネマ旬報社に入社。映画誌『キネマ旬報』の編集長を経て映画評論家として活躍。著書に対談集『銀幕の大スタアたちの微笑』など。2004年に文化庁映画賞映画功労部門を受賞した。

●**三上大樹** テレビ朝日アナウンサー。10月5日、病気のため死去。38歳。2009年にテレビ朝日に入社し、プロ野球中継などスポーツ関連の番組を担当した。

●**金原亭馬遊** 落語家。10月9日、脳室内出血のため死去。58歳。1989年に金原亭伯楽に入門し前座名は「桂太」。92年に二ツ目、2001年に真打に昇進し「馬遊」と改名した。得意ネタは

『鮑のし』『干物箱』『試し酒』『柳田格之進』『大工調べ』など。

●**中川李枝子** 児童文学者。10月14日、老衰のため死去。89歳。絵本「ぐりとぐら」シリーズのほか、『そらいろのたね』『いやいやえん』など親しみやすいストーリーと、妹・山脇百合子の描く愛らしい絵で人気を集めた。

●**村瀬継蔵** 美術造形家。10月14日、非代償性肝硬変のため死去。89歳。1958年から東宝株式会社の映画作品に参加。同年『モスラ』、62年『キングコング対ゴジラ』などの造形助手として活躍。その後独立し、『超人バロム・1』『ウルトラマンA』『人造人間キカイダー』などを手がけた。テレビや映画以外にもCM映像や舞台造形・美術など幅広く活躍、2021年度文化庁映画賞映画功労部門、24年第47回日本アカデミー賞協会特別賞を受賞。

●**西田敏行** 俳優。10月17日、死去。76歳。1970年に劇団青年座に入団し、同年『情痴』で初舞台。71年『写楽考』で初主演を務める。以降、舞台やテレビ、映画などに多数出演。ミュージカル『屋根の上のヴァイオリン弾き』では94、96、98、2001年にテヴィエを務めたほか、78年『セチュアンの善人』、90年『からゆきさん』、95年『つくづく赤い風車—小林一茶—』、99年『リセット』などに出演した。またNHK大河ドラマ『翔ぶが如く』で西郷隆盛、『八代将軍 吉宗』で徳川吉宗を演じたほか、ドラマ『池中玄太80キロ』に主演、映画では『釣りバカ日誌』シリーズのハマちゃん役で人気を集めるなど、人間味あふれる役から暴力的な悪役まで幅広く演じる俳優として活躍した。また歌手としても『もしもピアノが弾けたなら』が大ヒットし、紅白歌合戦に出場した。

●**高階秀爾** 美術史家。10月17日、心不全のため死去。92歳。東京大学大学院に在学中の1954年に仏政府祥平給費留学生として渡仏し、パリ大学付属美術研究所で美術を学ぶ。帰国後、国立西洋美術館や東京大学勤務を経て、92～2000年まで同館館長を務め、その後岡山・大原美術館館長も務めた。著述や翻訳を多くてがけ、72年『ルネッサンスの光と闇』で芸術選奨文部大臣賞、00年紫綬褒章、05年文化功労者、12年文化勲章。長年に渡る日仏文化交流の促進功績から仏政府から芸術文化勲章オフィシ

エ、レジオン・ドヌール勲章シュバリエなどを受けた。

●**太田武雄** 元大関旭国、元大島親方。10月22日、病気のため死去。77歳。1963年名古屋場所です初土俵を踏み、69年名古屋場所です新入幕。しぶとく食い下がる取り口と、研究熱心な姿勢から「ピラニア」「相撲博士」と称された。76年春場所後に大関に昇進し、79年秋場所で現役を引退。幕内に通算54場所在位して技能賞6回、敢闘賞を1回受賞した。80年に立浪部屋から独立して大島部屋を興し、横綱旭富士ら10人の関取を育成、モンゴルから初めてスカウトした旭鷲山や旭天鵬らを育て、モンゴル人力士の隆盛の礎を築いた。

●**せなけいこ** 絵本作家。10月23日、老衰のため死去。92歳。1969年「いやだいやだの絵本」4冊シリーズでデビュー。貼り絵を使ったユーモアと温かみあふれる作風が特徴で、同シリーズ『ねないこだれだ』は世代を超えて読み継がれる代表作となった。

●**椋図かずお** 漫画家。10月28日、胃がんのため死去。88歳。高校3年生だった1955年に『森の兄妹』(水谷武子・合作)でデビュー。65年に講談社『少女フレンド』に掲載した『ママがこわい』『まだらの少女』などの「へび女シリーズ」などがヒットし、ホラー漫画家としての名声を高めた。その後『おろち』のほか、小説や映画にもなった『漂流教室』、76年からは幼稚園児が主人公の『まことちゃん』を発表。主人公が独特な指のサインと共に叫ぶ「ぐわし」が流行した。同名ミュージカルの原作にもなった『わたしは真悟』で2018年仏・アングレーム国際漫画祭「遺産賞」を受賞したほか、2019年文化庁長官表彰、23年手塚治虫文化賞特別賞。一方で赤白のボーダーシャツがトレードマークで、明るいキャラクターがテレビでも親しまれ、歌手としてアルバムを発表するなどマルチタレントとしても活躍した。

●**滝大作** 脚本家。10月31日、死去。91歳。1959年にNHKに入局。芸能局ディレクターとして『お笑いオンステージ』などを担当。萩本欽一と坂上二郎の「コント55号」の仕掛け人として知られる。77年には赤塚不二夫、高平哲郎、タモリと共に「面白グループ」を結成。4人の共著『SONO SONO』は大ヒットした。84年の退

局後は民放各局のバラエティー番組や舞台の脚本・演出などで活躍。95年に伊東四朗が座長を務めるNHK『コメディーお江戸でござる』の脚本を手がけるなど、多くの人気番組を生み出した。

【11月】

●**米川文子** 生田流箏曲家。11月1日、慢性心不全のため死去。98歳。叔母の初代・米川文子に入門し養子に。1999年に二代目を襲名、2008年には重要無形文化財(人間国宝)に認定された。

●**上村淳之** 日本画家。11月1日、老衰のため死去。91歳。日本画家・上村松篁の長男、祖母は美人画で知られる上村松園。2010年に完成した平城宮跡の大極伝復元プロジェクトに参加し、殿内の壁画を手がけた。京都市立芸術大学副学長、京都市学校歴史博物館長を歴任。2013年文化功労者、20年旭日中綬章、22年には松園・松篁に続く親子三代での文化勲章を受章した。

●**西尾幹二** 評論家。11月1日、老衰のため死去。89歳。ニーチェやショーペンハウアーといった19世紀ドイツ思想史研究の第一人者として知られた。また三島由紀夫らとも親交を深め、文芸評論家としても活動。産経新聞「正論」メンバーで、著書に『ヨーロッパ像の転換』『異なる悲劇 日本とドイツ』『国民の歴史』など。2027年瑞宝中綬章。

●**クインシー・ジョーンズ** 音楽プロデューサー。11月3日、死去。91歳。ジャズ・トランペット奏者や編曲者を経て音楽プロデューサーとして活躍。マイケル・ジャクソンの大ヒットアルバム『スリラー』ほかマイケルのアルバムを手がけたほか、米スター歌手らによるチャリティーソング『ウィー・アー・ザ・ワールド』、フランク・シナトラほか数々の大物ミュージシャンの音楽活動に携わった。3回の最優秀プロデューサー賞をはじめ、米・グラミー賞を多数獲得。2011年には米政府が芸術分野で活躍した個人等に送る最高の荣誉・芸術勲章が授与された。

●**長田暁二** 音楽文化研究家。11月4日、急性呼吸不全のため死去。94歳。大学卒業後、キングレコードでディレクターとして童謡や歌謡曲

などの企画・制作を担当。ボニージャックス『小さい秋みつけた』、倍賞千恵子『下町の太陽』など。1980年頃から日本の大衆音楽の研究や評論活動に取り組む。著書に『流行歌20世紀』『戦争が遺した歌』『日本民謡事典(共著)』など。

●**喜多道枝** 俳優、声優。11月6日、死去。89歳。多くのテレビドラマや映画などに出演したほか、声優としても活躍。アニメ『リボンの騎士』フランツ王子、『フランダースの犬』主人公ネロ役などで知られた。

●**吉田蓑助** 人形浄瑠璃文楽・人形遣い。11月7日、死去。91歳。父は桐竹紋太郎。1940年に6歳で三代目吉田文五郎に入門、42年に桐竹紋二郎を名乗り、48年に二代目桐竹紋十郎門下に。61年三代目吉田蓑助を襲名した。『曽根崎心中』お初、『本朝廿四孝』八重垣姫などで高い評価を獲得。華麗な振りや情感溢れる表現で、女方の第一人者として活躍した。94年重要無形文化財(人間国宝)、96年紫綬褒章、2009年文化功労者、12年日本芸術院会員。

●**鈴木道彦** 仏文学者。11月11日、慢性心不全のため死去。95歳。1996年からマルセル・ブルースト『失われた時を求めて』全13巻の個人全訳の刊行を始め、2001年に完結。02年読売文学賞を受賞。10年にはサルトルの代表作『嘔吐』の新訳を出版、正確で明快な訳文が高く評価された。

●**谷川俊太郎** 詩人。11月13日、老衰のため死去。92歳。哲学者・谷川徹三の長男として生まれ10代から詩作を始める。1952年に第1詩集『二十億光年の孤独』を刊行。鋭い感受性と深遠な世界観、かつ戦争体験が倫理的なテーマに捉えられ、戦後詩の新人として注目を集めた。93年『世間知らず』で萩原朔太郎賞、2010年『トロムソコラージュ』で鮎川信夫賞、16年『詩に就いて』で三好達治祥を受賞。『わらべうた』『よしないうた』などでひらがなの可能性を追求。米・絵本『スイミー』や漫画『ピーナッツ』なども翻訳し、子どもたちにも広く受け入れられた。一方、62年に『月火水木金土のうた』で日本レコード大賞作詞賞を受賞、アニメ『鉄腕アトム』の主題歌も手がけた。

●**高橋秀実** ノンフィクション作家。11月13日、胃がんのため死去。62歳。大学卒業後、テレビ番組制作会社勤務を経てノンフィクション

作家に。スポーツ、外国人労働者、原発、米軍基地など取材テーマは多岐に渡り、自身が水泳に挑んだ経験を記したエッセイ『はい、泳げません』は映画化、『『弱くても勝てます』開成高校野球部のセオリー』はドラマ化された。

●**火野正平** 俳優。11月14日、死去。75歳。1961年に劇団こまどりに入団し子役として活躍。73年のNHK大河ドラマ『国盗り物語』で豊臣秀吉役を演じ一躍注目を浴び、74年の映画『俺の血は他人の血』に主演。その後、テレビ時代劇『必殺』シリーズ、『長七郎江戸日記』などに出演したほか、NHK連続テレビ小説『芋たこなんきん』など、数々のドラマや映画に出演し、個性溢れる演技で人気を集めた。またNHK-BSの旅番組『いっぱい横断 ころろ旅』で14年間に渡り“旅人”として出演。視聴者からの手紙に書かれた日本各地の思い出の場所を自転車に乗ってめぐるので、手紙に込められた想いに寄り添う味わい深い語り口と飾らない人柄が親しまれていた。

●**三笠宮妃百合子** 11月15日、老衰のため死去。101歳。1923年6月4日、子爵・高木正得の次女として誕生。女子学習院本科を卒業後の1941年10月、昭和天皇の末弟、三笠宮崇仁と結婚した。1948年から60年以上の間、恩賜財団母子愛育会の総裁を務め、母子保健の向上に尽くしたほか、日本赤十字社名誉副総裁も務めた。明治以降の皇室では最高齢だった。

●**高橋真琴** 漫画家、少女画家。11月17日、死去。90歳。貸本漫画でデビュー後、雑誌『少女』にカラー連載『あらしをこえて』などを発表。以後『なかよし』『マーガレット』『よいこ』など雑誌の表紙や口絵などを描いたほか、布製品や文房具などで数多くの少女画を手がけた。近年はアパレルブランド「コム デ ギャルソン」「アナスイ」などのコレクションに少女画が起用され大きな話題を集めた。

●**堀岡子** 声優。11月18日、老衰のため死去。89歳。アニメ『忍者ハットリくん』ハットリカンゾウ、『新オバケのQ太郎』Q太郎など、藤子不二雄作品で主人公を演じ人気を博した。他に『ムーミン』ミイなど。一方で児童文学作家・山本真理子の『広島母たち』を脚本化した一人芝居『朝ちゃん』を1989年から30年近く上演し、原爆の悲惨さを伝え続けた。

●**柏原満** 音響効果技師。11月18日、死去。91歳。大学卒業後、アオイスタジオに入社し、大野松雄や大橋鉄矢とともに『鉄腕アトム』の音響効果に携わる。以降、映画『キタキツネ物語』、『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』『ドラえもん のび太の魔界大冒険』『オネアミスの翼 王立宇宙軍』『平成狸合戦ぽんぽこ』『宇宙戦艦ヤマト 復活篇 ディレクターズカット版』などのほか、テレビアニメ『サザエさん』『笑ウセえるすまん』などの音響効果を手がけた。

●**市川團藏** 歌舞伎俳優。11月19日、誤嚥性肺炎による敗血症性ショックのため死去。73歳。祖父は八代目市川團藏。1956年に『義経千本桜』六代君で初代市川銀之助を名乗り初舞台。その後は二代目尾上松緑に師事。87年に『時今也枯梗旗揚』武智光秀で九代目市川團藏を襲名。日本舞踊柏木流十代目宗家も兼ねる。「菊五郎劇団」の重鎮として、老け役から敵役まで幅広い役柄を演じて舞台を支えた。一方で国立劇場養成事業の歌舞伎俳優研修の講師を長年務め、後進の育成にも尽力した。

●**猪熊菜子** 児童文学研究者、翻訳家。11月19日、心不全のため死去。96歳。聖心女子大学大学院終了後に英・オックスフォード大学に留学し、『指輪物語』の作者J.R.R. トールキンに師事。帰国後、ローザマリ・サトクリフ作『太陽の戦士』、フィリパ・ピアス作『真夜中のパーティー』など数多くの児童文学作品の翻訳を手がけた。国際児童図書評議会副会長、日本国債児童図書評議会会長も務めた。

●**桂雀々** 落語家。11月20日、糖尿病からの肝不全のため死去。64歳。1977年に二代目桂文雀に入門、師匠譲りの芸で若手上方落語として注目されて関西で人気を不動のものにし、情報番組でも活躍。2011年から拠点を東京に移し、18年には東京・明治座と大阪・新歌舞伎座など大劇場で独演会を開催。芝居さながらの照明や舞台機構を駆使した「スーパー落語」で好評を博した。一方で役者としてテレビや映画でも活躍。20年の連続ドラマ『贋作 男はつらいよ』で主役の車寅次郎を演じた。

●**北の富士勝昭** 第52代横綱、相撲解説者。11月20日、死去。82歳。1957年初場所を出羽海部屋から初土俵を踏む。64年初場所で新入幕し13勝。66年名古屋場所後に新大関に昇進。67

年春場所で初優勝し、70年初場所後に横綱昇進を果たす。多彩な技遣いで優勝10回、74年名古屋場所で現役に幕を下ろした。引退後は年寄井筒を襲名。77年、元横綱千代の山の亡きあと九重部屋を継承、元横綱千代の富士や現八角理事長の北勝海らを育てた。

●**久里洋二** アニメ作家。11月24日、老衰のため死去。96歳。1958年に『久里洋二漫画集』で文芸春秋漫画賞を受賞、その後、アニメ制作を始め、実験的なアニメ作品で人気を博し、『人間動物園』はフランスのアヌシー国際アニメーション映画祭などでも高く評価された。64年からはテレビ『11PM』の短編アニメなどの制作のほか画家としても活躍。2011年旭日小綬章。

●**穂積和夫** 画家・イラストレーター。11月26日、多臓器不全のため死去。94歳。東北大学工学部建築学科を卒業後、『MEN'S CLUB』などのメンズファッションや自動車のイラストレーションで一世を風靡。いち早くアイビーファッションを取り入れ、80年に発刊された『絵本アイビーボーイ図鑑』『絵本アイビーギャル図鑑』で流行を生み出した。後年は建築知識を活かし、日本の伝統建築物のイラストなどで高く評価された。

●**山際永三** 映画監督。11月28日、老衰による敗血症のため死去。92歳。大学卒業後に株式会社新東宝に入社し、助監督を経て、1961年に藤木孝主演映画『狂熱の果て』で監督デビュー。以降、九重佑三子主演『コメットさん』などのテレビ作品を主に手がけ、その後も『帰ってきたウルトラマン』『ウルトラマンタロウ』『日本沈没』などを監督した。

●**篠崎隆雄** 劇作家、演出家。11月に死去。78歳。『人情甘ったれ鬼』『金唐革裂目縫針』で国立劇場歌舞伎脚本入選、『深川永代戻り橋』で日本演劇興行協会脚本募集時代劇部門優秀賞を受賞。戯曲集『お化けの恋の物語』『ラクーン協奏曲』を刊行。歌舞伎学会会員。ステージの会会員。

【12月】

●**中平穂積** 写真家。12月1日、病気のため死去。88歳。1961年にジャズドラマーのアート・ブレイキーの初来日公演を撮影して写真家に。同年、東京・新宿にジャズ喫茶「DIG」、67年に

ジャズバー「DUG」を開店した。その後もマイルス・デイビス、ジョン・コルトレンなど著名なジャズミュージシャンを撮影した。

●**岡田正代** 脚本家。12月2日、誤嚥性肺炎のため死去。90歳。テレビドラマの脚本を数多く手がけたほか、映画の代表作に『阿寒の果て』など。川喜多記念映画文化財団代表理事も務めた。

●**小中陽太郎** 作家。12月3日、老衰のため死去。90歳。大学卒業後にNHKに入局し、番組制作に携わる。1964年の退局後はフリーライターとしてルポルタージュや評論などを執筆。代表作に『ベトナムに平和を！市民連合』『翔べよ源内』など。

●**中山美穂** 俳優、歌手。12月6日、入浴中の不慮の事故により死去。54歳。1982年に東京・原宿でスカウトされて芸能界入り。85年のテレビドラマ『毎度おさわがせします』で俳優デビュー、同年『C』で歌手デビューし、「ミポリン」の愛称で一躍トップアイドルに。以後、数々のドラマや映画に主演し人気を不動のものにした。92年にWANDS・上杉昇とのデュエット曲『世界中の誰よりきっと』が大ヒット、NHK紅白歌合戦に7年連続で出場した。95年の映画『Love Letter』で各賞を総なめにし、97年『東京日和』では日本アカデミー賞優秀主演女優賞を受賞。一方で近年は舞台でも活躍。『魔術』『葵上 弱法師〜近代能楽集』『西遊記』などに出演した。

●**鴻英良** 演劇研究者。12月6日、虚血性心疾患のため死去。76歳。東京工業大学理工学部卒業、東京大学大学院修士課程ロシア文学専攻終了。専門はロシア芸術思想。ウォーカー・アート・センター・グローバル委員、国際演劇祭ラオコオン芸術監督、京造形芸術大学舞台芸術研究センター副所長を歴任。『シアターアーツ』『舞台芸術』など数々の演劇雑誌の編集長も務めた。著書に『二十世紀劇場—歴史としての芸術と世界』、翻訳にタルコフスキー『映像のポアジェ：刻印された時間』など。

●**小倉智昭** フリーキャスター。12月9日、膀胱がんのため死去。77歳。大学卒業後に東京12チャンネル(現：テレビ東京)に入社し、アナウンサーとして競馬中継の実況などで活躍。1976年にフリーとなり、TBS系『世界まるごと

HOWマッチ』のナレーションなど、巧みな話術で多くのテレビ番組やラジオで活躍した。99年から司会を務めた朝の情報番組『とくダネ!』では軽妙な語り口と歯に衣着せぬコメントで22年間に渡りお茶の間に親しまれた。

●**間宮芳生** 作曲家。12月11日、肺炎のため死去。95歳。東京音楽学校(現：東京藝術大学)在学中から日本の民謡を素材に曲作りを始め、1958年『合唱のためのコンポジション第1番』で毎日音楽賞を受賞。古典芸能を取り入れたオペラの作曲でも知られたほか、アニメ映画『火垂るの墓』やNHK大河ドラマ『竜馬がゆく』などの音楽も手がけた。

●**香川元太郎** イラストレーター。12月12日、心室細動のため死去。65歳。舞台美術職を経て全国各地の城の復元図などを緻密に描く「歴史考証イラストレーター」として活躍。世界の歴史や文明を遊びながら学べる「迷路絵本」シリーズは累計発行部数330万部のベストセラーとなった。

●**杉山弘** 演劇ジャーナリスト。12月19日、虚血性心不全のため死去。67歳。読売新聞社の記者、デスクとして長年に渡り劇評や読売演劇大賞の運営を担当。退社後は演劇誌『テアトロ』『join』などで原稿を執筆したほか、日本劇団協議会理事も務めた。共著に『芸談』など。日本演劇協会会員。

●**渡辺恒雄** 読売新聞グループ本社代表取締役主筆。12月19日、肺炎のため死去。98歳。東京大学卒業後、1950年に読売新聞社に入社。91年に代表取締役社長主筆に就任。政治部記者時代に築いた人脈を生かし、政財界にも大きな影響力を保持した。96年に読売巨人軍のオーナーに就いて以降、プロ野球の運営にも長く関与し、野球界にも存在感を示した。2008年旭日大綬章。

●**いわむらかずお** 絵本作家。12月19日、死去。85歳。1970年『ぷくぷくのえほん』でデビュー。野ネズミ大家族の日常を描いた『14ひきのあざごほん』で絵本にっぽん大賞、『14ひきのやまいも』で小学館絵画賞を受賞。同シリーズは欧州などでも翻訳出版され、2014年には仏・芸術文化勲章シュバリエを受章した。

●**加茂さくら** 俳優。12月21日、肺がんのため死去。87歳。1955年に宝塚歌劇団に入団。歌

唱力のある娘役として、雪組トップスター・真帆志ぶぎとのコンビで知られた。主な出演作に『花のオランダ坂』『クレオパトラ』など。71年に退団したあとは舞台のほか、映画やテレビでも活躍し、ワイドショー『3時のあなた』の司会も務めた。2014年には「宝塚歌劇の殿堂」に選出された。

●**名取幸政** 俳優。12月21日、胆のうがんのため死去。82歳。1963年に劇団青年座に入団。『ブンナよ、木からおいてこい』『フォーカード』など多くの作品に出演した。

●**森田拳次** 漫画家。12月23日、老衰のため死去。85歳。高校在学中に『拳銃都市』でデビュー後、児童向けギャグ漫画『丸出だめ夫』で人気を集めた。

●**リチャード・ペリー** 米・音楽プロデューサー。12月24日、心停止のため死去。82歳。60年代後半に音楽プロデューサーとして活動を始めた。カーリー・サイモンさんや音楽グループ「ポインター・シスターズ」など多くのアーティストの楽曲をプロデュースした。

●**鈴木修** スズキ相談役。12月25日、悪性リンパ腫のため死去。94歳。銀行に就職後、取引先だった鈴木自動車工業(現：スズキ)の2代目社長・鈴木俊三に見込まれ、1958年に鈴木自工に入社。1963年に取締役に就任し、常務と専務を歴任して78年、48歳で社長に就いた。軽自動車「アルト」の開発で徹底的なコストダウンを断行。79年、軽の新車が平均60万円台の時代に47万円で売り出して大ヒットさせるなど、軽市場の開拓を主導した。

●**冬木透** 作曲家。12月26日、誤嚥性肺炎のため死去。89歳。音楽大学で学んだ後、1956年にラジオ東京(現：TBS)に入社し、テレビドラマ『鞍馬天狗』で作曲家デビュー。61年退社後は『ウルトラセブン』など円谷プロの特撮シリーズの音楽を担当。同作主題歌や『帰ってきたウルトラマン』で「ワンダバ」という男性コーラスが印象的な防衛隊出撃時のテーマ曲などシリーズを代表する楽曲を生み出し、「ウルトラ音楽の父」と呼ばれた。またNHK連続テレビ小説『鳩子の海』の音楽も担当した。

●**オリビア・ハッセー** 俳優。12月27日、死去。73歳。1968年の映画『ロミオとジュリエット』で15歳でジュリエットを演じ脚光を浴び

る。その後『暗闇にベルが鳴る』『ナイル殺人事件』など数々の映画に出演。80年に歌手・布施明と結婚し一子をもうけたが89年に離婚した。

●**佐多達枝** 振付家、バレエダンサー。12月27日、老衰のため死去。92歳。母は作家・佐多稲子。4歳からバレエを始め、高田せい子、エリアナ・パヴロワらに師事。1954年に青年バレエグループ結成に参加、57年に夫・河内昭和とともにバレエスタジオを設立。79年からは「佐多達枝バレエリサイタル」として定期公演を開始。創作活動とともに後進の育成にも取り組み、国内外で活躍する優秀なダンサーを多数輩出した。主な作品に『ひかりごけ』『四谷スキャンダル』『踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ』『変身』『beach』『庭園』『カルミナ・プラーナ』『ヨハネ受難曲』など。93年芸術選奨文部大臣賞、96年紫綬褒章、2005年旭日小綬章。

●**戸谷真人** 元文化放送アナウンサー。12月27日、大腸がんのため死去。78歳。1969年に文化放送に入社。看板番組『ライオンズナイター』の実況をはじめ、相撲中継、五輪なども担当、情熱のある実況でファンに愛された。

●**柳瀬たかお** 芸人。12月27日、虚血性心疾患のため死去。49歳。1994年に漫才コンビ「騎兵隊」としてデビュー。ABCテレビ『クイズ！紳助くん』に出演、「なにわ突撃隊」メンバーとして出演したほか、映画『岸和田少年愚連隊』にも出演するなど、多彩な活躍を見せていた。

劇団・主催団体別 公演データ

－ 2024年1月～12月－

- ◆劇団・主催団体等アンケート調査データ…………… 435
- ◆主催団体別データ…………… 452

劇団・主催団体等アンケート調査データ (2024年1月～12月)

※当会アンケートにご回答いただいた団体のみ記載。五十音順・敬称略
 ※各団体末尾の公演データは「上演都道府県、国・地域 / 公演回数 / 動員数」の順に記載
 ※都道府県の並びは全国地方公共団体コードに準じる
 ※海外の国・地域名称は外務省 HP 「国・地域」に準じる

【あ行】

◆あ・うん♡ぐるーぷ 女歌舞伎劇団尚 メール / show@okabuki.com ホームページ / <https://www.okabuki.com> 代表 / さとうしょう 所属 / 11名

東京都 / 11回 / 2,604人

◆秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場 メール / info@seinengekijo.co.jp ホームページ / <https://www.seinengekijo.co.jp> 代表 / 北直樹 所属 / 98名

山形県 / 16回 / 14,584人

福島県 / 2回 / 204人

茨城県 / 1回 / 840人

栃木県 / 8回 / 4,354人

群馬県 / 2回 / 1,210人

埼玉県 / 2回 / 1,311人

千葉県 / 5回 / 2,021人

東京都 / 59回 / 14,096人

神奈川県 / 7回 / 2,615人

富山県 / 7回 / 3,110人

石川県 / 3回 / 3,333人

山梨県 / 1回 / 450人

長野県 / 7回 / 2,182人

岐阜県 / 2回 / 700人

静岡県 / 8回 / 3,426人

愛知県 / 10回 / 4,733人

三重県 / 2回 / 780人

京都府 / 1回 / 355人

徳島県 / 2回 / 850人

香川県 / 1回 / 456人

愛媛県 / 1回 / 360人

高知県 / 2回 / 807人

福岡県 / 7回 / 3,448人

長崎県 / 2回 / 547人

熊本県 / 4回 / 2,270人

大分県 / 2回 / 1,414人

鹿児島県 / 4回 / 3,404人

沖縄県 / 3回 / 1,328人

◆アマヤドリ メール / info@amayadori.co.jp ホームページ / <https://amayadori.co.jp> 代表 / 広田淳一 所属 / 25名

東京都 / 32回 / 3,050人 愛知県 / 3回 / 400人

◆あんがいおまる一座 メール / theater@sekitansouko.com ホームページ / <https://www.sekitansouko.com/geki-top.html> 代表 / あんがいおまる 所属 / 20名

大阪府 / 32回 / 1,000人

◆イキウメ メール / info@h-b.jp ホームページ / <https://www.ikiuume.jp> 代表 / 前川知大 所属 / 8名

東京都 / 25回 / 5,903人 大阪府 / 5回 / 1,190人

◆池の下 メール / ikenoshita@ac.auone-net.jp ホームページ / <https://www.ikenoshita.com> 代表 / 長野和文 所属 / 5名

東京都 / 4回 / 204人

◆NPO法人 祈りの芸術 TAICHI-KIKAKU メール / taichi-k@mub.biglobe.ne.jp ホームページ / taichi-kikaku.tokyo 代表 / オーハシヨースケ 所属 / 11名

福島県 / 1回 / 420人 東京都 / 2回 / 170人 中華人民共和国 / 2回 / 330人

◆いるか Hotel メール / irukahotel999@gmail.com ホームページ / <https://irukahtl.web.fc2.com/index.html> 代表 / 谷省吾 所属 / 4名

茨城県 / 4回 / 100人 兵庫県 / 6回 / 300人 香川県 / 6回 / 160人

◆一般社団法人 エーシーオー沖縄 メール / aco-g@acookinawa.com ホームページ

／ <https://www.acookinawa.com/> 代表／大城安恵 所属／10名

東京都/10回/900人 沖縄県/42回/3,000人

◆公益財団法人 江戸糸あやつり人形結城座 メール／ seisaku@youkiza.jp ホームページ／ <https://youkiza.jp/> 代表／田中克昌 所属／19名

東京都/15回/2,400人 愛知県/1回/100人

◆演劇集団小さな翼 メール／ chiisanatsubasa2001@ybb.ne.jp ホームページ／ <https://chiisanatsubasa200.wixsite.com/play> 代表／戸丸悟 所属／6名

東京都/7回/400人

◆演劇ユニット☆宇宙食堂 メール／ info@uchu-shokudo.com ホームページ／ <http://www.uchu-shokudo.com/> 代表／新井総 所属／8名

茨城県/1回/1,000人 東京都/15回/2,200人 神奈川県/1回/300人

◆OM-2 メール／ sigeo048@hotmail.com ホームページ／ <http://om-2.com> 代表／真壁茂夫 所属／9名

◆オペラシアターこんにゃく座 メール／ info@konnyakuza.com ホームページ／ <https://www.konnyakuza.com/> 代表／萩京子 所属／45名

岩手県/5回/2,182人

福島県/1回/130人

茨城県/3回/442人

栃木県/8回/4,179人

群馬県/4回/1,043人

埼玉県/7回/2,711人

千葉県/15回/7,026人

東京都/51回/13,330人

神奈川県/10回/2,307人

新潟県/1回/485人

富山県/7回/3,377人

石川県/2回/1,079人

山梨県/3回/823人

長野県/6回/1,860人

岐阜県/8回/5,405人

愛知県/21回/9,583人

三重県/3回/851人

滋賀県/4回/1,048人

京都府/9回/4,957人

大阪府/12回/2,691人

兵庫県/1回/294人

奈良県/1回/344人

和歌山県/2回/131人

島根県/2回/880人

岡山県/5回/2,446人

広島県/3回/2,249人

愛媛県/1回/312人

福岡県/4回/1,394人

佐賀県/3回/506人

長崎県/4回/840人

熊本県/12回/4,792人

宮崎県/2回/266人

◆音楽座ミュージカル(株式会社ヒューマンデザイン) メール／ info@ongakuza-musical.com ホームページ／ <https://ongakuza-musical.com> 代表／相川タロー 所属／42名

茨城県/4回/1,200人

栃木県/9回/5,162人

千葉県/3回/1,785人

東京都/40回/16,081人

神奈川県/3回/3,342人

山梨県/5回/1,072人

愛知県/4回/4,542人

京都府/3回/704人

大阪府/7回/3,317人

奈良県/5回/414人

和歌山県/2回/372人

広島県/4回/4,010人

【か行】

◆かしわ市民劇場 CoTiK メール／ kashiwa.cotik@gmail.com ホームページ／ <https://cotik.org/> 代表／中尾太郎 所属／17名

千葉県/5回/310人

◆加藤健一事務所 ホームページ／ <http://katoken.la.coocan.jp/> 代表／加藤健一 所属／5名

東京都/30回/7,974人

神奈川県/2回/1,010人

京都府/2回/851人

大阪府/1回/674人

兵庫県/3回/2,078人

奈良県/2回/813人

和歌山県/3回/1,570人

徳島県/2回/1,110人

香川県/1回/566人

愛媛県 /1回 /506人 高知県 /2回 /951人

◆**株式会社劇団マエカブ** メール / info@artfit.co.jp ホームページ / http://www.maekabu.com/ 代表 / 岡田敬弘 所属 / 11名

香川県 /12回 /1,000人

◆**カムカムミニキーナ** メール / ccm@3297.jp ホームページ / https://www.3297.jp/ 代表 / 松村武 所属 / 16名

東京都 /30回 /3,859人 大阪府 /12回 /1,083人 奈良県 /6回 /311人

◆**有限会社神田時来組(劇団時来組)** メール / tokigumi2000@yahoo.co.jp ホームページ / https://lit.link/tokigumi 代表 / 泉堅太郎 所属 / 10名

東京都 /20回 /1,751人

◆**クラアク芸術堂** メール / clark.artcompany@gmail.com ホームページ / https://www.clark-artcompany.com/ 代表 / 小佐部明広 所属 / 11名

◆**劇団蒼い群** メール / jirochan_m@docomo.ne.jp 代表 / 福本幸男 所属 / 7名

神奈川県 /4回 /366人

◆**劇団あしぶえ** メール / ashibue@ashibue.jp ホームページ / https://www.ashibue.jp/ 代表 / 園山土筆 所属 / 12名

島根県 /4回 /521人

◆**劇団石** メール / horikiyo1950@gmail.com ホームページ / https://ishiweb.nomaki.jp 代表 / 堀田清 所属 / 12名

熊本県 /3回 /1,600人

◆**劇団「隕石のかげら」** メール / info@inseki-kakera.jp ホームページ / http://inseki-kakera.jp/ 代表 / 布宮和明 所属 / 28名

福島県 /3回 /220人 東京都 /1回 /30人

◆**劇団往来** メール / prd@ourai.co.jp ホームページ / https://www.gekidanourai.com/ 代表 / 要冷蔵 所属 / 30名

埼玉県 /5回 /2,600人 大阪府 /22回 /2,818人 奈良県 /10回 /150人

◆**劇団大阪** メール / g.osaka103@gmail.com ホームページ / https://g-osaka.jimdofree.com 代表 / 山内佳子 所属 / 22名

大阪府 /15回 /1,018人

◆**劇団大阪新撰組** メール / guliverbros@gmail.com ホームページ / https://plaza.rakuten.co.jp/osakashinsengumi/ 代表 / 南田吉信 所属 / 4名

大阪府 /11回 /220人

◆**劇団解体社** メール / gekidan@kaitaisha.com ホームページ / http://www.kaitaisha.com/ 代表 / 清水信臣 所属 / 10名

東京都 /8回 /200人

◆**有限会社 劇団かかし座** メール / info@kakashiza.co.jp ホームページ / https://www.kakashiza.co.jp 代表 / 後藤圭 所属 / 23名

北海道 /2回 /362人

青森県 /2回 /829人

岩手県 /1回 /534人

宮城県 /4回 /2,097人

山形県 /3回 /273人

福島県 /5回 /1,032人

茨城県 /16回 /4,358人

栃木県 /10回 /2,037人

群馬県 /10回 /1,554人

埼玉県 /13回 /2,815人

千葉県 /42回 /8,595人

東京都 /87回 /13,884人

神奈川県 /107回 /18,720人

新潟県 /2回 /685人

富山県 /1回 /282人

福井県 /1回 /550人

山梨県 /4回 /450人

長野県 /8回 /2,107人

岐阜県 /5回 /802人

静岡県 /12回 /2,345人

愛知県 /16回 /3,666人

三重県 /5回 /1,164人
 大阪府 /32回 /7,612人
 和歌山県 /1回 /260人
 広島県 /13回 /3,636人
 香川県 /1回 /291人
 熊本県 /1回 /163人

滋賀県 /4回 /1,055人
 兵庫県 /6回 /1,873人
 鳥取県 /4回 /662人
 山口県 /2回 /537人
 高知県 /2回 /740人
 宮崎県 /1回 /568人

京都府 /4回 /792人
 奈良県 /6回 /1,862人
 岡山県 /3回 /709人
 徳島県 /2回 /470人
 福岡県 /10回 /3,564人
 カタール国 /1回 /300人

◆**有限会社 劇団風の子** メール / tokyo@kazenoko.co.jp ホームページ / <https://www.kazenoko.co.jp> 代表 / 菅原武人 所属 / 19名

北海道 /11回 /1,021人
 秋田県 /1回 /60人
 栃木県 /11回 /1,570人
 千葉県 /43回 /6,286人
 新潟県 /3回 /612人
 長野県 /52回 /7,350人
 三重県 /2回 /379人
 広島県 /7回 /715人
 長崎県 /5回 /498人

青森県 /1回 /126人
 山形県 /1回 /50人
 群馬県 /17回 /1,571人
 東京都 /219回 /34,742人
 石川県 /5回 /421人
 岐阜県 /7回 /864人
 島根県 /2回 /211人
 山口県 /1回 /90人
 宮崎県 /1回 /18人

岩手県 /1回 /100人
 福島県 /15回 /1,630人
 埼玉県 /58回 /8,141人
 神奈川県 /69回 /14,243人
 山梨県 /35回 /6,661人
 静岡県 /4回 /412人
 岡山県 /2回 /243人
 福岡県 /6回 /764人
 鹿児島県 /3回 /56人

◆**劇団風の子関西** メール / kazenoko-kansai@k5.dion.ne.jp ホームページ / <https://www.kazenokokansai.com/> 代表 / 市川一通

北海道 /38回 /4,624人
 秋田県 /1回 /203人
 新潟県 /1回 /72人
 京都府 /17回 /2,667人
 岡山県 /39回 /7,306人
 佐賀県 /2回 /158人

青森県 /8回 /1,457人
 福島県 /5回 /651人
 岐阜県 /1回 /162人
 兵庫県 /14回 /3,233人
 広島県 /5回 /520人

岩手県 /5回 /1,172人
 栃木県 /2回 /143人
 滋賀県 /5回 /478人
 島根県 /1回 /82人
 福岡県 /1回 /138人

◆**劇団風の子九州** メール / info@kazenoko-kyushu.or.jp ホームページ / <https://www.kazenoko-kyushu.com/> 代表 / 仮屋祐一 所属 / 18名

東京都 /1回 /80人
 岐阜県 /13回 /1,329人
 三重県 /1回 /112人
 鳥取県 /1回 /80人
 広島県 /41回 /6,875人
 福岡県 /203回 /36,492人
 熊本県 /26回 /4,090人
 沖縄県 /14回 /1,318人

神奈川県 /1回 /300人
 静岡県 /10回 /1,364人
 滋賀県 /1回 /160人
 島根県 /21回 /3,067人
 山口県 /11回 /2,484人
 佐賀県 /4回 /372人
 大分県 /5回 /755人

富山県 /11回 /1,827人
 愛知県 /26回 /5,001人
 大阪府 /2回 /50人
 岡山県 /6回 /978人
 香川県 /1回 /162人
 長崎県 /13回 /1,952人
 鹿児島県 /62回 /8,869人

◆**有限会社 劇団風の子北海道** メール / kazenoko-hokkaido@remus.dti.ne.jp ホームページ / <https://www.kazenoko-hokkaido.com/> 代表 / 植村直己 所属 / 9名

北海道 /232回 /22,287人
 宮城県 /12回 /1,922人
 福島県 /31回 /2,788人
 岡山県 /2回 /637人

青森県 /21回 /1,761人
 秋田県 /25回 /3,001人
 栃木県 /1回 /160人
 和歌山県 /3回 /602人

岩手県 /4回 /279人
 山形県 /9回 /788人
 京都府 /8回 /1,746人

◆**劇団河童座** メール / gekidankappaza@outlook.jp ホームページ / <https://gekidankappaza1951.wixsite.com/henokappa> 代表 / 横田和弘 所属 / 30名
 神奈川県 /7回 /450人

◆**劇団かに座** メール／h.baba@showa-sc.com ホームページ／<https://kaniza.cloudfree.jp/live126.html> 代表／馬場彦彦 所属／20名

神奈川県 / 5回 / 580人

◆**劇団きらら** メール／gkirara@jcom.zaq.ne.jp ホームページ／<http://www.gkirara.com/> 代表／池田美樹 所属／5名

東京都 / 8回 / 157人 長崎県 / 2回 / 230人 熊本県 / 22回 / 2,217人

宮崎県 / 3回 / 81人

◆**一般社団法人 劇団キンダースペース** メール／post@kinder-space.com ホームページ／<http://www.kinder-space.com/> 代表／原田一樹 所属／18名

埼玉県 / 19回 / 521人 東京都 / 7回 / 649人

◆**一般社団法人 劇団黒テント** メール／btt@japan.email.ne.jp ホームページ／<https://btt-tokyo.amebaownd.com/> 代表／宮崎恵治 所属／20名

◆**劇団群馬中芸** メール／gunmachugei@knd.biglobe.ne.jp ホームページ／<https://www.gunmachugei.com> 代表／石川祥子 所属／9名

茨城県 / 1回 / 340人 群馬県 / 17回 / 2,070人 埼玉県 / 2回 / 540人

鹿児島県 / 6回 / 1,570人

◆**劇団航海記** メール／gekidan.kohkaiki@gmail.com ホームページ／<https://kohkaiki.wixsite.com/kohkaiki> 代表／紺野鷹志 所属／12名

宮城県 / 5回 / 168人

◆**一般社団法人 劇団コーロ** メール／info@koooro.org ホームページ／<https://koooro.org/> 代表／澳利子 所属／4名

山形県 / 4回 / 1,950人 長野県 / 1回 / 219人 岐阜県 / 1回 / 1,000人

愛知県 / 2回 / 1,250人 京都府 / 3回 / 725人 大阪府 / 23回 / 6,995人

兵庫県 / 1回 / 200人 奈良県 / 2回 / 730人 島根県 / 1回 / 230人

岡山県 / 5回 / 622人 広島県 / 3回 / 1,070人 山口県 / 1回 / 150人

◆**劇団五期会** メール／gokikai6458@yahoo.ne.jp ホームページ／<https://gokikai.net/> 代表／尾崎磨基 所属／20名

大阪府 / 4回 / 558人

◆**劇団こまつ座** メール／seisaku@komatsuza.co.jp ホームページ／<https://komatsuza.co.jp> 代表／井上麻矢 所属／11名

岩手県 / 1回 / 500人 宮城県 / 1回 / 1,200人 山形県 / 2回 / 2,200人

群馬県 / 1回 / 370人 埼玉県 / 1回 / 500人 東京都 / 85回 / 34,100人

富山県 / 1回 / 600人 愛知県 / 6回 / 4,600人 大阪府 / 14回 / 16,500人

兵庫県 / 2回 / 1,600人 福岡県 / 2回 / 2,100人 佐賀県 / 2回 / 1,000人

長崎県 / 7回 / 5,200人 沖縄県 / 3回 / 1,700人

◆**劇団棧敷童子** メール／sajiki.douji.1999@gmail.com ホームページ／<http://www.sajikidouji.com> 代表／東憲司 所属／17名

東京都 / 29回 / 3,600人

◆**劇団☆新感線** メール／ida@village-inc.jp ホームページ／<http://www.vi-shinkansen.co.jp/> 代表／いのうえひでのり 所属／22名

東京都 / 50回 / 67,800人 大阪府 / 17回 / 44,200人 福岡県 / 30回 / 40,600人

◆**劇団新波** メール／info@shinpa.com ホームページ／<https://shinpa.com> 代表／加藤孝明 所属／10名

山口県 / 2回 / 200人

◆劇団スーパー・エキセントリック・シアター メール／info@set1979.com ホームページ／<https://www.set1979.com/> 代表／三宅裕司 所属／60名

東京都/12回/8,700人

◆劇団スタジオライフ メール／studio-life@studio-life.com ホームページ／<http://www.studio-life.com/> 代表／藤原啓児 所属／36名

東京都/34回/2,500人

◆劇団昴 メール／subaru@theatercompany-subaru.com ホームページ／<http://www.theatercompany-subaru.com> 代表／荒川秀樹 所属／109名

埼玉県/2回/913人 千葉県/7回/4,293人 東京都/38回/6,068人

◆劇団青春座 メール／gekidanseishunza@gmail.com ホームページ／<http://www.seishunza.com/> 代表／和田正人 所属／44名

福岡県/6回/2,200人

◆劇団生命座 メール／seimeiza24polaris@ybb.ne.jp ホームページ／<http://www.seimeiza.net/> 代表／鷹青由加子 所属／20名

埼玉県/2回/408人

◆一般社団法人 劇団前進座 メール／tokyo@zenshinza.com ホームページ／<http://www.zenshinza.com> 代表／寺田克己

北海道/5回/2,300人

岩手県/1回/338人

宮城県/1回/1,100人

茨城県/1回/563人

群馬県/2回/574人

埼玉県/3回/1,128人

千葉県/1回/2,846人

東京都/34回/15,350人

奈川県/11回/4,729人

新潟県/2回/2,000人

富山県/9回/5,532人

石川県/10回/4,743人

福井県/1回/1,000人

長野県/8回/3,646人

岐阜県/4回/1,000人

静岡県/12回/4,392人

愛知県/20回/9,703人

三重県/3回/1,175人

滋賀県/2回/760人

京都府/53回/11,239人

大阪府/15回/6,021人

兵庫県/3回/1,750人

奈良県/2回/800人

和歌山県/3回/2,110人

島根県/1回/500人

広島県/4回/3,400人

山口県/6回/3,730人

福岡県/21回/11,116人

佐賀県/3回/1,600人

長崎県/7回/4,234人

熊本県/7回/3,675人

大分県/7回/4,515人

宮崎県/4回/3,040人

鹿児島県/4回/1,770人

◆劇団太陽族 メール／gekidantaiyozoku@gmail.com ホームページ／<https://www.ne.jp/asahi/gekidan/taiyozoku/> 代表／岩崎正裕 所属／9名

大阪府/11回/504人 兵庫県/4回/218人 長崎県/2回/54人

◆公益社団法人教育演劇研究協会 劇団たんぽぽ メール／tanpopo@gekidan-tanpopo.com ホームページ／<http://www.gekidan-tanpopo.com/> 代表／村岡由美子 所属／31名

北海道/6回/1,143人

福島県/6回/891人

茨城県/6回/3,300人

栃木県/3回/349人

群馬県/2回/474人

埼玉県/11回/3,063人

東京都/1回/146人

神奈川県/10回/3,485人

新潟県/93回/27,051人

山梨県/6回/1,314人

長野県/13回/3,587人

静岡県/236回/60,460人

愛知県/7回/1,804人

長崎県/9回/2,348人

宮崎県/2回/178人

鹿児島県/3回/931人

沖縄県/9回/2,188人

◆劇団チャリT企画 メール／contact@chari-t.com ホームページ／<https://www.chari-t.com/> 代表／梶原拓 所属／9名

東京都/13回/1,379人

◆**劇団チョコレートケーキ** メール／info@geki-choco.com ホームページ／<https://www.geki-choco.com/> 代表／日澤雄介 所属／6名

北海道/6回/2,200人 東京都/27回/3,400人 神奈川県/1回/230人

◆**有限会社 劇団角笛** メール／info@tsunobue.co.jp ホームページ／<http://tsunobue.co.jp> 代表／白石武士 所属／11名

青森県/3回/1,742人	茨城県/1回/401人	栃木県/1回/327人
群馬県/1回/407人	埼玉県/3回/1,049人	千葉県/1回/467人
東京都/8回/5,923人	富山県/3回/1,156人	石川県/2回/1,454人
長野県/1回/600人	岐阜県/1回/495人	静岡県/5回/3,418人
愛知県/8回/4,771人	三重県/3回/1,222人	兵庫県/3回/1,339人
岡山県/5回/2,164人	山口県/5回/2,391人	滋賀県/5回/1,650人
大阪府/4回/769人	奈良県/3回/902人	鳥取県/2回/930人
広島県/4回/1,539人	愛媛県/10回/5,060人	高知県/1回/229人
福岡県/7回/4,000人	佐賀県/2回/999人	長崎県/2回/1,474人
熊本県/2回/970人	大分県/3回/1,154人	宮崎県/1回/278人

◆**一般社団法人 劇団弦巻楽団** メール／info@tsurumaki-gakudan.com ホームページ／<https://tsurumaki-gakudan.com/> 代表／弦巻啓太 所属／12名

北海道/14回/1,015人 沖縄県/2回/60人

◆**劇団天八** メール／info@tenpachi.jp ホームページ／<http://www.tenpachi.jp/> 代表／三宅久子 所属／2名

滋賀県/1回/540人 大阪府/1回/330人

◆**一般社団法人 劇団道化座** メール／dougeza@kcc.zaq.ne.jp ホームページ／<https://www.dougeza.com/> 代表／渡邊晶子 所属／13名

長野県/9回/3,117人

◆**株式会社 劇団東俳** メール／senden@g-tohai.co.jp ホームページ／<https://g-tohai.co.jp/> 代表／落合千代子

東京都/47回/3,800人 大阪府/7回/1,000人

◆**劇団トマト座** メール／info@tomatoza.jp ホームページ／<https://tomatoza.jp> 代表／伊東智恵美 所属／25名

北海道/8回/2,743人	青森県/5回/1,302人	岩手県/1回/367人
秋田県/1回/130人	山形県/3回/1,600人	福島県/13回/3,259人
茨城県/5回/1,507人	栃木県/2回/249人	群馬県/1回/22人
埼玉県/4回/1,623人	東京都/18回/4,691人	神奈川県/9回/2,472人
新潟県/27回/7,690人	富山県/2回/531人	長野県/13回/3,371人
岐阜県/4回/1,056人	愛知県/7回/2,122人	三重県/1回/263人
京都府/1回/320人	大阪府/5回/1,696人	兵庫県/1回/296人
岡山県/7回/2,265人	広島県/6回/1,835人	山口県/31回/7,430人
徳島県/1回/540人	福岡県/10回/4,082人	熊本県/5回/2,050人
宮崎県/6回/2,240人	鹿児島県/1回/923人	

◆**劇団銅鑼** メール／info@gekidandora.com ホームページ／<http://www.gekidandora.com/> 代表／横手寿男 所属／63名

宮城県/1回/80人	山形県/6回/2,400人	福島県/1回/500人
茨城県/2回/1,000人	栃木県/1回/800人	群馬県/1回/700人
埼玉県/1回/1,000人	東京都/20回/3,478人	神奈川県/3回/3,000人

富山県 /1回 /1,000人
長野県 /5回 /1,730人
三重県 /1回 /229人
大阪府 /6回 /3,210人

福井県 /1回 /500人
岐阜県 /1回 /600人
滋賀県 /1回 /297人
和歌山県 /1回 /226人

山梨県 /1回 /400人
静岡県 /1回 /325人
京都府 /4回 /1,853人

◆**劇団俳協** メール / ghaikyo@jade.dti.ne.jp ホームページ / <https://haikyo.co.jp/theatrical/tokyo.html> 代表 / 市川勉 所属 / 72名

岩手県 /1回 /700人
東京都 /20回 /1,655人
広島県 /1回 /560人
高知県 /3回 /980人

群馬県 /1回 /200人
石川県 /1回 /520人
香川県 /1回 /1,100人

埼玉県 /1回 /800人
福井県 /1回 /700人
愛媛県 /1回 /350人

◆**劇団 Peek-a-Boo** メール / t.c.peek.a.bo@gmail.com ホームページ / <https://tc-peek-a-boo.jimdofree.com> 代表 / 武末志朗 所属 / 5名

東京都 /11回 /900人 新潟県 /2回 /700人 富山県 /1回 /100人

◆**劇団ひびき** メール / gekidanhibiki@gmail.com ホームページ / <https://ss1.xrea.com/gekidanhibiki.g3.xrea.com/> 代表 / 隅田啓介 所属 / 13名

岡山県 /10回 /150人

◆**劇団弘演** メール / hiroen@jd5.so-net.ne.jp 代表 / 作間しのぶ 所属 / 10名

青森県 /6回 /850人

◆**有限会社 劇団プーク** メール / puppet@puk.jp ホームページ / <https://www.puk.jp/> 代表 / 石田伸子 所属 / 38名

北海道 /5回 /1,250人
山形県 /2回 /405人
群馬県 /4回 /1,190人
千葉県 /8回 /1,550人
新潟県 /2回 /630人
山梨県 /2回 /505人
静岡県 /7回 /1,190人
大阪府 /2回 /470人
和歌山県 /2回 /400人
徳島県 /4回 /1,550人
高知県 /4回 /1,190人
大分県 /1回 /500人
チェコ共和国 /6回 /1,320人

青森県 /5回 /1,530人
宮城県 /7回 /1,970人
茨城県 /6回 /925人
東京都 /217回 /24,798人
石川県 /1回 /400人
長野県 /4回 /1,320人
愛知県 /3回 /300人
三重県 /2回 /160人
岡山県 /1回 /420人
香川県 /5回 /1,618人
福岡県 /4回 /1,550人
鹿児島県 /2回 /600人
スロベニア共和国 /2回 /400人

岩手県 /2回 /700人
福島県 /12回 /3,944人
埼玉県 /22回 /3,060人
神奈川県 /20回 /2,775人
福井県 /6回 /2,350人
岐阜県 /1回 /180人
京都府 /2回 /300人
兵庫県 /6回 /2,030人
広島県 /5回 /700人
愛媛県 /4回 /1,378人
熊本県 /2回 /400人
ブルガリア共和国 /1回 /180人

◆**株式会社 劇団フジ** メール / cercle@gekifuji.com ホームページ / <https://www.gekifuji.com> 代表 / 齋藤純子 所属 / 26名

東京都 /7回 /621人 大阪府 /4回 /265人 山梨県 /1回 /332人

◆**劇団文化座** メール / info@bunkaza.com ホームページ / <http://www.bunkaza.com/> 代表 / 佐々木愛 所属 / 49名

東京都 /22回 /4,480人
島根県 /3回 /1,310人
山口県 /6回 /3,310人
長崎県 /3回 /1,650人

神奈川県 /6回 /3,990人
岡山県 /10回 /6,210人
佐賀県 /2回 /1,570人
大分県 /2回 /1,150人

鳥取県 /2回 /930人
広島県 /5回 /2,890人
福岡県 /15回 /8,610人
鹿児島県 /2回 /1,170人

◆**劇団未来** メール / mirainoe@sirius.ocn.ne.jp ホームページ / <https://www.mirainoe.com/> 代表 / 藤岡秀幸 所属 / 14名

東京都 / 5 回 / 243 人 大阪府 / 23 回 / 1,530 人

◆**劇団民藝** メール / kamimoto@gekidanmingei.co.jp ホームページ / <https://www.gekidanmingei.co.jp> 代表 / 丹野郁弓 所属 / 148 名

北海道 / 6 回 / 2,710 人 青森県 / 3 回 / 1,170 人 岩手県 / 1 回 / 270 人
 宮城県 / 3 回 / 2,460 人 山形県 / 1 回 / 350 人 福島県 / 10 回 / 4,960 人
 埼玉県 / 2 回 / 910 人 東京都 / 42 回 / 16,850 人 千葉県 / 8 回 / 4,250 人
 神奈川県 / 23 回 / 5,960 人 富山県 / 7 回 / 3,760 人 石川県 / 5 回 / 1,750 人
 長野県 / 7 回 / 2,900 人 岐阜県 / 4 回 / 1,390 人 静岡県 / 1 回 / 320 人
 愛知県 / 11 回 / 5,230 人 三重県 / 2 回 / 830 人 山口県 / 3 回 / 1,910 人
 福岡県 / 17 回 / 10,070 人 佐賀県 / 3 回 / 1,660 人 長崎県 / 7 回 / 4,270 人
 熊本県 / 2 回 / 1,590 人 大分県 / 2 回 / 1,130 人 宮崎県 / 2 回 / 1,220 人
 鹿児島県 / 2 回 / 1,160 人

◆**劇団麦** メール / gekidanmugi@infoseek.jp ホームページ / <http://mugi1964.net> 代表 / 手塚光弘 所属 / 9 名

宮城県 / 2 回 / 100 人

◆**劇団名芸** メール / meigei758@outlook.jp ホームページ / <https://gekidanmeigei.whitesnow.jp/> 代表 / 武藤陽子 所属 / 18 名

愛知県 / 11 回 / 1,828 人

◆**劇団メグロコミュニティシアター** メール / mctmeguro@gmail.com ホームページ / <https://mctmct.sakura.ne.jp/> 代表 / 野中久仁子 所属 / 18 名

東京都 / 3 回 / 207 人

◆**劇団やぶさか** メール / yabusaka@live.jp ホームページ / <http://yabusaka.main.jp/> 代表 / 海老原あい 所属 / 22 名

◆**劇団やませ** メール / master@yamase.mimoza.jp ホームページ / <http://yamase.mimoza.jp> 代表 / 大館登美子 所属 / 6 名

青森県 / 2 回 / 530 人

◆**劇団有機座** メール / youkey@youkey.biz ホームページ / <https://youkey.biz> 代表 / 江口銀漱 所属 / 8 名

東京都 / 13 回 / 512 人

◆**劇団夢十字星** メール / dream-cross2016@docomo.ne.jp ホームページ / <https://www.dreamcross.link> 代表 / 星野孝雄 所属 / 15 名

群馬県 / 3 回 / 250 人

◆**劇団らせん館** メール / Lasenkantheater@gmail.com ホームページ / <http://lasenkan-theater.co-site.net> 代表 / 嶋田三朗 所属 / 4 名

大阪府 / 4 回 / 41 人 兵庫県 / 5 回 / 2,035 人

◆**激団リジヨロ** メール / gekidan.rigolo@gmail.com ホームページ / <http://www.rigolock-hitman.com> 代表 / 金光仁三 所属 / 5 名

東京都 / 20 回 / 800 人 大阪府 / 4 回 / 327 人 大韓民国 / 4 回 / 101 人

◆**(劇)ヤリナゲ** メール / yarinage.info@gmail.com ホームページ / <https://yarinage.wixsite.com/home> 代表 / 越寛生 所属 / 4 名

東京都 / 6 回 / 147 人

◆**幻灯劇場** メール / gentogekijo@gmail.com ホームページ / <https://gentou-gekijou.themedia.jp/> 代表 / 藤井颯太郎 所属 / 23 名

北海道 / 4 回 / 2,000 人 茨城県 / 3 回 / 900 人 千葉県 / 8 回 / 4,000 人

東京都 /35 回 /28,000 人 大阪府 /8 回 /6,000 人 兵庫県 /2 回 /1,200 人
奈良県 /5 回 /2,500 人 沖縄県 /2 回 /300 人 大韓民国 /4 回 /2,000 人
マレーシア /3 回 /900 人

◆**小池博史ブリッジプロジェクト-Odyssey** メール / sai@kikh.com ホームページ / <https://kikh.org/> 代表 / 小池博史 所属 / 6 名

東京都 /23 回 /2,261 人 スペイン王国 /1 回 /450 人 ブラジル連邦共和国 /12 回 /2,301 人

◆**声の劇団イマージュ** メール / image@g-image.com ホームページ / <http://www.g-image.com> 代表 / 光明寺敬子 所属 / 16 名

東京都 /10 回 /670 人

【さ行】

◆**シアター 2+1** メール / theater2plus1@nifty.com ホームページ / <https://theater2plus1.com/> 代表 / 水野保 所属 / 12 名

宮城県 /1 回 /720 人 埼玉県 /1 回 /500 人 東京都 /10 回 /264 人

神奈川県 /1 回 /660 人 山梨県 /1 回 /700 人 大阪府 /1 回 /800 人

熊本県 /1 回 /670 人

◆**G-フォレスト** メール / mail@g-foresta.com ホームページ / <https://g-foresta.wixsite.com/-ymg> 代表 / 丸尾拓 所属 / 9 名

京都府 /2 回 /140 人 大阪府 /10 回 /220 人 兵庫県 /8 回 /520 人

◆**シェイクスピアシアター** メール / info.shksprthr45@gmail.com ホームページ / <https://shksprthr.themedia.jp> 所属 / 3 名

東京都 /15 回 /1,800 人

◆**17番劇場** メール / g.docg17@gmail.com ホームページ / <https://mac1754.wixsite.com/17ban> 代表 / 川口一史 所属 / 5 名

東京都 /3 回 /550 人

◆**制作集団 真夏座** メール / manatsuza@gmail.com ホームページ / <https://manatsuza.com/> 代表 / 江口ふじ子 所属 / 3 名

東京都 /8 回 /895 人

◆**盛名劇団かもめ** メール / g_kamome@ybb.ne.jp ホームページ / <https://sg-kamome.com> 代表 / 森繪留 所属 / 5 名

◆**公益財団法人 仙台市市民文化事業団** メール / sbj-pa@bunka.city.sendai.jp ホームページ / <https://ssbj.jp/>

宮城県 /14 回 /4,067 人

【た行】

◆**地点** メール / info@chiten.org ホームページ / <https://chiten.org/> 代表 / 三浦基 所属 / 6 名

京都府 /22 回 /924 人 ポーランド共和国 /4 回 /558 人 モルドバ共和国 /2 回 /592 人

◆**一般社団法人月と太陽 東京タンバリン** メール / tokyotanbarin@gmail.com ホームページ / <https://tokyotanbarin.com> 代表 / 高井(永井)浩子 所属 / 7 名

東京都 /6 回 /180 人 神奈川県 /7 回 /180 人 大阪府 /4 回 /100 人

◆**ティーファクトリー** メール/ info@tfactory.jp ホームページ/ <http://www.tfactory.jp/> 代表/川村毅 所属/6名

東京都/23回/2,500人

◆**トム・プロジェクト株式会社** メール/ tom@tomproject.com ホームページ/ <https://www.tomproject.com/> 代表/高橋洋介 所属/6名

北海道/1回/500人

青森県/3回/1,500人

宮城県/2回/700人

山形県/1回/300人

福島県/7回/3,000人

群馬県/2回/600人

埼玉県/2回/700人

神奈川県/3回/1,400人

徳島県/2回/800人

香川県/1回/400人

愛媛県/1回/400人

高知県/2回/1,000人

【な行】

◆**9PROJECT** メール/ info@9-project.net ホームページ/ <https://www.9-project.net> 代表/渡辺和徳 所属/2名

東京都/12回/1,063人

◆**名取事務所** メール/ thntr123@ybb.ne.jp ホームページ/ <https://www.nato.jp/> 代表/名取敏行 所属/13名

東京都/59回/4,900人

◆**庭劇団ペニノ** メール/ niwagekidan@gmail.com ホームページ/ <https://niwagekidan.org/> 代表/タニノクロウ 所属/5名

イタリア共和国/5回/2,500人 フランス共和国/15回/2,977人 台湾/4回/4,800人

◆**人形劇団京芸** メール/ office@kyougei.com ホームページ/ <http://www.kyougei.com> 代表/清水正年 所属/19名

茨城県/1回/140人

埼玉県/1回/100人

千葉県/1回/100人

新潟県/2回/200人

石川県/4回/800人

福井県/5回/1,400人

長野県/7回/700人

岐阜県/4回/400人

静岡県/2回/300人

愛知県/2回/300人

滋賀県/10回/1,600人

京都府/74回/10,900人

大阪府/135回/20,100人

兵庫県/27回/2,900人

奈良県/17回/2,700人

和歌山県/4回/700人

鳥取県/3回/300人

広島県/4回/500人

山口県/1回/50人

徳島県/2回/200人

香川県/7回/700人

福岡県/34回/3,800人

長崎県/12回/1,300人

大分県/46回/4,100人

鹿児島県/6回/300人

◆**人形劇団クラルテ** メール/ office@clarte-net.co.jp ホームページ/ <http://www.clarte-net.co.jp> 代表/鶴巻靖子 所属/32名

北海道/2回/500人

青森県/4回/250人

茨城県/4回/955人

千葉県/1回/207人

東京都/10回/2,140人

神奈川県/15回/1,970人

新潟県/5回/680人

石川県/3回/780人

山梨県/1回/106人

長野県/7回/1,350人

愛知県/6回/1,020人

三重県/1回/200人

滋賀県/11回/1,717人

京都府/15回/1,843人

大阪府/275回/39,255人

兵庫県/142回/16,365人

奈良県/16回/2,366人

和歌山県/6回/862人

鳥取県/4回/670人

岡山県/1回/700人

広島県/1回/250人

山口県/4回/540人

徳島県/1回/130人

香川県/5回/600人

福岡県/9回/2,100人

長崎県/1回/250人

大分県/2回/500人

宮崎県/14回/2,470人

鹿児島県/49回/7,270人

沖縄県/1回/200人

◆株式会社ネルケプランニング ホームページ / <https://www.nelke.co.jp/> 代表 / 野上祥子 所属 / 170名

北海道 / 3回 / 11,607人	宮城県 / 2回 / 11,623人	東京都 / 593回 / 652,678人
神奈川県 / 6回 / 64,979人	福井県 / 3回 / 19,615人	岐阜県 / 5回 / 7,250人
愛知県 / 12回 / 35,070人	大阪府 / 156回 / 180,504人	兵庫県 / 99回 / 38,937人
広島県 / 3回 / 15,633人	福岡県 / 3回 / 21,351人	アメリカ合衆国 / 4回 / 8,806人

【は行】

◆花組芝居 メール / office@hanagumi.ne.jp ホームページ / <https://hanagumi.ne.jp> 代表 / 加納幸和 所属 / 23名

東京都 / 24回 / 2,600人

◆P-act メール / p.actmail0841@gmail.com ホームページ / <https://p-act2009.jimdofree.com/> 代表 / 右来左往 所属 / 26名

京都府 / 26回 / 530人

◆Pカンパニー メール / p.company@nifty.com ホームページ / <http://p-company.la.coocan.jp> 代表 / 林次樹 所属 / 19名

東京都 / 26回 / 1,958人

◆ひげ太夫 メール / mail@higedayu.com ホームページ / <http://www.higedayu.com> 代表 / 吉村やよひ 所属 / 5名

東京都 / 5回 / 462人

◆兵庫県立ピッコロ劇団 メール / gekidan-p@hyogo-arts.or.jp ホームページ / <https://piccolo-theater.jp/troupe/> 代表 / 岩松了 所属 / 32名

兵庫県 / 50回 / 10,177人

◆F's Company メール / seisaku@fs-company.com ホームページ / <https://fs-company.com/> 代表 / 福田修志 所属 / 10名

長崎県 / 9回 / 420人

◆特定非営利活動法人 舞台アート工房・劇列車 メール / info@dramatrain.jp ホームページ / <https://www.dramatrain.jp/> 代表 / 釜堀茂 所属 / 13名

福岡県 / 12回 / 1,500人

◆文学座 メール / info@bungakuza.com ホームページ / <https://www.bungakuza.com/> 代表 / 鶴山仁 所属 / 210名

埼玉県 / 2回 / 900人	千葉県 / 7回 / 4,251人	東京都 / 75回 / 17,287人
神奈川県 / 3回 / 1,928人	岐阜県 / 2回 / 535人	兵庫県 / 2回 / 538人
山口県 / 3回 / 1,928人	福岡県 / 15回 / 8,621人	佐賀県 / 2回 / 1,572人
長崎県 / 7回 / 3,638人	熊本県 / 2回 / 1,582人	大分県 / 2回 / 1,113人
宮崎県 / 2回 / 1,201人	鹿児島県 / 2回 / 1,171人	

【ま行】

◆ミュージカルカンパニー イッツフォーイーズ ホームページ / <https://allstaff.co.jp> 代表 / 中嶋友紀子 所属 / 55名

北海道 / 4回 / 1,342人	青森県 / 3回 / 1,599人	岩手県 / 1回 / 273人
宮城県 / 5回 / 1,887人	山形県 / 1回 / 350人	福島県 / 7回 / 2,500人

栃木県 /2回 /943人
 神奈川県 /6回 /3,740人
 大阪府 /5回 /2,014人
 島根県 /3回 /750人
 山口県 /2回 /1,113人
 愛媛県 /2回 /670人
 群馬県 /2回 /333人
 長野県 /2回 /1,027人
 兵庫県 /2回 /364人
 岡山県 /10回 /4,662人
 徳島県 /3回 /900人
 高知県 /3回 /1,430人
 東京都 /34回 /8,010人
 静岡県 /9回 /4,413人
 鳥取県 /2回 /746人
 広島県 /5回 /2,368人
 香川県 /2回 /741人
 熊本県 /2回 /2,225人

◆ミュージカルカンパニーふるきやら メール / furucara@furucara.com ホームページ / <https://www.furucara.com> 代表 / 安田研二郎 所属 / 13名

群馬県 /1回 /505人

◆無名劇団 メール / info@mumeigekidan.net ホームページ / <https://mumeigekidan.net/> 代表 / 島原夏海 所属 / 19名

東京都 /9回 /950人 大阪府 /14回 /1,200人

◆MONO メール / info@cucumber-m.com ホームページ / <https://c-mono.com> 代表 / 土田英生 所属 / 10名

東京都 /11回 /1,200人 長野県 /2回 /200人 大阪府 /6回 /1,000人
 福岡県 /3回 /300人

【や・ゆ・よ】

◆ゆうめい メール / yumei.contact@gmail.com ホームページ / <https://www.yu-mei.com/> 代表 / 池田亮 所属 / 4名

東京都 /6回 /713人

◆ヨーロッパ企画 メール / europe@europe-kikaku.com ホームページ / www.europe-kikaku.com 代表 / 上田誠 所属 / 25名

北海道 /1回 /980人 東京都 /25回 /8,100人 神奈川県 /2回 /1,461人
 新潟県 /1回 /700人 富山県 /1回 /250人 石川県 /1回 /444人
 愛知県 /1回 /756人 滋賀県 /1回 /305人 京都府 /10回 /2,385人
 大阪府 /3回 /2,837人 広島市 /2回 /885人 高知県 /1回 /350人
 福岡県 /2回 /1,124人

◆横浜ボートシアター メール / info@yokohama-boattheatre.org ホームページ / <https://www.yokohama-boattheatre.org/> 代表 / 吉岡紗矢 所属 / 10名

東京都 /4回 /400人 神奈川県 /3回 /250人

◆横浜夢座 メール / yumeza@office-michiko.com ホームページ / <https://yumeza.com> 代表 / 五大路子 所属 / 10名

神奈川県 /18回 /3,600人

【ら行】

◆ルサンチカ メール / ressenchka@gmail.com ホームページ / <https://www.ressenchka.com/> 代表 / 河井朗 所属 / 3名

東京都 /13回 /530人 京都府 /4回 /120人

◆錬肉工房 メール / alche24@w7.dion.ne.jp ホームページ / <https://www.rennikukobo.com/> 代表 / 岡本章 所属 / 12名

【わ行】

◆**一般社団法人 若獅子会** メール／wakajishi@s8.dion.ne.jp ホームページ／<https://gekidanwakajishi.jimdo.com/> 代表／笠原章 所属／3名

東京都/18回/2,041人 大阪府/6回/852人

◆**渡辺源四郎商店** メール／nabegen_yoyaku@nabegen.com ホームページ／<https://www.nabegen.com/> 代表／畑澤聖悟 所属／26名

青森県/19回/977人 東京都/7回/497人 愛媛県/3回/165人

◆**一般社団法人 わらび座** メール／info@warabi.or.jp ホームページ／<https://www.warabi.jp/> 代表／今村晋介 所属／86名

北海道/1回/900人	青森県/16回/8,207人	岩手県/26回/10,616人
宮城県/4回/2,158人	秋田県/177回/29,944人	山形県/4回/1,339人
福島県/7回/2,900人	茨城県/2回/1,068人	栃木県/1回/400人
群馬県/2回/980人	埼玉県/3回/1,635人	千葉県/2回/700人
東京都/8回/4,576人	神奈川県/2回/1,221人	石川県/6回/3,840人
山梨県/3回/2,010人	岐阜県/1回/402人	静岡県/5回/3,370人
愛知県/4回/2,311人	滋賀県/2回/940人	京都府/5回/3,389人
大阪府/8回/5,053人	兵庫県/4回/2,828人	和歌山県/2回/748人
岡山県/7回/4,481人	広島県/3回/4,034人	香川県/1回/752人
愛媛県/1回/480人	三重県/1回/900人	福岡県/3回/2,237人
大分県/1回/550人		

◆**ワンツーワークス** メール／onetwoworksinfotemp@yahoo.co.jp ホームページ／<https://www.onetwo-works.jp/> 代表／古城十忍 所属／8名

東京都/22回/2,010人

年間の公演活動

2024年1月～12月

(当会アンケート回答の集計)

開催都道府県等	公演日数	上演回数	動員数
北海道	300日	349回	59,484名
青森県	94日	101回	23,830名
岩手県	55日	49回	18,031名
宮城県	52日	62回	32,152名
秋田県	195日	205回	33,338名
山形県	39日	53回	26,589名
福島県	120日	126回	29,193名
茨城県	59日	77回	22,019名
栃木県	44日	59回	20,673名
群馬県	68日	73回	14,053名
埼玉県	139日	167回	36,928名
千葉県	134日	157回	48,687名
東京都	1,931日	2,675回	1,071,704名
神奈川県	280日	365回	152,263名
新潟県	106日	141回	40,885名
富山県	50日	51回	21,527名
石川県	39日	43回	19,564名
福井県	15日	18回	26,115名
山梨県	56日	63回	14,823名
長野県	117日	143回	34,149名
岐阜県	58日	64回	23,570名
静岡県	245日	312回	85,735名
愛知県	143日	181回	99,090名
三重県	25日	27回	7,495名
滋賀県	38日	47回	10,550名
京都府	198日	272回	47,264名
大阪府	798日	1,058回	383,528名
兵庫県	313日	400回	94,192名
奈良県	63日	84回	15,155名

和歌山県	40日	46回	10,071名
鳥取県	15日	18回	4,318名
島根県	34日	38回	7,551名
岡山県	98日	113回	33,993名
広島県	96日	122回	53,669名
山口県	67日	77回	25,863名
徳島県	18日	19回	6,550名
香川県	35日	44回	8,306名
愛媛県	18日	21回	8,303名
高知県	19日	20回	7,677名
福岡県	340日	412回	169,661名
佐賀県	22日	23回	9,437名
長崎県	85日	92回	28,905名
熊本県	68日	91回	28,294名
大分県	69日	73回	16,881名
宮崎県	52日	70回	19,976名
鹿児島県	130日	146回	29,194名
沖縄県	98日	113回	33,993名

【海外】

アメリカ合衆国	3日	4回	8,806名
イタリア共和国	5日	5回	2,500名
スペイン王国	1日	1回	450名
スロベニア共和国	1日	2回	400名
チェコ共和国	3日	6回	1,320名
フランス共和国	15日	15回	2,977名
ブルガリア共和国	1日	1回	180名
ポーランド共和国	3日	4回	558名
モルドバ共和国	2日	2回	592名
大韓民国	7日	8回	2,101名
中華人民共和国	2日	2回	330名
マレーシア	2日	3回	900名
カタール国	1日	1回	300名
ブラジル連邦共和国	12日	12回	2,301名
台湾	3日	4回	4,800名

主催団体別データ

(2024年1月～12月)

国立劇場各劇場 主催公演年間観客動員数

	上演ジャンル	観客動員数
国立劇場主催公演		
新国立劇場 中劇場	歌舞伎	16,085
新国立劇場 小劇場	邦楽・文楽	12,866
サンパール荒川	歌舞伎	18,800
ティアラこうとう	歌舞伎	12,250
調布市グリーンホール	歌舞伎	11,108
日本青年館ホール	文楽	10,013
シアター1010	文楽	11,258
江東区文化センター	文楽	8,765
神奈川県立青少年センター	文楽	2,195
国立能楽堂	舞踊	404
浅草公会堂	舞踊	3,565
文京シビック小ホール	邦楽・文楽	105
国立オリンピック記念青少年総合センター小ホール	研修発表会（歌舞伎・大衆芸能）	229
国立演芸場主催公演		
紀尾井小ホール	大衆芸能	9,855
千代田区立内幸町ホール	大衆芸能	3,052
渋谷区文化総合センター大和田6階伝承ホール	大衆芸能	2,435
深川江戸資料館	大衆芸能	1,044
国立能楽堂	能・狂言	37,746
国立文楽劇場	文楽・舞踊・邦楽・民俗芸能等	88,069
国立文楽劇場 小ホール	大衆芸能	4,101
国立劇場おきなわ	組踊等沖縄伝統芸能	12,954
新国立劇場 オペラ劇場	オペラ・バレエ	166,115
新国立劇場 中劇場	演劇・現代舞踊等	12,887
新国立劇場 小劇場	演劇・現代舞踊等	28,738
大槻能楽堂	能楽	405
京都観世会館	能楽	370

※中止公演は除く

2024年松竹株式会社主催公演

	会場・劇場	上演作品	公演期間	公演回数
1月	歌舞伎座	壽 初春大歌舞伎	1/2～27	48回
	新橋演舞場	初春歌舞伎公演『平家女護嶋 恩愛麻糸央源平』	1/6～1/25	28回
	南座	初笑い！松竹新喜劇 新春お年玉公演『小判掘出し譚』 『蕾(つぼみ)』	1/2～1/8	14回
	南座	マクロスFと△合わせ 京都南座歌舞伎ノ宴 ～ミニライブ&歌舞伎コラボトーク～	1/13・14	4回
	大阪松竹座	「坂東玉三郎 初春お年玉公演」	1/3～1/14	11回
	大阪松竹座	「坂東玉三郎 はるのひととき」	1/18～1/20	6回
	大阪松竹座	Night KABUKI in Osaka Dotonbori	1/22～1/28	8回
	大阪松竹座	「坂東玉三郎コンサート 星に願いを」	1/26～1/28	6回
	浅草公会堂	新春浅草歌舞伎	1/2～1/26	46回
	三越劇場	初春新派公演「東京物語」	1/2～1/26	28回
2月	歌舞伎座	十八世中村勘三郎十三回忌追善 猿若祭二月大歌舞伎	2/2～26	46回
	新橋演舞場	スーパー歌舞伎 『ヤマトタケル』	2/4～3/20	39回
	大阪松竹座	大阪国際文化芸術プロジェクト 立春歌舞伎特別公演	2/2～2/18	32回
	大阪松竹座	「早春 松竹お笑い寄席in大阪松竹座」	2/20～2/21	4回
	大阪松竹座	「おいでよ！ミナミ笑店街」	2/27～3/31	3(40)回
3月	歌舞伎座	三月大歌舞伎	3/3～26	44回
	新橋演舞場	スーパー歌舞伎 『ヤマトタケル』	2/4～3/20	23回
	南座	三月花形歌舞伎	3/2～3/24	42回
	大阪松竹座	「おいでよ！ミナミ笑店街」	2/27～3/31	37(40)回
4月	歌舞伎座	四月大歌舞伎	4/2～26	46回
	新橋演舞場	祭 GALA	4/1～4/29	37回
	南座	舟木一夫シアターコンサートin南座	4/5～4/7	3回
	南座	新作歌舞伎『刀剣乱舞 月刀剣縁桐』京都南座 衣裳展 プレオープン記念 トークショー	4/12	1回
	大阪松竹座	OSK日本歌劇団 「レビュー 春のおどり」	4/6～4/14	16回
	大阪松竹座	『トンカツロック』	4/19～4/26	11回

5月	会場・劇場	上演作品	公演期間	公演回数
	歌舞伎座	團菊祭五月大歌舞伎	5/2～26	46回
	新橋演舞場	トンカツロック	5/4～5/19	20回
	南座	南座 歌舞伎鑑賞教室	5/11～19	18回
	大阪松竹座	OSK日本歌劇団 OG公演「Eternal Glory」	5/3～5/4	4回
	大阪松竹座	松竹新喜劇 喜劇発祥120年 『幸助餅』、『村は祭りで大騒ぎ』	5/10～5/19	16回
	シアターミラノ座	歌舞伎町大歌舞伎	5/3～26	36回

6月	会場・劇場	上演作品	公演期間	公演回数
	歌舞伎座	六月大歌舞伎	6/1～24	44回
	新橋演舞場	熱海五郎一座 新橋演舞場シリーズ第10回記念公演 『スマイルフォーエバー～ちょいワル淑女と愛の魔法～』	6/2～6/27	30回
	南座	坂東玉三郎特別公演	6/12～6/26	14回
	大阪松竹座	スーパー歌舞伎『ヤマトタケル』	6/8～6/23	21回
三越劇場	初夏の新派祭「螢」、「お江戸みやげ」	6/1～6/23	28回	

7月	会場・劇場	上演作品	公演期間	公演回数
	歌舞伎座	七月大歌舞伎	7/1～24	44回
	歌舞伎座	坂東玉三郎×春風亭小朝 歌舞伎座特別公演	7/25	1回
	新橋演舞場	七夕喜劇まつり「唐木の看板」「はなのお六」	7/5～7/28	32回
	南座	桂米朝一門会	7/7	1回
	南座	OSK日本歌劇団「レビュー in Kyoto」	7/13～7/21	16回
	南座	星列車で行こう	7/27～8/19	5(27)回
大阪松竹座	関西・歌舞伎を愛する会 結成四十五周年記念 七月大歌舞伎	7/3～7/26	44回	

8月	会場・劇場	上演作品	公演期間	公演回数
	歌舞伎座	八月納涼歌舞伎	8/4～25	54回
	新橋演舞場	OSK日本歌劇団 レビュー 夏のおどり	8/7～8/11	8回
	新橋演舞場	カルメン故郷に帰る	8/17～8/25	13回
	南座	星列車で行こう	7/27～8/19	22(27)回
大阪松竹座	「関西ジュニア サマバケ 2024」	8/1～9/1	39回	

9月	会場・劇場	上演作品	公演期間	公演回数
	歌舞伎座	秀山祭九月大歌舞伎	9/1～25	46回
	新橋演舞場	MASSARA	9/4～9/29	29回
	南座	九月花形歌舞伎 発刊30周年記念『あらしのよるに』	9/4～9/26	34回
	大阪松竹座	「関西ジュニア サマバケ 2024」	8/1～9/1	39回
	大阪松竹座	『カルメン故郷に帰る』	9/5～9/17	19回
	大阪松竹座	「大阪松竹座 ステージ体験ツアー 2024」	9/21～9/29	48回
日生劇場	ミュージカル「三銃士」	9/8～28	27回	

	会場・劇場	上演作品	公演期間	公演回数
10月	歌舞伎座	錦秋十月大歌舞伎	10/2～26	46回
	新橋演舞場	劇走江戸鴉～チャリッコ傾奇組～	10/5～10/27	31回
	南座	錦秋喜劇特別公演『太夫さん』	10/3～10/27	32回
	大阪松竹座	市川海老蔵改め十三代目市川團十郎白猿襲名披露 十月大歌舞伎 八代目市川新之助初舞台	10/10～10/26	30回

	会場・劇場	上演作品	公演期間	公演回数
11月	歌舞伎座	十一月歌舞伎座特別公演 ようこそ歌舞伎座へ Welcome to Kabukiza	11/1～23	19回
	新橋演舞場	有頂天家族	11/3～11/11	13回
	新橋演舞場	舟木一夫 シアターコンサート in 新橋演舞場	11/15～11/19	5回
	南座	Journey into KABUKI ～Appreciation and Experience～ 歌舞伎への誘い～鑑賞と体験～	11/2～11/10	16回
	南座	有頂天家族	11/16～11/23	12回
	南座	噺家生活三十周年 桂吉弥独演会	11/24	1回
	大阪松竹座	『劇走江戸鴉～チャリッコ傾奇組～』	11/2～11/10	11回
	大阪松竹座	11月松竹新喜劇公演『砂糖壺』『人生双六』	11/16～11/24	16回
	大阪松竹座	『夢見る白虎隊』	11/28～12/9	4(15)回
IMM THEATER	『夢見る白虎隊』	11/21～11/25	7回	

	会場・劇場	上演作品	公演期間	公演回数
12月	歌舞伎座	十二月大歌舞伎	12/3～26	63回
	新橋演舞場	歌舞伎NEXT『朧の森に棲む鬼』	11/30～12/26	41回
	南座	松竹創業百三十周年 京の年中行事 當る巳歳 吉例顔見世興行 東西合同大歌舞伎	12/1～12/22	40回
	大阪松竹座	『夢見る白虎隊』	11/28～12/9	11(15)回
	大阪松竹座	WEST.10th Anniversary 大阪松竹座公演	12/15～12/25	15回

2024年東宝株式会社主催公演

上演作品	会場	公演期間	公演回数	公演中止数	実公演数
Act ONE	帝国劇場	1/ 1～ 1/27	36		36
ミュージカルジョジョの奇妙な冒険 ファントムブラッド	帝国劇場	1/10～ 1/31	30		30
千と千尋の神隠し	帝国劇場	3/11～ 3/30	27		27
Endless SHOCK	帝国劇場	4/11～ 5/31	56		56
ムーラン・ルージュ! ザ・ミュージカル	帝国劇場	6/20～ 8/ 7	35		35
ミュージカルモーツァルト!	帝国劇場	8/19～ 9/29	54		54
DREAM BOYS	帝国劇場	10/ 9～10/29	30		30
Endless SHOCK	帝国劇場	11/ 8～11/29	26		26
レ・ミゼラブル	帝国劇場	12/16～12/30	16		16
Yuichiro & Friends -Singing! Talking! Not Dancing!-	シアタークリエ	1/ 6～ 1/26	26		26
海宝直人 コンサートATTENTION PLEASE!2	シアタークリエ	1/30～ 2/16	21		21
骨と軽蔑	シアタークリエ	2/23～ 2/29	8		8
KERA CROSS第五弾骨と軽蔑	シアタークリエ	3/ 1～ 3/23	26		26
ミュージカル 町田くんの世界	シアタークリエ	3/29～ 4/30	22		22
ミュージカル CROSS ROAD～悪魔のヴァイオリニスト バガニニ～	シアタークリエ	4/22～ 5/12	28		28
ミュージカルナビレラー それでも蝶は舞うー	シアタークリエ	5/18～ 6/ 8	28		28
ミュージカル GIRLFRIEND	シアタークリエ	6/14～ 7/ 3	27		27
ミュージカル モダン・ミリー	シアタークリエ	7/10～ 7/28	25		25
音楽劇 ライムライト	シアタークリエ	8/ 3～ 8/18	20		20
プレミアム音楽朗読劇 VOICARION XVIII～Mr.Prisoner～	シアタークリエ	8/21～ 9/ 1	16		16
ミュージカル ファンレター	シアタークリエ	9/ 9～ 9/30	28		28
ミュージカル tick, tick...BOOM!	シアタークリエ	10/ 6～10/31	32		32
レジェンド・オブ・ミュージカル Vol.8	シアタークリエ	10/21～10/21	1		1
ミュージカル SONG WRITERS	シアタークリエ	11/ 6～11/28	29		29
Songwriters' SHOWCASE	シアタークリエ	12/18～12/18	1		1
ミュージカル next to normal	シアタークリエ	12/ 6～12/30	28		28
ミュージカルトツツイー	日生劇場	1/10～ 1/31	26		26
絢爛豪華 祝祭音楽劇天保十二年のシェイクスピア	日生劇場	12/ 9～12/29	27		27
ミュージカル王様と私	日生劇場	4/11～ 4/30	29		29
ミュージカルこの世界の片隅に	日生劇場	5/ 9～ 5/30	28		28
ブロードウェイミュージカル NEWSIES	日生劇場	10/ 9～10/29	27		27
ミュージカルプロデューサーズ	東急シアターオーブ	11/ 8～12/ 6	33		33
グラウンドホッグデイ	東京国際フォーラム	11/11～11/22	16		16
ABC座 大金星(BIG VENUS)-時代を超えて-	東京ドームシティホール	11/25～12/ 8	20		20
CLUB SEVEN another place 1010	THEATRE1010	9/22～ 9/23	2		2
CLUB SEVEN another place よみうり	有楽町よみうりホール	9/28～10/13	19		19
舞台 ハリー・ポッターと呪いの子	TBS赤坂ACTシアター	1/ 5～12/30	402	9	393
ミュージカルロミオとジュリエット	新国立劇場 中劇場	5/16～ 6/10	33		33
ミュージカルロミオとジュリエット 大阪	梅田芸術劇場メインホール	7/ 3～ 7/15	14		14
		計	1,352	9	1,343

2024年 宝塚歌劇上演記録

演劇年鑑 2025

会場・劇場	組	上演作品	公演期間	公演回数
宝塚大劇場	星組	『RRR × TAKA"R"AZUKA ～√Bheem～』『VIOLETOPIA』	1/ 1～ 2/ 4	40
	花組	『アルカンシエル』	2/ 9～ 3/24	48
	月組	『Eternal Voice 消え残る想い』『Grande TAKARAZUKA 110!』	3/30～ 5/12	57
	宙組	『Le Grand Escalier-ル・グラン・エスカリエー』	6/20～ 6/30	15
	雪組	『ベルサイユのばら』	7/ 6～ 8/11	48
	星組	『記憶にございません!』『Tiara Azul -Destino-』	8/17～ 9/22	48
	花組	『エンジェリックライ』『Jubilee』	9/28～11/10	57
	月組	『ゴールデン・リバティ』『PHOENIX RISING』	11/16～12/25	51
		小計		364
東京宝塚劇場	雪組	『ボイルド・ドイル・オンザ・トイル・トレイル』『FROZEN HOLIDAY』	1/ 3～ 2/11	53
	星組	『RRR × TAKA"R"AZUKA ～√Bheem～』『VIOLETOPIA』	2/23～ 4/ 6	58
	花組	『アルカンシエル』	4/14～ 5/26	52
	月組	『Eternal Voice 消え残る想い』『Grande TAKARAZUKA 110!』	6/ 1～ 7/ 7	48
	宙組	『Le Grand Escalier-ル・グラン・エスカリエー』	7/20～ 8/25	47
	雪組	『ベルサイユのばら』	8/31～10/13	56
	星組	『記憶にございません!』『Tiara Azul -Destino-』	10/19～12/ 1	56
花組	『エンジェリックライ』『Jubilee』 ※24年分のみ公演回数を記載	12/ 7～2025/ 1/19	31	
		小計		401
宝塚バウホール	月組	『Golden Dead Schiele』	1/24～ 2/ 4	17
	雪組	『39Steps』	4/24～ 5/ 5	17
	月組	『BLUFF』	9/14～ 9/19	8
	宙組	『MY BLUE HEAVEN-わたしのおおぞら-』	10/12～10/27	18
梅田芸術劇場メインホール	月組	『G.O.A.T』	1/17～ 1/31	22
	雪組	『愛の不時着』	12/22～12/28	10
梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ	星組	『夜明けの光芒』	6/ 3～ 6/ 8	9
	花組	『Liefie-愛しい人-』	7/30～ 8/ 1	5
	雪組	『FORMOSA』	12/ 2～12/11	14
NHK大阪ホール	雪組	『ALL BY MYSELF』	5/ 4～ 5/ 8	7
日本青年館ホール	花組	『Liefie-愛しい人-』	7/17～ 7/24	11
東京建物BrilliaHALL	星組	『夜明けの光芒』	6/14～ 6/20	10
	雪組	『愛の不時着』	11/30～12/15	20
東京芸術劇場プレイハウス	月組	『BLUFF』	8/30～ 9/ 8	14
東急シアターオーブ	星組	『BIG FISH』	5/30～ 6/16	23
相模女子大学グリーンホール	雪組	『ALL BY MYSELF』	4/15～ 4/21	10
御園座	花組	『ドン・ジュアン』	7/16～ 8/ 1	22
全国ツアー	雪組	『仮面のロマネスク』『Gato Bonito!!』	4/12～ 5/ 6	30
	月組	『琥珀色の雨にぬれて』『Grande TAKARAZUKA 110!』	8/22～ 9/16	31
	宙組	『大海賊』『Heat on Beat! -Evolution-』	10/22～11/ 4	19
		小計		317
		総合計		1,082

※貸切を含む
※中止公演は除く

2024年 劇団四季上演記録

	上演作品	会場	公演期間	公演回数
				<small>24年開演(24年12月31日までの総回数)</small>
東京	『アナと雪の女王』	JR東日本四季劇場[春]	21/ 6/24～ロングラン上演	322/1113
	『ウィキッド』	JR東日本四季劇場[秋]	23/10/19～24/ 1/27	25/91
	『ゴースト&レディ』	JR東日本四季劇場[秋]	24/ 5/ 6～24/11/11	177
	『ひばり』	自由劇場	23/12/24～24/ 1/20	19/24
	『ジーザス・クライスト=スーパースター』[エルサレム・バージョン]	自由劇場	24/ 2/16～24/ 3/24	36
	『ふたりのロッチェ』	自由劇場	24/ 7/21～24/ 8/25	37
	『赤毛のアン』	自由劇場	24/12/ 3～25/ 2/16	24
	『アラジン』	電通四季劇場[海]	15/ 5/24～ロングラン上演	320/2778
	『ライオンキング』	有明四季劇場	21/ 9/26～ロングラン上演	326/1041
	『オペラ座の怪人』	KAAT神奈川芸術劇場	24/ 4/23～24/ 8/11	104
	『美女と野獣』	舞浜アンフィシアター	22/10/23～ロングラン上演	329/711
	『ジャック・オー・ランド ～ユーリと魔物の笛～』ニッセイ名作シリーズ	日生劇場	24/ 6/10～24/ 7/19	37
	小計			1756
大阪	『バケモノの子』	大阪四季劇場	23/12/10～24/ 5/25	135/153
	『ウィキッド』	大阪四季劇場	24/ 8/15～25/ 7/ 6	129
	小計			264
京都	『ジーザス・クライスト=スーパースター』[エルサレム・バージョン]	京都劇場	24/ 4/20～24/ 6/ 2	41
	小計			41
名古屋	『キャッツ』	名古屋四季劇場	22/ 7/18～24/ 5/12	123/604
	『バケモノの子』	名古屋四季劇場	24/ 9/11～25/ 2/ 9	101
	小計			224
静岡	『キャッツ』	静岡市民文化会館	24/ 7/17～24/ 9/23	64
	小計			64
広島	『キャッツ』	上野学園ホール	24/11/11～25/ 2/23	46
	小計			46
全国	『クレイジー・フォー・ユー』	17都市／通算64都市	23/ 8/26～24/ 2/13	27/95
	『ジーザス・クライスト=スーパースター』[エルサレム・バージョン]	60都市	24/ 6/29～24/11/17	82
	『ジョン万次郎の夢』全国公演	14都市／通算40都市	23/ 4/29～24/ 3/23	15/46
	『ジョン万次郎の夢』こころの劇場	20都市／通算60都市	23/ 5/ 9～24/ 3/11	39/218
	『エルコスの祈り』全国公演	22都市／通算32都市	23/ 9/ 9～24/ 8/15	23/33
	『エルコスの祈り』こころの劇場	49都市／通算72都市	23/ 9/12～24/ 8/30	124/168
	『ガンバの大冒険』全国公演	33都市	24/ 4/13～	35
	『ガンバの大冒険』こころの劇場	46都市	24/ 4/16～	191
	『ふたりのロッチェ』全国公演	8都市	24/ 9/21～	8
	『ふたりのロッチェ』こころの劇場	20都市	24/ 9/24～	38
	『ふたりのロッチェ』日産労連チャリティー公演	18都市	24/11/19～24/12/24	18
	小計			600
	総合計			2995回見込み

※貸切含む。
※中止公演は除く。



公益社団法人日本演劇協会 Japan Theatre Arts Association (JTAA)

当会は1920年（大正9年）に菊池寛・山本有三両氏を中心として組織された「劇作家協会」を母体とし、1951年（昭和26年）4月に設立されました。2013年（平成25年）4月には内閣府より公益社団法人の認可を受け、演劇（劇放送を含む）の向上発展を図り、芸術及び文化の高揚に寄与するとともに演劇関係者の社会的地位の確立を目的とし活動しています。

～沿革～

- ・1920年（大正9年）
菊池寛・山本有三両氏を中心に「劇作家協会」が組織される
- ・1941年（昭和16年）
久保田万太郎・高田保を中心に「（第一次）日本演劇協会」が設立される
- ・1945年（昭和20年）
第二次世界大戦終戦と同時に解散
- ・1946年（昭和21年）
新たに「劇作家組合」として組織される
- ・1951年（昭和26年）4月
「（第二次）日本演劇協会」と改称
- ・1953年（昭和28年）12月
「社団法人」の認定を受け、「一般社団法人日本演劇協会」となる
- ・2013年（平成25年）4月
内閣総理大臣より「公益社団法人」の認定を受け、現在に至る

～歴代会長～

- | | |
|------------|---------------------------|
| 初代：久保田 万太郎 | 1951年（昭和26年）～1963年（昭和38年） |
| 二代：北條 秀司 | 1964年（昭和39年）～1993年（平成5年） |
| 三代：河竹 登志夫 | 1993年（平成5年）～2007年（平成19年） |
| 四代：植田 紳爾 | 2007年（平成19年）～ |



〒104-0045東京都中央区築地4-1-1東劇ビル17階
info@jtaa.or.jp
 Tel：03-3541-2025／FAX：03-3541-2026

